

令和5年度

# 主要な施策の成果説明書

一 般 会 計

国民健康保険特別会計

公営簡易水道事業特別会計



## 令和5年度 主要な施策の成果説明書

### 目 次

一	般	会	計 ……	1	
			概要 ……	1	
			決算状況 ……	4	
総	務	部 ……		9	
			庶務課/企画財政課/税務課/情報交通課/危機管理課/八坂支所/美麻支所		
民	生	部 ……		44	
			市民課/生活環境課/福祉課/子育て支援課		
地	域	振	興	部 ……	80
			まちづくり産業課/産業立地戦略室/観光文化課/農林水産課		
建	設	水	道	部 ……	103
			建設課/上下水道課		
教	育	委	員	会 ……	119
			学校教育課/生涯学習課/スポーツ課/山岳博物館		
			国民健康保険特別会計 ……	150	
			公営簡易水道事業特別会計 ……	154	

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	総務費	1	1	職員研修事業	庶務課	9
2	2	総務費	1	8	市民活動促進事業	庶務課	10
3	2	総務費	1	8	ひとが輝くまちづくり事業	庶務課	11
4	2	総務費	1	1	人権政策費	庶務課	12
5	2	総務費	1	10	男女共同参画推進費	庶務課	13
6	2	総務費	1	3	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課	14
7	2	総務費	1	3	ふるさと応援団事業	企画財政課	15
8	2	総務費	1	3	SDGs推進事業	企画財政課	16
9	2	総務費	2	1	賦課徴収費	税務課	18
10	2	総務費	1	2	広聴広報事業	情報交通課	19
11	2	総務費	1	9	DX推進事業	情報交通課	20
12	2	総務費	1	9	電算処理委託事業	情報交通課	21
13	2	総務費	1	9	八坂・美麻CATV網光化対策事業	情報交通課	22
14	2	総務費	1	9	ケーブルテレビ運営事業	情報交通課	23
15	2	総務費	1	6	市民バス運行事業	情報交通課	24
16	2	総務費	1	6	公共交通対策事業	情報交通課	26
17	9	消防費	1	2	消防団運営経費	危機管理課	28
18	9	消防費	1	3	消防施設整備事業	危機管理課	29
19	9	消防費	1	5	防災対策一般経費	危機管理課	30
20	9	消防費	1	5	防災施設整備事業	危機管理課	31
21	2	総務費	1	11	八坂地域振興事業	八坂支所	32
22	7	商工費	1	3	八坂観光施設管理費	八坂支所	33
23	2	総務費	1	11	八坂定住促進事業	八坂支所	34
24	2	総務費	1	11	明日香荘管理運営費	八坂支所	35
25	2	総務費	1	12	美麻地域振興事業	美麻支所	36
26	2	総務費	1	12	メンドシーノ交流事業	美麻支所	38
27	2	総務費	1	12	美麻定住促進事業	美麻支所	40
28	2	総務費	1	12	ぼかぼかランド美麻管理運営費	美麻支所	41
29	6	農林水産業費	1	5	ふたえ市民農園管理費	美麻支所	42
30	6	農林水産業費	1	5	おおしお市民農園管理費	美麻支所	43
32	4	衛生費	1	1	後期高齢者健診事業	市民課	44
33	4	衛生費	1	3	母子保健事業	市民課	45
34	4	衛生費	1	3	子育て世代包括支援センター事業	市民課	47
35	4	衛生費	1	4	健康増進事業	市民課	48
36	4	衛生費	1	4	がん検診事業	市民課	49
37	4	衛生費	1	4	精神保健事業	市民課	51
38	4	衛生費	1	2	予防接種費	市民課	52
39	4	衛生費	2	4	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課	53
40	4	衛生費	3	1	環境調査事業	生活環境課	54

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
41	4	衛生費	3	1	環境保全事業	生活環境課	55
42	4	衛生費	3	1	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課	56
43	3	民生費	1	1	総合福祉センター管理事業	福祉課	57
44	3	民生費	1	1	市社会福祉協議会助成事業	福祉課	58
45	3	民生費	1	2	その他障害者福祉サービス事業	福祉課	59
46	3	民生費	1	3	高齢者福祉一般経費	福祉課	60
47	3	民生費	1	3	高齢者福祉事業費	福祉課	61
48	3	民生費	1	7	介護予防包括的支援事業	福祉課	62
49	3	民生費	1	7	通所型介護予防事業	福祉課	63
50	3	民生費	1	7	訪問型介護予防事業	福祉課	64
51	3	民生費	1	7	介護予防普及啓発事業	福祉課	65
52	3	民生費	1	7	家族介護支援事業	福祉課	66
53	3	民生費	1	7	成年後見制度支援事業	福祉課	67
54	3	民生費	1	7	地域自立生活支援事業	福祉課	68
55	3	民生費	1	7	地域包括ケア実践事業	福祉課	69
56	3	民生費	1	7	認知症総合支援事業	福祉課	71
57	3	民生費	2	1	子育て応援一般経費	子育て支援課	72
58	3	民生費	2	1	児童福祉扶助費	子育て支援課	73
59	3	民生費	2	1	子育て支援等総合相談事業	子育て支援課	74
60	3	民生費	2	1	療育事業	子育て支援課	76
61	3	民生費	2	2	児童クラブ運営事業	子育て支援課	77
62	3	民生費	2	1	病児・病後児保育事業	子育て支援課	78
63	3	民生費	2	3	保育所管理運営事業	子育て支援課	79
64	5	労働費	1	1	創業支援事業	まちづくり産業課	80
65	7	商工費	1	1	中小企業支援事業	まちづくり産業課	81
66	7	商工費	1	1	特産品振興事業	まちづくり産業課	82
67	7	商工費	1	1	中心市街地活性化事業	まちづくり産業課	84
68	2	総務費	1	3	定住促進事業	まちづくり産業課	85
69	7	商工費	1	2	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室	87
70	7	商工費	1	2	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室	88
71	7	商工費	1	3	観光資源活用事業	観光文化課	89
72	7	商工費	1	3	2次交通対策事業	観光文化課	90
73	7	商工費	1	3	仁科三湖振興事業	観光文化課	91
74	7	商工費	1	3	広域観光推進事業	観光文化課	92
75	7	商工費	1	3	山岳観光推進事業	観光文化課	93
76	7	商工費	1	3	滞在型観光推進事業	観光文化課	94
77	2	総務費	1	13	芸術文化振興事業	観光文化課	95
78	6	農林水産業費	1	3	農業マーケティング事業	農林水産課	97
79	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策事業	農林水産課	98

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
81	6	農林水産業費	3	1	森林環境譲与税事業	農林水産課	99
82	6	農林水産業費	1	3	中山間地域等直接支払事業	農林水産課	100
83	6	農林水産業費	1	3	多面的機能支払事業	農林水産課	101
84	6	農林水産業費	1	3	園芸振興事業	農林水産課	102
85	8	土木費	4	1	おたんじょ桜事業	建設課	103
86	8	土木費	4	2	コンパクトシティ形成事業	建設課	104
87	8	土木費	4	3	まちなかの緑地整備事業	建設課	105
88	8	土木費	2	4	雪害対策事業	建設課	106
89	8	土木費	4	3	公園管理事業	建設課	107
90	8	土木費	2	2	道路維持管理事業	建設課	108
91	8	土木費	2	2	交通安全施設整備事業	建設課	109
92	8	土木費	2	3	道路新設改良事業	建設課	110
93	8	土木費	4	3	仁科三湖周辺整備事業	建設課	111
94	6	農林水産業費	2	1	農業用施設管理事業	建設課	112
95	8	土木費	3	1	水路維持改良事業	建設課	113
96	8	土木費	4	4	住宅・建築物耐震化推進事業	建設課	114
97	8	土木費	4	4	ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業	建設課	115
98	8	土木費	5	1	住宅管理費	建設課	116
99	7	商工費	1	4	温泉供給事業	上下水道課	117
105	4	衛生費	2	1	合併処理浄化槽設置推進事業	上下水道課	118
106	10	教育費	1	2	奨学金事業	学校教育課	119
107	10	教育費	1	2	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	120
108	10	教育費	1	2	I C T活用推進事業	学校教育課	121
109	10	教育費	2	2	小学校教育振興一般経費	学校教育課	122
110	10	教育費	3	2	中学校教育振興一般経費	学校教育課	123
111	10	教育費	4	1	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課	124
112	10	教育費	4	1	公民館分館整備助成事業	生涯学習課	125
113	10	教育費	4	2	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課	126
114	10	教育費	4	2	青少年育成事業	生涯学習課	127
115	10	教育費	4	6	文化財保護一般経費	生涯学習課	128
116	10	教育費	4	1	人権教育推進事業	生涯学習課	129
117	10	教育費	4	3	大町公民館活動費	生涯学習課	130
118	10	教育費	4	5	文化会館公演事業	生涯学習課	131
119	10	教育費	4	3	平公民館活動費	生涯学習課	132
120	10	教育費	4	3	社公民館活動費	生涯学習課	133
121	10	教育費	1	2	山村留学支援事業	生涯学習課	135
122	10	教育費	4	3	八坂公民館活動費	生涯学習課	136
123	5	労働費	1	2	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課	137
124	10	教育費	4	3	常盤公民館活動費	生涯学習課	138

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
125	10	教育費	4	3	美麻公民館活動費	生涯学習課	140
126	10	教育費	4	4	図書資料購入事業	生涯学習課	141
127	10	教育費	5	1	体育大会運営事業	スポーツ課	142
128	10	教育費	5	1	スポーツ振興事業	スポーツ課	143
129	10	教育費	5	2	体育施設整備事業	スポーツ課	144
130	10	教育費	6	1	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館	145
131	10	教育費	6	1	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館	146
132	10	教育費	6	1	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館	147
133	10	教育費	6	1	ライチョウ飼育事業	山岳博物館	148
134	10	教育費	6	1	付属園整備事業	山岳博物館	149

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
31	6	保健事業費	1	1	特定健診・保健指導事業	市民課	153

No.	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
101	2	建設改良費	1	1	水道施設整備事業	上下水道課	155

# 一 般 会 計

## はじめに

---

### 【令和5年度の経済動向】

令和5年度の我が国の経済状況は、コロナ禍の3年間を乗り越え改善しつつあり、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られデフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する好機を迎えています。

一方で、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付いていないため、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いており、これを放置すると再びデフレに戻るリスクがあることから、政府は実質GDPの成長率1.6%程度、消費者物価（総合）3.0%程度の上昇を図るため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定し、デフレ脱却のための一時的な措置として国民の可処分所得を下支えするとともに、構造的賃上げに向けた供給力を強化する取り組みが進められました。

県内の経済状況は、令和6年1月の景気動向によると、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。製造業の業況は、自動車関連の受注、生産に増加がみられるものの、継続するエネルギー・原材料価格高騰等により収益率に低下がみられるとともに、中国経済の減速の影響等により電機・電子、機械及び精密などで受注、生産に弱さがみられ、製造業全体では7期連続でマイナス水準となりました。非製造業の業況は、情報サービス業、飲食業、宿泊業で1年前のコロナ禍の状況に比べて需要が増加したためプラス水準となったものの、建設業、小売業、卸売業で受注が厳しい状況によりマイナス水準となり、全体では4期ぶりのマイナス水準となりました。

当市では、コロナ感染症を乗り越え、新しい人の流れを構築し、地域活力の向上を目指し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの財源を活用しながら、商品券による消費下支え等を通じた生活支援や、省エネ家電等への買い換え促進による生活支援の取り組みを進めてきました。現在もエネルギー・原材料価格等の影響を受け厳しい状況にある中で、市民生活への応援や、停滞する地域経済、市内事業所への支援に、引き続き、機動的かつ弾力的に対応することが求められています。

以下、令和5年度の主要な施策の成果について報告いたします。

## 決算の概要

---

令和5年度一般会計決算は、歳入総額 18,618,444,557 円、歳出総額 18,147,893,279 円、差し引き形式収支は 470,551,278 円となりました。

このうち翌年度に繰り越すべき財源 146,739,000 円を差し引いた実質収支は 323,812,278 円の黒字となっています。

## 【 歳 入 】

歳入では、市税の収入済額は4,407,018,578円で、前年度比3.02%、129,130,794円の増収となっています。法人市民税に減収があるものの、市民生活も平時を取り戻しつつある中で、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行され、社会・経済活動が一定程度回復してきたことにより、全体的に増収したものと考えられます。

地方譲与税は213,045,000円で、自動車重量譲与税の増額により、前年度比0.7%の増、法人事業税交付金は前年度比19.1%減の60,000,000円、地方消費税交付金は3.6%減の687,887,000円、環境性能割交付金は、自動車メーカーの排出ガス等不正にかかる自動車取得税の追加徴収による交付金措置により25.3%増の16,230,000円、地方特例交付金は4.0%増の19,554,000円となっています。

地方交付税は6,198,911,000円で0.7%の減となっています。その内訳は、普通交付税が地方債償還額の減少や人口減等により1.0%減の5,059,401,000円、特別交付税が0.5%増の1,139,510,000円であります。

国庫支出金は前年度比21.1%減の1,742,739,568円で、主な要因は新型コロナ感染症対策に関連する交付金等のほか、学校再編に係る施設整備の補助金の減であります。

県支出金は991,008,952円で、地域医療介護総合確保基金事業補助金や生活困窮世帯緊急支援金などの減額により、前年度比7.6%の減となっています。

繰入金は673,204,000円で前年度比163.3%の増、公園管理や道路整備事業などに活用した北アルプス山麓仁科の里整備基金118,000,000円などが主なものであります。

市債は760,156,000円で前年度比54.3%の増、ごみ処理広域化推進事業の負担金などに活用した合併特例債232,200,000円、八坂診療所建設事業や八坂・美麻地区CATV網光化整備などに活用した辺地対策事業債120,200,000円のほか、過疎対策事業債などが主なものであります。

## 【 歳 出 】

歳出で主なものは、総務費ではひとが輝くまちづくり事業に12,991,856円、地域公共交通計画策定など公共交通対策事業に10,365,340円、キャッシュレス決済の導入などDX推進事業に50,104,629円、ケーブルテレビ番組制作全面委託などケーブルテレビ運営事業に79,814,729円などの事業を実施しました。このほか、統一地方選挙の執行経費が併せて31,324,106円となりました。

民生費では、障害者自立支援給付事業に654,118,170円、福祉医療費の給付に232,191,138円、地域包括支援センター2拠点体制など介護予防や認知症対策等の地域支援事業に116,491,996円などの事業を実施したほか、新型コロナウイルス対策や電力等の物価高騰対策として子育て世帯や低所得世帯を対象とした給付金事業等に361,523,137円、かえで保育園解体工事など保育所費に405,497,001円などの事業を実施いたしました。

衛生費では、旧環境プラント解体工事や白馬リサイクルプラザ建設工事などの広域ごみ処理施設の負担金に 731,656,000 円、病院事業会計への繰出金に 810,000,000 円、八坂診療所移転新築工事など国民健康保険特別会計直診勘定運営費への繰出金に 67,527,590 円、新型コロナウイルスワクチン接種事業に 49,252,753 円などの事業を実施しました。

農林水産業費では、農業の担い手育成と農地の課題解決及び地域活性化に向けた事業を推進する農業振興事業に 28,364,557 円、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る農業用施設管理事業では、水路等の長寿命化のための改修や県営事業への負担金など繰越事業を含め 96,165,915 円、北アルプス森林林業基本計画策定など森林環境譲与税事業では、基金積立を含め 64,143,496 円などの事業を実施いたしました。

商工費では、コロナ禍や物価高騰の影響を大きく受けた商工業、観光業の皆さんを支援するべく様々な事業に取り組み、市制度融資資金の原資預託金に 650,000,000 円、県・市制度資金保証料補給金 18,076,169 円や制度融資資金利子補給金として 10,072,309 円の補助などの事業を実施いたしました。また、物価高騰の影響を受けた市民の皆さんを応援し、市内での消費喚起を促すため、「がんばろう！大町応援券」に 125,065,729 円、「プレミアム付大町商品券」に 6,783,195 円などの事業を実施しています。このほか、工場等誘致振興条例による助成金として 314,473,600 円の助成、温泉供給事業に 60,619,422 円などを実施いたしました。

土木費では、交通事故防止や安全確保、施設の長寿命化のための交通安全施設の整備や道路維持管理に繰越事業を含め 302,748,597 円、緊急車両の通行確保や利便性の向上のための道路新設改良に 62,550,576 円、雪害対策経費に 318,489,785 円などの事業を実施し、建築費では、住宅・建築物の耐震化推進事業やゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業に 39,170,000 円などの事業を実施しています。

消防費では、常備消防への負担金 332,979,000 円、消防団の組織再編や報酬等の見直しなど消防団運営費に 126,210,455 円などを実施し、災害に対する市民生活の安全の確保を図るとともに、新たに防災協定を 6 社と締結するなど安心して暮らせるまちを実現するための事業に取り組みました。

教育費では、旧第一中学校改修等実施設計業務など小学校再編環境整備事業として 37,981,900 円、山村留学支援事業に 21,955,000 円、ICT活用推進事業に 23,995,028 円などの事業を実施し、教育環境の整備を図るとともに、生涯学習、スポーツ振興の分野では、大町公民館分室エレベータ改修工事、常盤公民館講堂照明設備改修工事、B&G 海洋センター体育館照明設備 LED 化など施設整備を実施しました。

公債費は前年度比 7.9%、123,928,749 円減の 1,449,417,141 円となりました。内訳は、償還元金が 1,412,285,427 円、償還利子が 37,131,714 円となっています。

一般会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款 項	令和5年度 収入済額	令和4年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1 市税	4,407,018,578	4,277,887,784	129,130,794	3.0
1 市民税	1,447,151,400	1,414,176,637	32,974,763	2.3
2 固定資産税	2,524,172,225	2,439,200,389	84,971,836	3.5
3 軽自動車税	122,397,920	119,950,370	2,447,550	2.0
4 市たばこ税	179,129,035	177,114,875	2,014,160	1.1
5 入湯税	38,771,450	33,824,900	4,946,550	14.6
6 都市計画税	95,396,548	93,620,613	1,775,935	1.9
2 地方譲与税	213,045,000	211,590,000	1,455,000	0.7
1 地方揮発油譲与税	45,050,000	44,929,000	121,000	0.3
2 自動車重量譲与税	135,815,000	134,481,000	1,334,000	1.0
3 地方道路譲与税	0	0	0	-
4 森林環境譲与税	32,180,000	32,180,000	0	0.0
3 1 利子割交付金	907,000	1,136,000	-229,000	-20.2
4 1 配当割交付金	16,631,000	13,731,000	2,900,000	21.1
5 1 株式等譲渡所得割交付金	16,523,000	9,903,000	6,620,000	66.8
6 1 法人事業税交付金	60,000,000	74,139,000	-14,139,000	-19.1
7 1 地方消費税交付金	687,887,000	713,412,000	-25,525,000	-3.6
8 1 ゴルフ場利用税交付金	1,569,925	1,705,900	-135,975	-8.0
9 1 環境性能割交付金	16,230,000	12,952,000	3,278,000	25.3
10 地方特例交付金	19,554,000	18,805,000	749,000	4.0
1 地方特例交付金	19,554,000	18,805,000	749,000	4.0
11 1 地方交付税	6,198,911,000	6,244,232,000	-45,321,000	-0.7
12 1 交通安全対策特別交付金	2,283,000	2,532,000	-249,000	-9.8
13 分担金及び負担金	71,163,726	62,773,156	8,390,570	13.4
2 負担金	71,163,726	62,773,156	8,390,570	13.4
14 使用料及び手数料	279,403,988	270,539,582	8,864,406	3.3
1 使用料	243,742,838	234,275,682	9,467,156	4.0
2 手数料	35,661,150	36,263,900	-602,750	-1.7
15 国庫支出金	1,742,739,568	2,208,927,147	-466,187,579	-21.1
1 国庫負担金	989,613,258	1,089,895,146	-100,281,888	-9.2
2 国庫補助金	741,866,603	1,108,094,920	-366,228,317	-33.1
3 国庫委託金	11,259,707	10,937,081	322,626	2.9
16 県支出金	991,008,952	1,072,111,221	-81,102,269	-7.6
1 県負担金	474,017,222	484,320,577	-10,303,355	-2.1
2 県補助金	459,550,849	505,090,511	-45,539,662	-9.0
3 県委託金	57,440,881	82,700,133	-25,259,252	-30.5
17 財産収入	27,052,678	31,228,637	-4,175,959	-13.4
1 財産運用収入	24,194,240	22,231,280	1,962,960	8.8
2 財産売払収入	2,858,438	8,997,357	-6,138,919	-68.2
18 1 寄附金	172,159,989	133,843,921	38,316,068	28.6
19 1 繰入金	673,204,000	255,656,000	417,548,000	163.3
20 1 繰越金	811,340,394	995,046,585	-183,706,191	-18.5
21 諸収入	1,449,655,759	1,411,396,572	38,259,187	2.7
1 延滞金加算金及び過料	5,028,630	4,081,643	946,987	23.2
3 貸付金元利収入	806,110,899	755,348,542	50,762,357	6.7
4 受託事業収入	147,777,845	135,944,892	11,832,953	8.7
5 雑入	490,738,385	516,021,495	-25,283,110	-4.9
22 1 市債	760,156,000	492,543,000	267,613,000	54.3
合計	18,618,444,557	18,516,091,505	102,353,052	0.6

## 歳出（目的別）

（単位：円）

款 項		令和5年度 支出済額	令和4年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	議会費	145,661,025	144,751,997	909,028	0.6
1	議会費	145,661,025	144,751,997	909,028	0.6
2	総務費	3,576,355,532	3,186,209,903	390,145,629	12.2
1	総務管理費	3,309,389,145	2,897,699,742	411,689,403	14.2
2	徴税費	180,639,996	179,712,323	927,673	0.5
3	戸籍住民基本台帳費	35,987,363	34,813,999	1,173,364	3.4
4	選挙費	40,797,690	59,444,531	-18,646,841	-31.4
5	統計調査費	7,298,892	5,230,698	2,068,194	39.5
6	監査委員費	2,242,446	9,308,610	-7,066,164	-75.9
3	民生費	4,516,602,952	4,573,717,193	-57,114,241	-1.2
1	社会福祉費	2,891,954,077	2,881,434,905	10,519,172	0.4
2	児童福祉費	1,371,147,480	1,417,632,279	-46,484,799	-3.3
3	生活保護費	253,471,395	274,570,009	-21,098,614	-7.7
4	災害救助費	30,000	80,000	-50,000	-62.5
4	衛生費	2,802,627,535	2,262,231,687	540,395,848	23.9
1	保健衛生費	1,657,603,154	1,614,267,405	43,335,749	2.7
2	清掃費	1,089,807,142	602,682,861	487,124,281	80.8
3	環境保全費	55,217,239	45,281,421	9,935,818	21.9
5	労働費	122,082,762	126,196,173	-4,113,411	-3.3
1	労働諸費	122,082,762	126,196,173	-4,113,411	-3.3
6	農林水産業費	705,200,631	623,654,631	81,546,000	13.1
1	農業費	393,504,722	343,096,189	50,408,533	14.7
2	耕地整備事業費	206,041,281	176,172,421	29,868,860	17.0
3	林業費	96,255,778	95,160,595	1,095,183	1.2
4	水利対策費	9,398,850	9,225,426	173,424	1.9
7	商工費	1,516,040,279	1,785,596,549	-269,556,270	-15.1
1	商工費	1,516,040,279	1,785,596,549	-269,556,270	-15.1
8	土木費	1,541,665,035	1,404,753,579	136,911,456	9.7
1	土木管理費	28,617,220	27,862,330	754,890	2.7
2	道路橋梁費	713,029,220	639,768,390	73,260,830	11.5
3	河川費	16,797,910	20,449,100	-3,651,190	-17.9
4	都市計画費	659,754,467	647,748,591	12,005,876	1.9
5	住宅費	123,466,218	68,925,168	54,541,050	79.1
9	消防費	513,178,325	517,269,461	-4,091,136	-0.8
1	消防費	513,178,325	517,269,461	-4,091,136	-0.8
10	教育費	1,226,422,912	1,493,590,798	-267,167,886	-17.9
1	教育総務費	144,365,534	156,476,346	-12,110,812	-7.7
2	小学校費	296,957,836	273,846,990	23,110,846	8.4
3	中学校費	85,848,289	354,759,968	-268,911,679	-75.8
4	社会教育費	302,964,868	313,365,853	-10,400,985	-3.3
5	保健体育費	308,670,973	322,722,333	-14,051,360	-4.4
6	山岳博物館費	87,615,412	72,419,308	15,196,104	21.0
11	災害復旧費	32,639,150	13,433,250	19,205,900	143.0
1	農林施設等災害復旧費	25,072,300	5,515,950	19,556,350	354.5
2	土木施設等災害復旧費	7,566,850	7,917,300	-350,450	-4.4
12	公債費	1,449,417,141	1,573,345,890	-123,928,749	-7.9
1	公債費	1,449,417,141	1,573,345,890	-123,928,749	-7.9
13	予備費	0	0	0	-
1	予備費	0	0	0	-
合計		18,147,893,279	17,704,751,111	443,142,168	2.5

## 歳出（性質別）

（単位：千円）

	令和5年度 支出済額	令和4年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
人件費	3,228,765	3,215,734	13,031	0.4
扶助費	2,503,535	2,448,843	54,692	2.2
公債費	1,449,417	1,573,346	-123,929	-7.9
物件費	2,356,004	2,453,481	-97,477	-4.0
維持補修費	582,902	456,554	126,348	27.7
補助費等	4,126,724	3,986,478	140,246	3.5
うち一部事務組合に対するもの	1,204,610	797,463	407,147	51.1
繰出金	1,525,094	1,310,135	214,959	16.4
積立金	524,583	418,728	105,855	25.3
投資・出資・貸付金	755,244	755,085	159	0.0
投資的経費	1,095,625	1,086,367	9,258	0.9
普通建設事業費	1,062,986	1,072,934	-9,948	-0.9
補助事業費	277,672	427,902	-150,230	-35.1
単独事業費	785,314	645,032	140,282	21.7
災害復旧費	32,639	13,433	19,206	143.0
合計	18,147,893	17,704,751	443,142	2.5

## 一 般 会 計 決 算 比 較

### 歳入

(単位：円)

款	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1 市税	4,407,018,578	4,277,887,784	4,118,584,560	4,093,909,917
2 地方譲与税	213,045,000	211,590,000	207,717,000	204,772,000
3 利子割交付金	907,000	1,136,000	2,056,000	2,562,000
4 配当割交付金	16,631,000	13,731,000	15,893,000	11,288,000
5 株式等譲渡所得割交付金	16,523,000	9,903,000	17,041,000	13,010,000
6 法人事業税交付金	60,000,000	74,139,000	63,231,000	31,093,000
7 地方消費税交付金	687,887,000	713,412,000	713,412,000	657,676,000
8 ゴルフ場利用税交付金	1,569,925	1,705,900	1,710,450	1,431,500
9 環境性能割交付金	16,230,000	12,952,000	13,466,000	12,474,000
10 地方特例交付金	19,554,000	18,805,000	113,200,000	23,222,000
11 地方交付税	6,198,911,000	6,244,232,000	6,492,235,000	5,981,632,000
12 交通安全対策特別交付金	2,283,000	2,532,000	3,178,000	3,415,000
13 分担金及び負担金	71,163,726	62,773,156	58,012,953	55,010,249
14 使用料及び手数料	279,403,988	270,539,582	264,885,715	271,139,180
15 国庫支出金	1,742,739,568	2,208,927,147	2,348,884,209	4,602,366,030
16 県支出金	991,008,952	1,072,111,221	1,029,765,789	937,626,521
17 財産収入	27,052,678	31,228,637	29,721,710	29,260,955
18 寄附金	172,159,989	133,843,921	130,790,852	128,804,538
19 繰入金	673,204,000	255,656,000	356,076,000	632,135,000
20 繰越金	811,340,394	995,046,585	780,316,130	637,459,853
21 諸収入	1,449,655,759	1,411,396,572	1,417,302,126	1,385,131,118
22 市債	760,156,000	492,543,000	809,572,000	803,355,000
合 計	18,618,444,557	18,516,091,505	18,987,051,494	20,518,773,861

### 歳出（目的別）

(単位：円)

款	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1 議会費	145,661,025	144,751,997	144,987,038	145,013,640
2 総務費	3,576,355,532	3,186,209,903	2,799,629,377	5,179,016,917
3 民生費	4,516,602,952	4,573,717,193	4,887,630,441	4,287,566,088
4 衛生費	2,802,627,535	2,262,231,687	2,426,974,091	2,486,228,493
5 労働費	122,082,762	126,196,173	125,631,441	126,020,904
6 農林水産業費	705,200,631	623,654,631	679,737,180	614,768,662
7 商工費	1,516,040,279	1,785,596,549	1,715,473,963	1,826,078,452
8 土木費	1,541,665,035	1,404,753,579	1,815,349,799	1,639,155,722
9 消防費	513,178,325	517,269,461	565,753,957	551,224,815
10 教育費	1,226,422,912	1,493,590,798	1,326,838,592	1,422,587,189
11 災害復旧費	32,639,150	13,433,250	34,195,090	54,445,300
12 公債費	1,449,417,141	1,573,345,890	1,463,799,940	1,406,351,549
13 予備費	0	0	0	0
合 計	18,147,893,279	17,704,751,111	17,986,000,909	19,738,457,731

### 歳出（性質別）

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
人件費	3,228,765	3,215,734	3,158,835	3,101,788
扶助費	2,503,535	2,448,843	2,754,988	1,826,218
公債費	1,449,417	1,573,346	1,463,800	1,406,352
物件費	2,356,004	2,453,481	2,305,621	2,192,112
維持補修費	582,902	456,554	713,906	521,533
補助費等	4,126,724	3,986,478	4,127,702	6,919,500
繰出金	1,525,094	1,310,135	1,307,773	1,294,971
積立金	524,583	418,728	330,178	187,986
投資・出資・貸付金	755,244	755,085	756,824	995,715
投資的経費	1,095,625	1,086,367	1,066,374	1,292,283
合 計	18,147,893	17,704,751	17,986,001	19,738,458

## 他会計等への繰出金・負担金前年比較

(単位：円、%)

繰出金	令和5年度	令和4年度	差引	伸び率
国民健康保険特別会計	308,483,676	268,882,687	39,600,989	14.7
事業勘定	226,941,676	234,656,687	-7,715,011	-3.3
八坂診療所直診勘定	72,404,000	26,959,000	45,445,000	168.6
美麻診療所直診勘定	9,138,000	7,267,000	1,871,000	25.7
後期高齢者医療特別会計	100,407,478	98,560,808	1,846,670	1.9
公営簡易水道事業特別会計	274,681,000	115,932,000	158,749,000	136.9
水道事業会計	10,888,510	7,257,200	3,631,310	50.0
温泉引湯事業会計	240,000	2,592,000	-2,352,000	-90.7
公共下水道事業会計	492,636,000	511,743,000	-19,107,000	-3.7
農業集落排水事業会計	87,806,000	87,256,000	550,000	0.6
病院事業会計	810,000,000	913,147,000	-103,147,000	-11.3
合計	2,085,142,664	2,005,370,695	79,771,969	4.0

※水道事業は、消火栓新設及び維持経費を含む

北アルプス広域連合負担金	1,634,941,000	1,222,394,000	412,547,000	33.7
介護保険事業費	455,627,000	454,209,000	1,418,000	0.3
広域ごみ処理施設関係	731,656,000	306,286,000	425,370,000	138.9
常備消防費	332,979,000	360,309,000	-27,330,000	-7.6
広域経常費（人件費等）	42,598,000	38,994,000	3,604,000	9.2
その他の負担金	72,081,000	62,596,000	9,485,000	15.2

## 地方消費税交付金社会保障財源分の充当先一覧

社会保障財源分決算額 375,337千円

(単位：千円)

区分	決算額	特定財源		一般財源		
		国県支出金	その他	社会保障財源分	その他	
社会福祉	社会福祉総務費	504,082	416,085	1,374	32,681	53,942
	障害者福祉費	726,141	501,309	16,686	47,076	161,070
	高齢者福祉費	148,673	1,015	32,667	9,638	105,353
	福祉医療給付費	232,191	69,924	5,003	15,053	142,211
	地域支援事業費	116,492	1,554	111,876	2,552	510
	児童福祉費	1,371,148	726,285	110,747	93,893	440,223
	生活保護費	253,471	171,810	150	16,433	65,078
	小計	3,352,198	1,887,982	278,503	217,326	968,387
社会保険	国民健康保険	390,452	117,575	121,000	25,313	126,564
	後期高齢者医療	490,608	74,338	0	31,807	384,463
	介護保険	455,627	0	0	29,539	426,088
	小計	1,336,687	191,913	121,000	86,659	937,115
保健衛生	保健総務費	930,528	12,468	17,805	60,327	839,928
	予防費	115,179	50,696	0	7,467	57,016
	母子保健費	35,196	5,122	3,131	2,282	24,661
	保健事業費	19,684	1,867	3,274	1,276	13,267
	小計	1,100,587	70,153	24,210	71,352	934,872
合計	5,789,472	2,150,048	423,713	375,337	2,840,374	

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 1				
担 当 課	総務部	庶務課	職員係			事務事業No.	12117				
事 務 事 業 名	職員研修事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	1	決算書	71	頁
総 合 計 画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	93				
	施 策 目 標 【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築										
	施 策 項 目 ⑦職員の資質向上と育成										
個 別 計 画	大町市人財育成基本方針、大町市人財育成推進計画										頁

**対象と目的**

時代の変化に向き合い、自ら考え、行動し、成長する職員の育成を目指し、「学び、共感、挑戦」をキーワードに組織として、能力開発（職員研修、派遣研修等）、人事評価、人財活用（人事異動、職員採用等）の取組を進める。  
また、職員それぞれの取組として、組織内対話の充実と自己啓発を推進する。

**主な実施内容**

①能力開発 年間研修計画に基づき職場外研修（庁内一般研修、対話研修、楽々講座）や派遣研修（年間、随時）を進める。  
②人事評価 人事評価制度の手引きに基づき人事評価を適正に実施し、人財育成につなげる。  
③人財活用 研修参加実績、人事評価結果、資格取得状況等を人事給与システムで一元的に管理し、適材適所の職員配置に努める。  
④組織内対話の充実 対話研修の実施により、対話の重要性を職員に理解してもらい、組織内対話の充実を図る。  
⑤自己啓発 自己研修費助成制度を活用し、自己研修、資格取得を奨励する。

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		9,986,696 円		10,985,861 円		8,820,976 円	
財源 内訳	特定財源	156,000 円		86,000 円		156,000 円	
	一般財源	9,830,696 円		10,899,861 円		8,664,976 円	
予 算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	11,875,000	-2,272,000	0		9,603,000	8,820,976	
	不用額	特定財源	細節名	統一テーマ合同研修事業補助金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
782,024		金額	44,000	112,000			

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

1 職員研修

(1) 庁内研修

- ・一般研修（eラーニング含む）16講座、1060人
- ・楽々講座 9講座、267人
- ・対話研修（組織風土を考える対話含む）11講座、208人

(2) 派遣研修

- ・年間派遣研修 3か所、3人
- ・随時派遣研修 43講座、120人

(3) 自主研修助成

- ・2講座、25人

2 人事評価

実施率100%

◆ 事業の成果

研修後の職員アンケートから満足度が79%で、特に楽々講座は、今後の業務の参考になったかの設問に対し、参考になったとの回答が82.2%となっており、効果が見られる。楽々講座は研修の講師となった職員の成長にもつながっている。

心理的安全性の確保された職場づくりに関し、組織内対話は重要な要素であるため、今後も対話研修や組織風土を考える職員対話を通じて、組織内対話の活性化を推進するとともに、対話を通じ、自ら考え、行動できる職員を育成する。

◆ 前年度からの改善点

楽々講座を受講できなかった職員向けに可能な範囲で、アーカイブ配信を実施した。

令和4年度の部長研修、課長研修に加え、係長・課長補佐研修を実施し、職場のマネジメントやハラスメントの起こらない職場づくりの研修を実施した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	2				
担当課	総務部	庶務課	市民活動支援係			事務事業No.	12182				
事務事業名	市民活動促進事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	8	決算書	85	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第5章 市民の参画と協働でつくるまち				後期計画掲載頁	86		頁		
施策目標	【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
施策項目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個別計画	市民参加と協働のまちづくり推進基本指針									頁	
対象と目的	<p>市民参画と協働のまちづくりの推進を図るため、市民活動団体の自主的なまちづくり活動が、より活発でスムーズに行えるよう支援環境を整え、併せて団体の育成と団体相互の連携強化を図る。また、自治会においては、高齢化による役員のなり手不足、加入率の低下など様々な課題を抱えている。</p> <p>自治会活動は、協働によるまちづくりの推進や災害発生時の対応などにおいて、重要な役割を担っていることから、今後も継続して自治会運営への支援を行うとともに、役員の負担軽減への見直しにも協力を行っていく。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市連合自治会、大町地区連合自治会事務局</li> <li>地縁団体登録、証明</li> <li>まちづくりセミナーの開催</li> <li>まちづくりフォーラムの開催</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		26,305,000	円	25,124,000	円	38,024,000	円
財源内訳	特定財源		8,900,000	円	8,500,000	円	29,383,000	円
	一般財源		17,405,000	円	16,624,000	円	8,641,000	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	16,555,000	22,000,000	0		38,555,000	38,024,000		
	不用額	特定財源	細節名	金額				
531,000		ふるさと応援基金繰入金	7,383,000	自治総合センターコミュニティ助成	17,700,000	市町村振興協会コミュニティ	4,300,000	

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難所開設運営研修 市自主防災会との共催により、長野県災害時支援ネットワークより講師をお招きし、研修を実施。令和5年6月10日（土）参加者89人</li> <li>○ 防災講演会の開催 令和5年9月17日（日）参加者150人</li> <li>○ まちづくりセミナーの開催 普通救命（AED）講習会 令和5年8月31日（木）自治会、自主防災会、市民活動団体より 参加者19人</li> <li>○ 「ぼくらの市民活動プロジェクト」（実行委員会との共催） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「つながるマルシェ」令和5年10月14日（土）開催 出展25団体 参加者1000人 市民活動団体の活動発表、交流の機会の創出</li> <li>・市民活動セミナー「思わず手に取るチラシづくりカフェ」 2月17日（土）、3月9日（土）全2回開催 参加者21人</li> </ul> </li> </ul>							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合自治会では、市民の関心の高い防災に関する研修を開催し、防災意識の向上を図るとともに、災害時における地域の繋がりの重要性を再認識した。</li> <li>・「つながるマルシェ」では、約1000人の参加があり、活動発表により日頃の活動を知っていただくとともに交流の場が広がり、市民活動の意欲向上に繋がった。</li> <li>・市民活動セミナーでは、団体から要望の多いチラシづくりのセミナーを開催し、イベントや会員募集等の周知方法のスキルアップにつながった。</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連合自治会の研修は、関心の高い防災についての研修を企画し、多くの自治会長に参加いただき、災害時における地域の繋がりの重要性について再認識いただいた。（避難所開設運営研修・防災講演会）</li> <li>・「つながるマルシェ」は、多くの団体に参加いただけるよう、これまでの屋内開催から、屋外での開催に変更し規模を拡大して開催し、交流が広がったことで、多くの団体から好評をいただいた。</li> </ul>							



避難所開設運営研修



つながるマルシェ

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	3				
担当課	総務部	庶務課	市民活動支援係			事務事業No.	12183				
事務事業名	ひとが輝くまちづくり事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	8	決算書	85・86	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	86	頁			
施策目標	【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
施策項目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個別計画											

対象と目的	自主的かつ主体的な活動により公益性のあるまちづくり事業を行う市民活動団体への支援及び自治会等における花づくりを通じた地域コミュニティの促進を図るとともに、市民活動団体の育成及び市民参画と協働によるまちづくりの推進を図る。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひとが輝くまちづくり事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化の継承事業</li> <li>・まちづくり事業（はじめようまちづくり活動、ひろげようまちづくり活動、地域創生活動）</li> <li>・活動継続支援事業</li> </ul> </li> <li>○花づくり活動事業</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）			7,827,877 円	12,885,901 円	12,991,856 円	
財源内訳	特定財源			10,000,000 円	12,500,000 円		
	一般財源	7,827,877 円		2,885,901 円	491,856 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	13,243,000	0	0		13,243,000	12,991,856	
	不用額	特定財源	細節名				
251,144		ふるさと応援基金繰入金					
		金額	12,500,000				

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
○ 公開審査会		4月15日（土）ひろげようまちづくり活動		9団体			
		地域創生活動		4団体			
○ 補助団体数		はじめようまちづくり活動		3団体			
		活動継続支援事業		0団体			
		ひろげようまちづくり活動		7団体			
		地域創生活動		4団体			
○ 花づくり活動団体		21団体					
		・7月下旬から8月上旬に中間調査実施					
○ 最終報告会		令和6年3月16日（土）					
		・各団体の1年間の活動報告					
◆ 事業の成果							
ひとが輝くまちづくり事業補助金では、予算を超える多くの団体からの申請があり、まちづくり活動の推進に繋がるとともに、団体同士がお互いの活動を知ることによって交流が生まれ、市民参画と協働のまちづくりの推進において、プラスアルファの効果が生じた。							
◆ 前年度からの改善点							
資産形成のための補助金にならないよう、対象となる備品の基準を厳格化した。併せて、対象経費に関するQ&Aを作成し、ホームページに掲載し周知を図った。							



ひとが輝くまちづくり事業公開審査



花づくり事業

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	4				
担当課	総務部	庶務課	男女共同参画・人権政策担当			事務事業No.	121111				
事務事業名	人権政策費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	1	決算書	73	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第5章 市民の参画と協働でつくるまち				後期計画掲載頁	89		頁		
施策目標	【2】多様性に満ちた共生社会の実現										
施策項目	①人権教育・啓発の推進										
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針									頁	

**対象と目的**

様々な人権問題を解決するために、市民一人ひとりが人権を身近な問題として捉え、人権について正しく理解し、人権意識を高めていくことで、「人権を尊重し差別のない明るい大町市づくり」の実現を目指す。

**主な実施内容**

- 人権擁護委員と連携した人権啓発（街頭啓発、幼稚園、保育園での啓発など）
- 人権を考える市民の集い開催（教育委員会 人権教育担当と共催）
- 人権擁護委員の推薦

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総事業費（決算額）		254,758 円	254,348 円	530,000 円
	財源内訳	特定財源	円	円	231,029 円
一般財源		254,758 円	254,348 円	298,971 円	

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	584,000	0	0	0	584,000	530,000	
	不用額	特定財源	細節名				
54,000		金額	地域人権啓発活動活性化事業委託金	231,029			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

- 人権啓発活動地方委託事業の受託
  - ・ 人権の花運動 5月19日～11月30日 西小学校258人 北小学校45人参加
  - ・ 人権啓発用冊子の作成・配布  
市内中学生の人権作文作品集250部作成 市内小中学校に配布
- 第60回長野県部落解放研究集会への参加 12月20日（水）
- 人権啓発活動
  - ・ 街頭啓発、人権教室の開催（しらかば保育園、大町西小学校、大町北小学校）
  - ・ 人権を考える市民の集い開催（教育委員会と共催） 市内6地区
- 人権擁護委員の推薦 4人
- 犯罪被害者等支援条例に向けた庁内検討



人権の花運動



人権を考える市民の集い

### ◆ 事業の成果

- ・ 人権の花運動では、小学校2校の児童約300人が、花を育てる活動を通じて、人権の尊さ、命の大切さや思いやりの心を学んだ。
- ・ 人権作文コンテストの受賞作品を作品集に編集し、市内小中学校に配布した。受賞作品は、いずれも中学生らしい感性に富み、純粋な感覚で人権問題を捉え、思いやりの心が表現されていた。
- ・ 人権を考える市民の集いでは、市内6地区の小中学校を会場に、それぞれ会場ごとに、異なる人権課題をテーマにした講演会等を行い、児童や一般市民（参加者延べ1102名）への人権意識の普及に繋がった。

### ◆ 前年度からの改善点

- ・ コロナ禍で休止していた人権教室の回数を増やし、保育園、小学校2校で開催した。児童の人権意識の高揚に大きく寄与した。
- ・ 人権課題の一つでもある犯罪被害者等支援について、市町村における支援の必要性が高いことから、県内でも条例制定の動きが活発化しており、本市においても条例制定に向けた庁内検討を開始した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	5
担当課	総務部	庶務課	男女共同参画・人権政策担当			事務事業No.	121101
事務事業名	男女共同参画推進費					実施方法	市が直接実施
会計	一般会計			款	2	項	1
目	10			決算書	91・92	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	89
施策目標	【2】多様性に満ちた共生社会の実現						
施策項目	①人権教育・啓発の推進						
個別計画	大町市第4次男女共同参画計画						頁

**対象と目的**  
 急速な人口減少と少子高齢化、頻発する自然災害や感染症の流行など、社会情勢が大きく変化するなかで、活力ある社会を維持するためには、男女がお互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関りなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が必要となる。  
 幼児から高齢者まで幅広い世代に対し、身近で関心の高い分野を取り入れながら男女共同参画社会について学習の機会を設け、誰もが個性を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

**主な実施内容**

- 男女共同参画フォーラムの開催
- 男女共同参画学習会の開催（市内6地区）
- 女性団体連絡協議会への支援
- 女性相談・男性相談
- 大町市第4次男女共同参画計画の周知と施策の推進

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		446,948 円	835,664 円	841,216 円		
	財源内訳	特定財源	円	円	円		
一般財源		446,948 円	835,664 円	841,216 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	999,000	207,000	0		1,206,000	841,216	
	不用額	特定財源	細節名				
	364,784		金額				

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 **あり**

◆ 施策目標に資する活動

- 男女共同参画フォーラム  
 令和6年3月3日（日）大町市文化会館にて開催 参加者130人  
 講演：「世界がもし100人の村だったら～52人が女性、48人が男性、あなたもここに生きています～」 講師：池田 香代子さん
- 男女共同参画学習会の開催（各地区公民館）
  - ・大町地区 10月～3月 外国人のための日本語教室との交流 参加者延べ14人
  - ・平地区 10/1 「防災食を作ろう！」参加者15人
  - ・常盤地区 11/19 「ポッチャを楽しもう！」参加者36人
  - ・社地区 10/22 「松本山雅健康運動教室」参加者16人
  - ・八坂地区 2/25 「本格鹿肉スパイスカレーづくり」参加者12人
  - ・美麻地区 2/4 「落語でやっちゃん美麻地区男女共同参画学習会」参加者8人
- 大町市女性団体連絡協議会の活動支援
  - ・ 総会・講演会 令和6年4月20日（土）開催 参加者20人  
 講演「天気上手で防災上手～大町の気象災害から身を守るために～」  
 講師 気象予報士 鈴木智恵さん
  - ・ 理事会 毎月1回 計12回開催
- 女性相談・男性相談の実施 毎月第2、4木曜日 相談件数延べ16件
- 長野県男女共同参画センター研修会への参加 サテライト開催全3回 参加者延べ16人



男女共同参画フォーラム



大町市女性団体連絡協議会  
総会・講演会

◆ 事業の成果

- ・コロナ禍により休止していたフォーラムや学習会を再開し、男女共同参画への理解促進や啓発を行った。フォーラムや各地区の学習会におけるアンケートの結果からも、男女共同参画に関心をもつ契機となったことがうかがえた。これまでの取組みにより徐々にではあるが、市民の男女共同参画に対する意識が向上している。

◆ 前年度からの改善点

- ・フォーラムや学習会では、多くの参加者を確保するために、それぞれの実行委員会でアイデアを出し合い、どうすれば参加者が増えるか検討した。フォーラムでは、ベストセラー作家として著名な池田香代子さんを講師に迎え、昨年よりも50人多く参加いただいた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	6
担当課	総務部	企画財政課	企画調整係			事務事業No.	12136
事務事業名	アルプス囲碁村推進事業					実施方法	委託
会計	一般会計	款	2	項	1	目	3
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	74・75
総合計画	施策目標 【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						45
総合計画	施策項目 ③多様な分野の学習活動の促進						
個別計画	アルプス囲碁村計画						頁

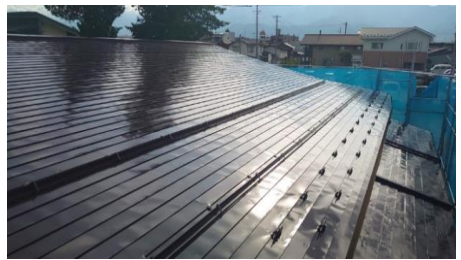
対象と目的	<p>幼児から高齢者までの幅広い年齢層の市民が、「まちづくりはひとづくり」という視点に立ち、囲碁を通じた「ひとの和づくり」をコンセプトとした魅力あるまちづくりを行う。 風光明媚な当市の豊かな自然環境の中で、囲碁を楽しんでいただけるよう滞在型観光に結び付けるとともに、囲碁愛好者の拡大と囲碁通じた人財の育成を図る。</p>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保育園、小学校への囲碁普及員の派遣</li> <li>・ 囲碁十段戦第3局歓迎レセプション及び大盤解説会開催</li> <li>・ アルプス囲碁ポンヌキ大会（市内幼保育園年長児）</li> <li>・ 各種大会、イベント共催協力等</li> <li>・ アルプス囲碁村十段戦の開催</li> <li>・ 第21回アルプス囲碁村まつりの開催</li> <li>・ 保育園囲碁交流会</li> <li>・ 囲碁村会館の維持管理</li> </ul>

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		1,214,836 円	2,511,247 円	5,510,400 円			
財源内訳	特定財源						
	一般財源	1,214,836 円	2,511,247 円	5,510,400 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	5,788,000	0	0	0	5,788,000	5,510,400	
	不用額	特定財源	細節名				
277,600		金額					

事業の実績・成果		前年度からの改善点等
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>令和5年4月～令和6年3月（市内幼保育園、小学校、児童クラブ、囲碁村会館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普及員9名</li> <li>・ 派遣施設14施設</li> <li>・ 指導時間276時間</li> </ul> <p>◇ こども囲碁教室・こどもと大人の囲碁入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1期 4月8日～7月23日 参加者延べ138名</li> <li>・ 第2期 8月19日～12月2日 参加者延べ133名</li> <li>・ 第3期 12月9日～3月9日 参加者延べ126名</li> </ul>		あり
<p>◆ 事業の成果</p> <p>コロナ禍を経験し、感染対策の徹底や開催方法の工夫などにより、普及活動や囲碁村まつりを実施し「囲碁を学ぶ」のではなく、「囲碁に学ぶ、囲碁で学ぶ」という基本的な考え方を基に、「囲碁によるまちづくり」、「囲碁によるひとづくり」を推進することができた。今後、更に囲碁の普及や底辺拡大に取り組んでいく。</p>		
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>老朽化により錆や汚れが目立っていたことから、アルプス囲碁村会館の屋根塗装やカーペット張り替え工事を行った。また、スリッパを交換する等、施設管理を適切に行うことにより、皆さんが気持ちよく会館を利用頂けるよう、引き続き安心・安全に囲碁を楽しめる環境づくりに努める。</p>		



（写真1：カーペット張り替え後のこども囲碁教室の様子）



（写真2：塗装後のアルプス囲碁村会館）

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	新規事業
						No.	7
担当課	総務部	企画財政課	企画調整係			事務事業No.	12138
事務事業名	ふるさと応援団事業					実施方法	その他
会計	一般会計	款	2	項	1	目	3 決算書 76・77 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	92 頁
施策目標	【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築						
施策項目	⑤健全で持続可能な財政運営						
個別計画							頁

対象と目的

・都市部と地方における税収の地域間格差の是正と大町市を「ふるさと」として全国から広く支援いただくことを目的に、平成20年10月からふるさと寄附（納税）の受け入れを開始し、当市のまちづくりを応援いただいている。  
 ・寄附金を事業の財源として充当、活用が可能となり、自主財源の確保が図られる。  
 ・寄附特典として地域特産品等を返礼品としており、地域産業の活性化へと繋げる。

主な実施内容

12項目の寄附金使途メニューを設け、寄附者の意向に沿った事業へと充当、活用している。  
 ①協働のまちづくり ②自然環境保全 ③未来を担う子ども達 ④高齢者の生きがい ⑤山岳観光都市の振興  
 ⑥山村留学事業推進 ⑦芸術文化振興 ⑧起業創業支援 ⑨移住定住促進 ⑩市立大町病院の支援 ⑪市長におまかせ ⑫その他  
 令和5年度充当事業（R4寄附分）：寄附者指定の使途に従い、ひとが輝くまちづくり事業や環境保全事業など37事業

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総事業費（決算額）		190,197,743 円	193,904,857 円	234,966,809 円
	財源内訳	特定財源	126,909,081 円	128,230,274 円	154,247,701 円
一般財源		63,288,662 円	65,674,583 円	80,719,108 円	

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	182,198,000	54,548,000	0	0	236,746,000	234,966,809	
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金利子	ふるさと寄附金		
1,779,191		金額	45,701	154,202,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

市ホームページやポータルサイト等による情報発信  
 前年度寄附分を寄附者指定の使途に従い37事業に充当  
 寄附件数：4,970件  
 寄附充当額：128,180,000円（R4寄附額）



### ◆ 事業の成果

ふるさとや地方自治体の様々な取組みを応援する納税者の気持ちを橋渡しして、支えあう仕組みであるとともに地方自治体自らが財源を確保し、様々な施策を展開、実現するために有効な手段である。  
 一方、自治体間の過熱化する返礼品競争など制度運用の課題も多いが、特産品を含め当市をPRする機会でもあることから、返礼品を通じて市の魅力の周知に努めている。

### ◆ 前年度からの改善点

総務省告示を受けて、寄附金の募集に要した費用の合計額を寄附金の合計額の100分の50以下とることとなったため、各事業者の寄附金額を増額により対応した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	新規事業
						No.	8
担当課	総務部	企画財政課	SDGs共創推進担当			事務事業No.	121318
事務事業名	SDGs推進事業					実施方法	その他
会計	一般会計			款	2	項	1
目				3	決算書		76~79
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	60
総合計画	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化					
総合計画	施策項目	④信濃大町ブランドの戦略的な展開					
個別計画	大町市SDGs未来都市計画						頁
対象と目的	SDGs未来都市計画により、至高の地域資源である「水」に焦点をあて、新たな観光商品や地域ブランドの振興、環境保全活動の促進を図るとともに「水」に関わるひと・しごとを主役とする経済、社会、環境の三側面から、水を起点としたまちづくりに向けた取組みを進める。また、水と人と地域の関わりや水に関する施設を後世に伝えていくため、生活や産業の礎である水の価値を再認識していくとともに、市民や次代を担う子供たちと共に、先人たちが大切に維持してきた水資源の保全に対する思いを再度振り返り、水資源を保全する意識の醸成を図るための取組みを進め、100年先の未来においても今と変わらない「水が生まれる信濃おおまち」を目指す。						
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs普及推進（SDGsみずのわ月間、長野コーヒーフェスティバル、水源ツアー等の開催）</li> <li>次世代環境教育「水育」、「森と水の学校」の推進</li> <li>水を活用したレシピ開発とPR</li> <li>水の歴史、資源のデジタルアーカイブ化</li> <li>ポータルサイトによる情報発信及びECサイトによる商品の等の販売</li> <li>SDGs学習旅行誘致協議会との連携</li> <li>HAKUBAVALLEY TOURISM SDGs 小委員会への協力</li> </ul>						

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		円	8,288,570 円	10,385,047 円		
財源内訳	特定財源		円	4,656,336 円	6,509,680 円		
	一般財源		0 円	3,632,234 円	3,875,367 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,330,000	4,490,000	0	0	10,820,000	10,385,047	
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金	良好な水環境水環境創出		
434,953		金額	3,000,000	3,509,680			

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

## ◆ 施策目標に資する活動

### ◇SDGs普及推進事業

#### ①SDGsみずのわ月間による普及啓発（9月30日～10月29日）

- 9月30日～10月1日 長野コーヒーフェスティバル コーヒー店舗20店、来場者約17,900人
- 期間中、他のイベントと連携しブース設置等による普及啓発
- 9月30日～10月1日 水源ツアー及び北アルプスフェア2023「信州・秋の味覚市」
- 信濃大町アーティスト・インレジデンス

#### ②水を活用したレシピ開発とPR

- 大町産の水や氷、果物等を使用したレシピ開発（かき氷とカクテル）
- 8月1日 みずのわ企画発表会 参加メディア10社
- 9月30日 販売開始（9店舗）

#### ③水の歴史、資源のデジタルアーカイブ化

- 水の歴史講座の開催 「おおまち歴史のまち探訪」を含め4回開催 参加者102名

#### ④次世代環境教育の推進

- サントリーが行う水育、森と水の学校の推進

#### ⑤地域ポータルサイト事業

- サイトによる情報発信、ECサイトによる商品の販売

#### ⑥SDGs連携・支援事業

- 大町市SDGs学習旅行誘致協議会による探究学習プログラム等の作成
- HAKUBAVALLEY TOURISM SDGs 小委員会 9月8日 SDGs勉強会の開催



## ◆ 事業の成果

SDGs未来都市計画に基づく、「水」を起点とした持続可能なまちづくりの取組みを市民をはじめ、多くの方々に理解を深めるため、みずのわ月間、特に発信力のある「コーヒーフェスティバル」の開催は効果的であった。多くのお客様に会場いただき、大町の水の良さを再認識してもらい地域ブランド振興により「水が生まれる信濃おおまち」の認知度・魅力度の向上に繋がる取り組みとなった。

## 事業の実績・成果

## ◆ 前年度からの改善点

水を活用したレシピとして「かき氷」と「カクテル」開発に取り組むとともに、当市の水の歴史や豊かな自然を未来の世代に残す必要性から資源情報をデジタル活用するため、講座の撮影編集、学習動画の作成とテキスト化を行った。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	9
担当課	総務部	税務課	管理収納係			事務事業No.	12212
事務事業名	賦課徴収費					実施方法	市が直接実施
会計	一般会計	款	2	項	2	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	92
個別計画	【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築						
	⑤健全で持続可能な財政運営						
個別計画							頁

**対象と目的**  
課税客体の適正な把握に基づき、市税の適正かつ公平な課税、並びに効果的な収納業務の推進により、自主財源である市税の確保に努める

**主な実施内容**  
 地方税法に基づく各種市税の課税・調定・徴収・収納管理の諸業務  
 ○市民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税の課税・調定業務  
 ○各市税の徴収・収納管理業務（各種税額収入金を含む）及び滞納者に対する納税相談・滞納処分の実施  
 ○市民税不申告者に対する調査の実施（訪問・電話・文書）  
 ○土地評価の時点修正等業務  
 ○啓蒙啓発活動

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		42,908,073 円	43,190,431 円	35,881,867 円		
	財源内訳	特定財源	6,661,415 円	6,457,913 円	7,480,175 円		
		一般財源	36,246,658 円	36,732,518 円	28,401,692 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	24,425,000	13,000,000	0	0	37,425,000	35,881,867	
	不用額	特定財源	細節名	督促手数料	所得証明等諸証明手数料	延滞金及び遅延損害金	弁償金ほか
1,543,133		金額	726,325	1,671,620	5,028,630	53,600	

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

## ◆ 施策目標に資する活動

課税客体の適正な把握と調査に基づく課税を実施するとともに、徴収強化の徹底や滞納処分の実施に取り組み、折衝困難等の長期・高額案件については、長野県地方税滞納整理機構への移管を行うなどして税収の確保に努めた。

- 課税客体の適正な把握と調査に基づく課税の実施
  - ・市民税不申告調査の実施 516 件
  - ・土地評価の時点修正の実施 85 地点
- 徴収強化の徹底や滞納処分の実施等
  - ・県地方税滞納整理機構への移管 22 件

## ◆ 事業の成果

### ○ 収納実績

	収入額（千円）			収納率（%）		
	5年度	4年度	比較	5年度	4年度	比較
現年課税分	4,350,282	4,239,308	110,974	99.00	98.77	0.23
滞納繰越分	56,737	38,580	18,157	66.30	50.77	15.53
合計	4,407,019	4,277,888	129,131	98.37	97.93	0.44

（収納率増減の主な要因）

現年課税分：固定資産税特例減税措置等に伴う徴収猶予申請数の減少による収納率の増加  
 滞納繰越分：徴収猶予分の前年度からの繰越分の納付等

## ◆ 前年度からの改善点

地方税共通納税が始まり、二次元コードを利用して、クレジットカード、キャッシュレス決済、バーコード決済に対応し、多様な納付方法にて納税者の利便性及び収納率の向上を図った。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	10				
担当課	総務部	情報交通課	広聴広報係			事務事業No.	12122				
事務事業名	広聴広報事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	2	決算書	75	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	87		頁		
施策目標	【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
施策項目	①市民参画と協働によるまちづくりの推進										
個別計画											
対象と目的	<p>・広聴活動として、市民参加による「市民により身近な市政のまちづくり」をめざす。また、「市長への手紙・メール」などにより、市民等から市政への意見・提言をいただく。</p> <p>・広報活動では、「広報おおまち」などにより、市民等へ行政情報等の提供を行い、市民と行政が情報を共有により、お互いの信頼と協調のもと、協働による市政の運営を図り、市民により身近な市政のまちづくりをめざす。</p>										
主な実施内容	<p>(広聴活動) ・市長への手紙・メールの受領・返信 ・無料法律相談の受付 ・行政懇談会の受付・開催</p> <p>(広報活動) ・広報の発行(月1回) ・報道機関への情報提供</p> <p>・声の広報の提供:市広報を録音して届ける、行政情報の有線放送告知</p> <p>・行政情報をメールマガジン登録者へ送信(毎週金曜日配信)</p> <p>・くらしのガイドブック(電子版)の発行と更新</p>										

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費(決算額)		9,274,291 円	7,946,438 円	7,742,142 円		
	財源内訳	特定財源	85,510 円	136,830 円	78,630 円		
一般財源		9,188,781 円	7,809,608 円	7,663,512 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,202,000	0	0		8,202,000	7,742,142	
	不用額	特定財源	細節名	複写機等使用料	広告掲載料		
	459,858	金額		38,630	40,000		

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

- ① 市長への手紙・メール  
「5年度実績」市長への手紙28件、メール76件、合計104件
- ② 広報おおまちの発行  
年12回(毎月)発行・・・行政に関する各種お知らせなどを掲載

### ◆ 事業の成果

- ① 令和4年度の実績と比較すると、市民等からいただいた市政への意見・提言の件数が増え、市政に関心を持っていただけた。
- ② 市民への行政情報等の提供を行い、市の事業や取り組みを紹介し、特に生涯学習や観光イベント等への市民の参加に繋がった。

【令和5年12月号 表紙】



### ◆ 前年度からの改善点

「広報おおまち」の掲載について、担当課とのレイアウト等の調整により、ページ数の削減に努めた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	11
担当課	総務部	情報交通課	DX推進係			事務事業No.	12193
事務事業名	DX推進事業					実施方法	委託
会計	一般会計			款	2	項	1
						目	9
						決算書	87
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	84
総合計画	施策目標 【3】 快適な生活環境の形成						
総合計画	施策項目 ⑥高度情報化社会への対応・DX推進						
個別計画	大田市地域情報化基本計画						

**対象と目的**

- ・情報端末機器や共同利用を含めた各種情報システム等の整備により、情報通信技術を活用した市民等への情報提供の充実を図るとともに、行政手続のオンライン化や証明書のコンビニ交付など行政サービスの充実により、市民の利便性の向上を図る。
- ・情報通信技術を活用し、行政内部事務の効率化による市民サービスの向上を図るとともに、情報セキュリティ対策の強化を図る。

**主な実施内容**

- ・情報通信機器整備事業 : 情報系サーバー及び各種システム、情報系端末、プリンター等のリース
- ・ネットワーク利用事業 : 総合行政ネットワークシステム利用料、県高速ネットワーク運営負担金、県セキュリティクラウド 運営負担金自治体中間サーバープラットフォーム利用負担金
- ・システム運用事業 : 電子申請・届出システム運営負担金、公共施設予約システム利用料、コンビニ交付運営負担金、統合型校務支援システム負担金、学校徴収金管理システム負担金
- ・DX推進事業 : 市民の利便性向上及び行政事務効率化に資するシステム等の検証・導入

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	総事業費(決算額)			50,137,299 円	57,573,272 円	50,104,629 円
財源内訳	特定財源			4,007,922 円	14,249,638 円	3,305,590 円
	一般財源			46,129,377 円	43,323,634 円	46,799,039 円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
		54,231,000	-2,789,000	0	-265,580	51,176,420	50,104,629	
	不用額	特定財源	細節名	金額				
	1,071,791		LGWAN機器広域設置負担金	411,200	テジ田都市国家構想推進交付金	434,390	情報化推進等負担金	2,460,000

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

- ◆ 施策目標に資する活動
  - DX推進計画の策定
  - 市民課・税務課の窓口、電子決済端末を導入
- ◆ 事業の効果
  - 市民課・税務課窓口で電子決済端末を導入したことにより、従来の現金決済に加えクレジットカードやQR決済が可能となり市民の利便性の向上を図った。

\* 利用状況

市民課	180件	3.1%
税務課	23件	2.1%

R5年10月～R6年3月実績



- ◆ 前年度からの改善点
 

情報通信技術の急速な進展やデジタル化が加速するなか、情報システム等の整備に当たっては、重複投資を避けることが必要であることから、市ホームページをはじめ、既存システム等の見直しを実施した。情報システム等の整備財源を確保するため、テジ田交付金を活用した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	12				
担 当 課	総務部	情報交通課	DX推進係			事務事業No.	12194				
事 務 事 業 名	電算処理委託事業					実施方法	委託				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	89	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		84	頁		
	施策目標	【3】快適な生活環境の形成									
	施策項目	⑥高度情報化社会への対応・DX推進									
個別計画	大町市地域情報化基本計画									頁	

**対象と目的**  
住民記録・税・国保・福祉等の基幹系業務の電算化により、事務処理の適正化、迅速化、効率化を図るとともに、市民サービスの向上を図る。

**主な実施内容**

- ・業務のデータ処理
- ・各種制度改正に伴うシステム適用
- ・標準システム及びガバメントクラウドへの移行のためのフィット&ギャップ分析を実施
- ・標準システム及びガバメントクラウドへの移行準備として、システム改修を実施
- ・機器保守等の委託業務及びシステム機器のリース

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		97,090,078 円		150,388,603 円		124,801,171 円	
財源 内訳	特定財源	7,270,552 円		20,694,835 円		12,703,000 円	
	一般財源	89,819,526 円		129,693,768 円		112,098,171 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	128,500,000	6,629,000	0	265,580	135,394,580	124,801,171	8,989,000
	不用額	特定財源	細節名	金額	社会保障・税番号活用推進補助金	情報化推進等負担金	デジタル基盤改革支援補助金
1,604,409			4,067,000	4,400,000	1,853,000	2,383,000	

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

- 業務のデータ処理関係  
電算処理業務・・・住民記録、税、年金、国保、福祉等基幹業務のデータ処理及びシステム保守  
申告受付データe-Tax連携・・・確定申告システムからe-Taxへの情報連携
- システム改修等
  - ・生活困窮者に係る医療扶助のオンライン資格確認導入に係るシステム改修
  - ・生活保護システム改修
  - ・地方税制度改修に伴うシステム改修
  - ・標準システム移行に向けた文字同定
  - ・森林環境税の開始に伴うシステム改修

◆ 事業の成果

基幹業務のデータ処理及びシステム保守を行うとともに、制度改正に伴うシステム改修により、事務処理の適正化、効率化が図り、住民サービスの向上に寄与している。

◆ 前年度からの改善点

- ・標準システムへの移行に係る支出について、国県補助金を活用し、必要な財源の確保に努めた。

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						新規事業					
No.						13					
事務事業No.						12197					
担当課	総務部	情報交通課	ケーブルテレビ係								
事務事業名	八坂・美麻CATV網光化対策事業					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	89	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		91	頁	
	施策目標	【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築									
	施策項目	②情報通信技術を活用した市民サービスの向上									
個別計画	大町市地域情報化基本計画									頁	
対象と目的	<p>・八坂・美麻地区のケーブルテレビ設備について、災害時等の確実かつ安定的な情報伝達を確保し、4K・8K放送の視聴環境を構築するため、現行の設備をF T T H（光回線）に更改する。</p>										
主な実施内容	<p>・伝送路の設計業務</p>										
事業費	決算額		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	総事業費（決算額）		円			円			32,313,600 円		
	財源内訳	特定財源	円			円			31,900,000 円		
		一般財源	0 円			0 円			413,600 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	37,224,000	-3,991,000	0	0	33,233,000	32,313,600					
	不用額	特定財源	細節名	ケーブルテレビ事業債							
	919,400		金額	31,900,000							
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	なし			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委託事業により、設備更改の設計を実施。 令和6年度の光化で使用する電柱1,851本について、令和5年度中に使用申請を提出し、令和6年度実施工事の準備を進めた。</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設計をもとに、補助事業に応募し採択された * 令和5年度放送ネットワーク整備支援事業費補助金</li> </ul>											

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						やり方改善					
No.						14					
事務事業No.						121913					
担当課	総務部	情報交通課	DX推進係			実施方法		委託			
事務事業名	ケーブルテレビ運営事業					委託					
会計	一般会計		款	2	項	1	目	9	決算書	91	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第5章 市民の参画と協働でつくるまち				後期計画掲載頁		91	頁		
総合計画	施策目標	【3】市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築									
総合計画	施策項目	②情報通信技術を活用した市民サービスの向上									
個別計画	大田市地域情報化基本計画										頁
対象と目的	ケーブルテレビ網によるテレビ放送の再送信により、市民に安定した視聴環境を提供する。特に、自主放送番組による地域に密着した情報発信により、地域の一体感の醸成を図る。さらに、県内外へコンテンツを提供することで、広く大田市の情報発信とPRを行う。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ放送の再送信</li> <li>自主放送番組による情報発信 週間情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニング・キッズ24本、きらり特番等109本 議会（本会議、一般質問）の生中継 やまびこまつり・王子神社例大祭（流鏝馬）生中継</li> <li>県議選・市議選の生中継</li> <li>放送設備等の維持管理、更新</li> </ul>										
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	総事業費（決算額）		81,097,495 円		77,094,969 円		79,814,729 円				
	財源内訳	特定財源	81,097,495 円		77,094,969 円		79,814,729 円				
		一般財源	0 円		0 円		0 円				
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	90,225,000	-7,084,000	0	0	83,141,000	79,814,729	0				
	不用額	特定財源	細節名	ケーブルテレビ使用料	ケーブルテレビ引込工事負担金	NHK受信料団体納付負担金ほか					
	3,326,271		金額	56,209,000	633,270	22,972,459					
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主放送番組による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・週間情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニングキッズ24本、きらり特番64本</li> <li>・議会生中継（本会議、一般質問）、王子例大祭生中継</li> <li>・高校野球大会特別番組、王子例大祭生中継</li> </ul> </li> <li>○ 県内他局への番組配信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・週間情報番組「きらり☆ステーション」の一部は、県内CATV局が放送している「まるごと信州情報ネット」で毎週放送</li> <li>・白馬村、小谷村で「きらり☆ステーション」を放送</li> </ul> </li> <li>○ CATV伝送路及び放送設備の管理による安定した視聴環境の確保</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベントや学校行事等の身近な話題について週間報道番組を放送し、大町の旬を感じてもらえる。</li> <li>・本会議については、すべてライブ放送することにより、議場に行かなくても市政の状況をリアルタイムで知っていただくことができる。</li> <li>・やまびこまつりや王子神社例大祭（流鏝馬）については、生放送を行い好評を得た。</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>地域情報化推進委員会においてケーブルテレビの運営について、運営体制の見直しを検討し、令和5年度から専門性の高い放送部門（番組制作・送出業務）を委託した。</p>											

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	15				
担 当 課	総務部	情報交通課	交通政策係			事務事業No.	12166				
事 務 事 業 名	市民バス運行事業					実施方法	委託				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	6	決算書	83	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		78	頁		
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	①移動しやすい公共交通網の整備									
個別計画	大町市地域公共交通総合連携計画								頁		

対象と目的  
誰もが安心・安全に主要な場所へ出掛けることができる、移動手段の維持・確保を目的とする。  
・対象は全市民であるが、特に高齢者や障がい者、学生等の交通弱者。(市民でなくても乗車可。)  
・通院や買い物、通学等、市民の暮らしを支える移動手段。

主な実施内容  
・市民バス「ふれあい号」の運行。(市内9コース、11路線) 運行は、市内の3事業者へ業務委託。  
(株)関電アメニックス …5コース 6路線〔青木、源汲、高瀬入、常盤西、美麻(川手線・境の宮線)〕  
(有)やまびこ …3コース 4路線〔社、八坂、循環線(北・南)〕  
アルピコタクシー(株) …1コース〔常盤東：デマンド運行〕  
・駅前バス待合所開閉錠業務(管理業務)  
北アルプス広域シルバー人材センターへ業務委託。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費(決算額)		95,555,128 円	97,060,554 円	97,015,941 円		
財源内訳	特定財源		197,400 円	220,200 円	201,000 円		
	一般財源		95,357,728 円	96,840,354 円	96,814,941 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	98,857,000	-1,671,000	0		97,186,000	97,015,941	
	不用額	特定財源	細節名	市民バス回数乗車券 窓口販売収入			
170,059		金額	201,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

#### 【広報活動】

- ▶ 市民バス「ふれあい号」時刻表作成(10,000部)
  - ・広報おまち3月号で全戸配布及び市ホームページ掲載
  - ・関係各所へ配布(庁内関係部署、観光団体、商業施設、医療機関、上原の湯や明日香荘等施設など)
- ▶ ケーブルテレビへの時刻表掲載

#### 【市民バス運行実績】

- ▶ 運行ルート：9コース(11路線)
- ▶ 運行日数：243日(土日祝、年末年始除き毎日運行)
- ▶ 利用人数：68,537人/年(前年比+5,639人 9%増)

#### 《コース別利用者数》

- ・青木 … 9,323人：前年比 +1,068人 13.0%増
- ・源汲 … 5,873人：前年比 +1,891人 47.5%増
- ・高瀬入 … 6,482人：前年比 +540人 9.1%増
- ・八坂 … 16,249人：前年比 △399人 2.4%減
- ・美麻 … 15,479人：前年比 +1,402人 10.0%増
- ・常盤西 … 5,350人：前年比 +385人 7.8%増
- ・常盤東 … 801人：前年比 +242人 43.3%増
- ・社 … 3,853人：前年比 +123人 3.3%増
- ・循環線 … 5,127人：前年比 +387人 8.2%増

#### 《デマンド運行(常盤東コース)の状況》

- ・登録者数 : R2… 52人、R3… 68人、R4… 80人、R5… 85人(R2年度比 +63.5%)
- ・利用者数(延) : R2… 305人、R3… 452人、R4… 559人、R5… 801人(R2年度比 +162.6%)

#### 【会議】

- ▶ 大町市地域公共交通会議 2回
  - ・停留所新設やルート変更、ダイヤ改正等について協議

## 事業の実績・成果

## ◆ 事業の成果

- ▶ 利用者数は、八坂コースを除き増加し、全体で前年と比べ5,639人の増加。（前年比9%増）
- ▶ 人口減少等により利用者的大幅な増加が見込めない中、現状維持が図れている。
- ▶ 日常的に交通手段を必要とする人にとっては、安価で主要な場所へ出掛けることができる移動手段として日常生活を支える重要な事業となっている。
- ▶ 中学校再編に伴い、市民バスが通学方法の選択肢の一つとなり、スクールバスの対象とならない生徒の移動手段として利用されている。

## ◆ 前年度からの改善点

- ▶ 中学校再編に伴う改正
  - ・大町中学校への停留所新設
  - ・始業時間に合わせた運行時刻の改正
- ▶ 大町市内から各方面行き最終便の降車専用運行
  - ・乗車している利用者がない場合、乗車が少ない停留所以降において降車専用とし、運行距離の短縮及び運転手の勤務時間短縮を図る。
- ▶ デマンド運行の停留所増設
  - ・利便性向上のため、新たに4か所の停留所を追加。  
（大町図書館、信濃常盤駅、常盤公民館、ふれあいプラザときわ）

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価										継続				
No.										16				
事務事業No.										12167				
実施方法										負担金				
担当課	総務部	情報交通課	交通政策係							目	6	決算書	83	頁
事務事業名	公共交通対策事業									負担金				
会計	一般会計			款	2	項	1	目	6	決算書	83	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち							後期計画掲載頁		78	頁		
施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備													
施策項目	①移動しやすい公共交通網の整備													
個別計画	大田市地域公共交通総合連携計画											頁		
対象と目的	公共交通における利便性の向上や輸送力強化の対応について、大系線利用促進輸送強化期成同盟会や各種協議会を組織し、地域交通の充実を図る。 地域住民の移動手段としてや観光誘客の促進等を図り、地域の活性化を推進する。													
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>大系線利用促進輸送強化期成同盟会〔事務局〕 大系線の利用促進や利便性向上に向け、利用促進事業の取組及びJRへの要望行動等を実施。</li> <li>大町・長野間特急バス利用促進協議会〔事務局〕 特急バス長野-大町線の通年運行確保に向けた取組。冬期運行に関する事業者等との協議・調整等。</li> <li>大田市地域公共交通活性化協議会〔事務局〕 市地域公共交通計画を策定するための法定協議会。</li> <li>その他、大系線活性化協議会や中央東線の期成同盟会、北陸新幹線の協議会等への参画。</li> </ul>													
事業費	決算額		令和3年度			令和4年度			令和5年度					
	総事業費（決算額）		3,643,020 円			3,708,150 円			10,365,340 円					
	財源内訳	特定財源	33,000 円			121,000 円			2,066,313 円					
		一般財源	3,610,020 円			3,587,150 円			8,299,027 円					
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額		計	支出済額	翌年度繰越額						
	10,923,000					10,923,000	10,365,340							
	不用額	特定財源	細節名	長野駅前駐車場利用料	大田市地域公共交通活性化協議会清算金									
	557,660		金額	4,500	2,061,813									
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり						
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>【大系線利用促進輸送強化期成同盟会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 利便性向上・輸送力強化に向けた要望活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ JR各社に対して、輸送強化及び利便性向上・輸送の安全確保・利用促進対策の連携等について要望 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR東日本長野支社への要望書提出（1/5）</li> <li>・ JR西日本金沢支社への要望行動実施（1/17）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>▶ 利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民タイムスへ一面広告掲載（4/19） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村特集掲載「大系線の旅」と題し沿線観光スポットを紹介</li> </ul> </li> <li>○ 2024版 大系線カレンダー作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沿線住民からの要望が多かったため、3年ぶりに作成。（2,500部）</li> </ul> </li> <li>○ 大系線デジタルスタンプラリー開催〔長野県元気づくり支援金活用〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>大系線主要駅を拠点とし、大系線の利用促進はもとより、沿線観光スポットやまち歩きに繋げるための、スマホを活用したデジタルスタンプラリーイベント。</li> <li>・ 実施期間：10/1～1/31まで（4か月間）</li> <li>・ スタンプ設置地点：32地点（沿線8自治体×4か所）</li> <li>・ 参加登録者：1,087人（県内640人、県外447人）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>※アンケートでは、半数以上の56%が大系線を利用したと回答。</p> <p>○ えちごトキめき鉄道のリゾート列車「雪月花」の大系線乗入れ運行（11/26）</p> <p>《会議》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 幹事会 1回</li> <li>▶ 総会 1回</li> <li>▶ 振興部会 2回</li> <li>▶ 長野県JR連絡調整会議 1回</li> </ul>														

## 事業の実績・成果

## 【大町・長野間特急バス利用促進協議会】

- ▶ 通年運行確保に向けた取組み
  - ・夏期運行の繁忙期（7～9月）の運行確保に向けた、他運行事業者への協力依頼・調整等
  - ・冬期運行（12月～4月中旬）の継続に向けた、運行事業者等との協議・調整
- ▶ 広報及び利用促進
  - 夏期及び冬期の時刻表作成
    - ・市内関連施設へ配布。各2,000枚。（庁内関係部署、観光団体、宿泊施設等）
    - ・市ホームページへの掲載
    - ・ケーブルテレビでの宣伝
  - PR動画作成
    - ・観光協会と連携し、ユーチューブ動画を作成・配信 「雷鳥ライナーで行く大町めぐり」
    - ・利用が少ない冬期間の利用促進を目的として実施

## 《運行実績》

- ▶ 運行便数：3,421便〔夏期 2,605便（5.5往復/日）、冬期 810便（3往復/日）〕
- ▶ 利用人数：（延べ）42,446人（前年比 +16,337人 62.6%増）
  - 夏期：（延べ）40,493人（前年比 +15,808人 64.1%増）
  - 冬期：（延べ）1,953人（前年比 +529人 37.1%増）

## 【大町市地域公共交通活性化協議会】

- ▶ 当市の交通政策の指針となる「大町市地域公共交通計画」の策定等を目的として法定協議会を設置
  - ・設置日：令和5年4月20日
  - ・委員：23名（交通事業者、道路管理者、公安、学識経験者、観光・福祉団体、公募市民など）
- ▶ 計画策定支援業務委託
  - 公共交通に係る現状の調査・分析及び課題整理等について、専門とするコンサルへ業務を委託
  - ・委託事業者：（株）地域総合計画（公募型プロポーザル方式により決定）
  - ・国補助制度（地域公共交通確保維持改善事業補助金）を活用（交付額…1,841,500円）
- ▶ 協議会 4回
  - ・計画決定は、令和6年度中を予定

## ◆ 前年度からの改善点

長野駅前駐車場使用料（定期券借上げ）は、利用実績等を考慮し令和5年4月末を持ち終了。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	やり方改善				
						No.	17				
担 当 課	総務部	危機管理課	危機管理係			事務事業No.	19123				
事 務 事 業 名	消防団運営経費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	9	項	1	目	2	決算書	213	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	72		頁		
	施策目標	【4】市民生活の安全の確保									
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保									
個別計画										頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力の中核的な存在である消防団員の資質向上</li> <li>・市民の防災意識、知識の高揚</li> <li>・災害現場における消防団活動時の安全確保の観点から、消防団装備品の充実を図る</li> <li>・各種訓練の開催により災害対応への強化を図る</li> <li>・地域での活動を通じて、地域住民との連携強化を図る</li> </ul>
主な実施内容	<p>消防団</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力向上のための各種訓練の実施</li> <li>・火災現場での消火活動、豪雨時の警戒巡視、行方不明の捜索</li> <li>・ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会</li> <li>・春と秋の演習型訓練や地区の防災訓練</li> <li>・消防フェスタ</li> <li>・団員への補償（公務災害報償、退職報償）掛金の支払い</li> </ul>

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		31,866,977 円	43,022,065 円	70,245,866 円			
財源内訳	特定財源	17,761,000 円	2,032,988 円	31,298,000 円			
	一般財源	14,105,977 円	40,989,077 円	38,947,866 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	65,408,000	6,411,000	0	-200,000	71,619,000	70,245,866	0
	不用額	特定財源	細節名	公務災害障害補償金	退職報償金	市町村振興協会コミュニティ助成金	
1,373,134		金額	1,519,000	28,979,000	800,000		

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動

- ◇ポンプ操法大会、ラッパ吹奏大会 ・実施日 6月25日（市大会） 7月9日（大北大会） 7月23日（県大会）
- ◇消防団総合訓練（運動公園） ・実施日 5月14日 ・参加人数 約200名
- ◇消防フェスタ2023おおまち（文化会館） ・実施日 11月12日 ・参加人数 約1,500名
- ◇秋季火災予防運動演習型訓練（大町病院） ・実施日 11月4日 ・参加人数 約90名
- ◇消防団年末警戒 ・実施日 12月25日～29日 ・参加人数 延べ 約300名
- ◇消防出初式 ・実施日 1月7日 ・参加人数 450名
- ◇文化財防火デー消防訓練（八坂地区） ・実施日 1月28日 ・参加人数 約60名
- ◇春季火災予防運動演習型訓練（文化会館） ・実施日 3月3日 ・参加人数 約110名
- ◇県消防学校入校 ・ドローン講習1名 ・訓練礼式科2名 ・ラッパ科2名 ・指揮幹部科7名
- ◇消防団装備品の充実強化 ・ジャンプスターター26台配備

### ◆ 事業の成果

- ◇ポンプ操法及びラッパ吹奏大会の実施により、各団員の技術向上が図れた。
- ◇演習型訓練の実施により、発災時の対応能力の向上が図れた。
- ◇消防フェスタの実施により、消防団活動の広報が図れた。
- ◇消防学校の講習により、専門的で高度な技術を習得し、災害対応技術の向上が図れた。
- ◇装備品の充実により、緊急時の消防車両バッテリー上がりの対策が図れた。



【ジャンプスターター】



【秋季火災予防運動演習型訓練】

### ◆ 前年度からの改善点



- 新型コロナウイルスの影響により実施できなかった出初式（市中パレード）が4年ぶりに実施した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	18				
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係			事務事業No.	19132				
事務事業名	消防施設整備事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	9	項	1	目	3	決算書	215	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	72		頁		
	施策目標	【4】市民生活の安全の確保									
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保									
個別計画										頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の消防施設及び消防団車両等を計画的に配備、更新</li> <li>施設等の計画的な更新により、火災時等の素早い初期対応が可能な状況を維持し、地域防災力の向上を図ることを目的とする</li> <li>消防設備等の適正な管理及び施設の耐震化を推進し、消防団が災害時に迅速な活動が展開できるようにする</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防施設の耐震化、不要な消防施設の解体、撤去</li> <li>老朽化した消防団車両の更新</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		5,688,805 円		3,365,560 円		2,279,200 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		5,688,805 円		3,365,560 円		2,279,200 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	1,848,000	0	0	439,700	2,287,700	2,279,200	0	
	不用額	特定財源	細節名					
	8,500		金額					


事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>◇ 消防団車両の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団組織の再編に伴い更新の年次計画を見直し。（更新基準は導入後20年経過を目安）</li> <li>積載車一台を用途廃止により売却。</li> </ul> <p>◇ 消防施設の改修等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美麻 二重湯の海 防火水槽及び取水用暗渠等改修</li> <li>社 閨田 防火水槽修繕</li> <li>美麻 小藤、大塩日影 防火水槽修繕</li> <li>美麻 新行 防火水槽修繕</li> </ul>							
							
				【美麻新行防火水槽修繕】	【社閨田防火水槽修繕】		
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水槽内の土砂堆積や水草の発生等による水利活用時の器具故障の恐れや、雨水の流入を原因とした貯水の逸水（オーバーフロー）による隣接道路での通行の妨げといった支障が生じていた各防火水槽の修繕を実施。</li> <li>当修繕により、適切な状態に復旧された。</li> </ul>							
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入後20年を経過しているポンプ車1台及び積載車1台について、売却することで調整中。</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	19				
担 当 課	総務部	危機管理課	危機管理係			事務事業No.	19152				
事 務 事 業 名	防災対策一般経費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	9	項	1	目	5	決算書	217	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁		72		頁	
施 策 目 標	【4】市民生活の安全の確保										
施 策 項 目	①災害に対する市民生活の安全の確保										
個 別 計 画											

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織等が購入する防災資機材について補助を実施し、自助、共助を基本とした地域防災組織の強化を図る</li> <li>自治会等への補助により、災害時に必要となる資機材の確保と地域防災力の強化を図る</li> <li>周辺住民に悪影響を及ぼす恐れのある危険な空家の改善を図る</li> <li>危険空家等の解消</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織への補助（資機材補助、運営費補助）</li> <li>情報伝達手段の確保（衛星携帯電話、防災行政無線）</li> <li>危険空家等の所有者等へ適正な管理のお願い</li> <li>特措法に基づく特定空家等への措置（助言、指導、勧告、命令、代執行）</li> </ul>

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		7,230,193 円	3,906,658 円	6,812,570 円		
	財源内訳	特定財源	309,160 円		361,786 円		
一般財源		6,921,033 円	3,906,658 円	6,450,784 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,432,000	0	0	2,135,219	8,567,219	6,812,570	0
	不用額	特定財源	細節名				
	1,754,649		金額	自動販売機売上手数料		361,786	

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇空家等対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>危険空家の報告、相談</li> <li>報告案件の状況調査</li> <li>特定空家等認定案件（2件）の取組</li> <li>危険空家等所有者と接触、適正な管理のお願い</li> </ul> </li> <li>◇自主防災会、自治会への資機材購入補助</li> <li>◇戸別受信機購入補助</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇危険空家 <ul style="list-style-type: none"> <li>危険空家等報告件数 累計 81件（R4 2件）</li> <li>危険空家等売却 累計 0件</li> <li>危険空家等改善 累計 0件</li> </ul> </li> <li>◇資機材購入補助 27件（23自主防災会）</li> <li>◇戸別受信機購入補助 0件</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>戸別受信機は受注生産であるが、世界的な半導体不足の影響で、納品時期の見通しがつかない状況。製造業者に確認したところ1年以上はかかってしまうとのことなので現在は受注受付を停止している。製造の見通しがついてから受注受付を再開する予定。</p>							
							
						【上仲町自主防災会が補助を活用して購入した資機材】	

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	拡大 20				
担 当 課	総務部	危機管理課	危機管理係			事務事業No.	19154				
事 務 事 業 名	防災施設整備事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	9	項	1	目	5	決算書	217	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	72		頁		
	施策目標	【4】市民生活の安全の確保									
	施策項目	①災害に対する市民生活の安全の確保									
個別計画										頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に対して、災害に関する情報提供を行うために防災無線を整備</li> <li>被災時における防災備蓄物資、資機材の充実</li> <li>防災無線を適正に管理することで、非常時に迅速かつ正確な情報提供を行う</li> <li>備蓄物資、防災資機材の更新</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>備蓄物資の管理。消費（使用）期限を過ぎた備蓄物資は随時更新</li> <li>災害対応に必要な資機材の整備及び備蓄管理</li> </ul>

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		48,685,926 円	5,923,895 円	6,094,399 円		
	財源 内訳	特定財源	43,400,000 円				
一般財源		5,285,926 円	5,923,895 円	6,094,399 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,703,000	0	0	0	6,703,000	6,094,399	0
	不用額	特定財源	細節名				
	608,601		金額				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ◇ 防災資機材

- ・ハイブリッドIPトランシーバー
- ・プラスチック段ボール製オストメイトトイレ



【防災資機材：ハイブリッドIPトランシーバー】

#### ◇ 同報系防災行政無線

- ・保守管理、定期検査
- ・消防指令システムとの連動

#### ◇ 防災備蓄物資

- ・備蓄食料品の期限切れに伴う購入  
(アルファ化米、ビスコ、えいようかん)



【防災資機材：オストメイトトイレ】

### ◆ 事業の成果

- ・避難所における良好な生活環境を確保
- ・有事の際の迅速な情報手段の確保

### ◆ 前年度からの改善点

- ・IPトランシーバーを整備したことで、災害対応等への迅速かつ適正な情報伝達手段が確保できるようになった。
- ・避難所における良好な生活環境を確保するため、オストメイトトイレを整備した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	21
担 当 課	総務部	八坂支所	総務係			事務事業No.	121115
事 務 事 業 名	八坂地域振興事業					実施方法	その他
会 計	一般会計	款	2	項	1	目	11 決算書 92~95 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	87 頁
施 策 目 標	【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進						
施 策 項 目	②過疎地域での地域づくりの推進						
個 別 計 画	大町市過疎地域持続的発展計画						33・48・58 頁

**対象と目的**

- ・定住人口が減少し、少子高齢化が急速に進むなか、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域活力の持続性を高め、愛着をもてる地域づくりを推進する。
- ・地域で自主的、主体的に活動する特色ある団体への支援を行い、活気と魅力あふれる地域づくりを推進する。

**主な実施内容**

- ・地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地域内の振興策や諸問題への対応を検討する。
- ・地域振興バスを運行し、ふれあいバス路線区域外の交通弱者の足の確保を図る。また、診療所の送迎診療バス、たけのこ保育園の通園バスを運行し、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保を図る。
- ・地域づくり協議会、八坂青竜太鼓保存会等へ補助金を交付し、地域振興と特色ある地域活動団体の支援を行う。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）			10,585,131 円	9,289,263 円	8,856,872 円	
財源内訳	特定財源			5,000,000 円	4,000,000 円		
	一般財源	10,585,131 円		4,289,263 円	4,856,872 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	10,523,000	0	0	-108,389	10,414,611	8,856,872	
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
1,557,739		金額	4,000,000				

## 事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

◆ 施策目標に資する活動

- 地域振興バスの運行状況
  - ・運行日数 243日
  - ・利用者数 779人
- 道路愛護事業(年4回)
  - ・作業実施延長(1回：約71km)
  - ・参加者数 1,009人
- 診療所送迎バスの運行状況
  - ・運行日数 59日
  - ・利用者数 229人

■ 補助金

- ・地域づくり事業
- ・公共土木施設愛護会事業
- ・地域間交流事業(八坂秋まつり)
- ・八坂青竜太鼓保存会事業

◎ 八坂音頭保存会は解散したため補助金の交付はなかった。  
 新型コロナウイルス感染症の5類への移行により八坂青竜太鼓保存会が活動を再開したため補助金を交付した。

◆ 事業の成果

地域振興バスを市民バスふれあい号(八坂コース)に接続するよう運行しているため、通院や通学、買い物などで大町市街に行く高齢者や学生等の移動手段が確保され、住み慣れた地域安心して暮らすことができている。

◆ 前年度からの改善点

前年に立ち上げた「八坂地域自治組織見直し検討部会」において、組織のスリム化や再編を検討するため現役員にアンケートを取ったり、各部会の役割を確認し、さらに検討を進めた。



八坂秋まつり(10月28日開催)

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	22				
担 当 課	総務部	八坂支所	産業建設係			事務事業No.	171310				
事 務 事 業 名	八坂観光施設管理費					実施方法	指定管理				
会 計	一般会計		款	7	項	1	目	3	決算書	195	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57	頁			
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画											頁

**対象と目的**  
 大町市ふれあいセンターさざなみ、鷹狩山展望施設（エコーハウスたかがり、鷹狩山展望台）、八坂ふるさと体験館は、地域間交流の促進や観光振興及び地域産業の振興、市民福祉の増進を図るための施設で、現在、民間におけるサービス提供能力や優れた経営ノウハウを活用し、サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、指定管理制度による施設の維持管理及び運営をしている。また、八坂地区には、その他、唐花見湿原や大姥山、山姥の滝など多くの観光資源があり、施設等の清掃・管理を目的とした委託契約を実施している。

**主な実施内容**  
 <指定管理>  
 大町市ふれあいセンターさざなみ：(株)ホップ  
 鷹狩山展望施設（エコーハウスたかがり、鷹狩山展望台）：(株)ピュアハウス  
 八坂ふるさと体験館：八坂元氣会  
 <委託>  
 トイレ清掃（相川、大姥山、山姥の滝）  
 唐花見湿原保護巡視、休憩施設清掃

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		4,831,975 円	4,502,502 円	8,171,870 円			
財源内訳	特定財源	31,748 円	126,728 円	102,067 円			
	一般財源	4,800,227 円	4,375,774 円	8,069,803 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	4,735,000	3,696,000	0	0	8,431,000	8,171,870	0
	不用額	特定財源	細節名				
259,130		金額	八坂ふるさと体験館電気料・水道料負担金	102,067			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

#### 指定管理施設

##### ○鷹狩山展望施設

利用者数：7,579人（展望台6,340人、レストラン1,239人）

イベント協力：2回（北アルプス山麓グランフォンド・トレイルランニング大会）

##### ○八坂ふるさと体験館

利用者数：552人

イベント：新蕎麦祭

イベント協力：1回（文化祭）

##### ○ふれあいセンターさざなみ

利用者数：21,485人

イベント：1回（サウナリニューアルイベント）

#### その他

##### ○大姥山

NHKにっぽん百低山放映への協力

### ◆ 事業の成果

新型コロナウイルスの5類に移行後、行動の制限の緩和によって、人々の行動が徐々に活発化してきたが、前年度を上回る集客には至らなかった。

大姥山のHNKにっぽん百低山の放送後、大きな反響があり問い合わせも多くなった。

### ◆ 前年度からの改善点

指定管理施設では、電気・ガス・灯油などの光熱費に対して物価高騰分を指定管理料に上乗せした。

ふれあいセンターさざなみでは、男女のサウナが故障したため修繕を行い、より快適に使用できるようになった。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	23				
担 当 課	総務部	八坂支所	総務係・産業建設係			事務事業No.	121118				
事 務 事 業 名	八坂定住促進事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	11	決算書	95	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁		60		頁	
	施 策 目 標	【4】移住・定住促進策等の充実強化									
	施 策 項 目	②過疎地域における移住・定住促進									
個 別 計 画	大町市過疎地域持続的発展計画								14・38・57	頁	
対象と目的	<p>・八坂地域は、定住人口が減少し少子高齢化が急激に進んでおり、拠点集落にI・Uターン者等の定住促進を目的に定住促進住宅の整備を行う。また、地域に点在する空き家を有効活用し、移住希望者に紹介することで、さらに定住を促進するとともに、当地域を移住地として選定してもらえるよう、入居した世帯に奨励金を交付する。</p> <p>・住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、住宅の新增改築資金の借り入れ利子の一部を補給し、集落機能の維持と活性化に繋げる。</p>										
主な実施内容	<p>・平成26年度 住宅建設3棟（切久保2・矢下1）</p> <p>・平成27年度 住宅建設2棟（野平）</p> <p>・平成28年度 住宅建設2棟（野平）</p> <p>・平成29年度 住宅建設2棟（矢下）</p> <p>・令和2年度 住宅建設2棟（柘沢）</p> <p>・令和4年度 住宅編入1棟（切久保）</p> <p>・令和5年度 住宅譲渡1棟（野平）</p> <p>・移住者との交流会、過疎対策重点地域における定住促進奨励金・住宅新築資金等利子補給金の交付</p>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		200,000 円		200,000 円		780,389 円	
	財源 内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		200,000 円		200,000 円		780,389 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	1,172,000	0	0	108,389	1,280,389	780,389	0	
	不用額	特定財源	細節名					
500,000		金額						

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入居者募集 定住促進住宅係と連携を図り実施 ・明野集合団地（3戸）、大門団地（1戸）、野平団地（1戸）の募集を随時実施した R5 退去1戸、入居2戸</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 八坂地区定住促進住宅（戸数：明野6、野平12、切久保5、矢下3、柘沢2） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総戸数 28戸（内、4戸は明野集合団地分）</li> <li>・ 入居者 25世帯 83名</li> </ul> </li> <li>○ 奨励金の交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過疎対策重点地域定住促進奨励金 1件（200,000円）</li> </ul> </li> <li>○ 空き家バンクへの登録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八坂地区内の空き家 3戸</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>地域づくり協議会に協力をいただき、野平ラベンダー祭りに合わせて移住希望者と地域住民の交流会を企画したが、参加希望者がいなかったため中止となった。</p> <p>大北地区の定住促進事業であるアルプス地域かわり隊の企画である移住希望者の稲刈り体験と地域住民との交流会を切久保地区で行ったため、地域づくり協議会としても八坂の魅力を伝えるため支援を行った</p> <p>定住促進住宅の譲渡に向けて希望者（入居者）と協議を重ねた結果、令和6年4月付けで当市初となる譲渡に至った。</p>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	24				
担 当 課	総務部	八坂支所	産業建設係			事務事業No.	121119				
事 務 事 業 名	明日香荘管理運営費					実施方法	指定管理				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	11	決算書	95	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57		頁		
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画										頁	

**対象と目的**  
 大田市交流促進センター明日香荘は、地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図るための施設であり、市の観光情報発信と地域以外の方が利用できる観光施設でもあり、地域間交流の促進、観光振興を通じて地域の活性化を図ることが期待されている。また、民間におけるサービス提供能力や優れた経営ノウハウを活用し、サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、指定管理制度による施設の維持管理及び運営をしている。

**主な実施内容**  
 <指定管理>  
 明日香荘は、宿泊施設や温泉施設、レストランや宴会場等を完備しており、指定管理者は、これらを業務として運営するとともに、施設の維持管理を併せて行っている。また、自主的なイベントの開催により地域の活性化や集客を図る。  
 <その他>  
 辺地対策事業債の活用により、老朽化によって機能低下していた交流広間（156畳）の空調設備を更新した。

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		17,172,300 円	17,061,962 円	41,276,044 円			
財源内訳	特定財源			20,400,000 円			
	一般財源	17,172,300 円	17,061,962 円	20,876,044 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,683,000	24,421,000	0	941,600	42,045,600	41,276,044	0
	不用額	特定財源	細節名				
769,556		金額	20,400,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

イベント開催数 9回（前年12回） 利用者数3,470人（前年度6,383人、2,913人減）

【内訳】

・やさか山菜そば祭り	786人	・おせち販売、入浴イベント	248人
・やさか淡竹まつり2023	252人	・初湯イベント	197人
・松茸会席	650人	・風呂の日始め	262人
・やさか新そば祭り	843人	・マグロ×ヒラメ解体ショー	28人
・11周年記念お客様感謝デー	204人		

### ◆ 事業の成果

新型コロナの5類への移行によって、人々の行動が活発したが、国・県・市の旅行等の支援が終了したことで、宿泊が大きく減少した

・宿泊	4,754人	（昨年6,623人）
・レストラン	6,502人	（昨年5,737人）
・バンケット（宴会）	3,004人	（昨年1,557人）
・入浴	11,014人	（昨年8,851人）
・デリバリー	128人	（昨年176人）
・売店	7,294人	（昨年10,406人）

### ◆ 前年度からの改善点

辺地対策事業債を活用して、交流広間（156畳）の空調設備を更新することができた。今まで機能低下により利用者に不便をおかけしていたが、改修により快適性が格段に増した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	25				
担当課	総務部	美麻支所	総務係・産業建設係			事務事業No.	121125				
事務事業名	美麻地域振興事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	12	決算書	97	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁		87	頁		
	施策目標 【1】市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進										
	施策項目 ②過疎地域での地域づくりの推進										
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画							57	頁		

対象と目的	<p>・住み慣れた地域で暮らし続けられる地域を維持して行くため、地域住民や自治組織及び運営組織や企業と、行政が共に地域課題の解決に取り組む協働のまちづくり</p>									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>美麻地域づくり委員会の開催</li> <li>美麻診療所患者輸送業務</li> <li>地域の環境維持への支援</li> <li>美麻地区公共施設周辺維持管理業務</li> <li>美麻地域づくり会議の地域住民協働での事業推進及び運営支援</li> <li>しなののおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」の実施</li> <li>小さな拠点の形成に向けた運営組織への支援</li> <li>地域芸能文化の振興支援</li> <li>地域振興支援員の配置</li> </ul>									

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		10,305,511	円	25,243,843	円	4,491,490	円
財源内訳	特定財源		円	24,862,000	円	4,000,000	円
	一般財源	10,305,511	円	381,843	円	491,490	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	5,580,000	-64,000	0		5,516,000	4,491,490	
	不用額	特定財源	細節名				
1,024,510		金額	ふるさと応援基金繰入金	4,000,000			

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	なし
----------	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

- 美麻地域づくり委員会の開催（4回開催）。
- 美麻地域づくり委員会：市長へ意見書の提出（移住・定住対策、道の駅整備等について）
- 美麻診療所患者輸送業務：運行数141日（前年138日）、運行回数271回（前年249回）、利用者数548人（前年458人）
- 地域の環境維持への支援：道路環境維持支援として道路愛護事業補助金の交付（美麻地区連合自治会）整備延長89.76km。
- 美麻地区公共施設周辺維持管理業務：公共施設7カ所周辺の草刈りをシルバー人材センターの業務委託にて実施。
- 美麻地域づくり会議事業及び運営支援：住民自治組織における地域課題の解決に向けた取り組みや活動。  
地域通信の発行（6回）、特産品の研究開発と販売、地域環境整備活動、小さな拠点の形成推進等の活動。
- しなののおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」：相談数10件、受入数2件。
- 地域芸能文化支援：美麻源流太鼓への補助金の交付
- 地域振興支援員の配置（1名）

## ◆ 事業の成果

- 地域づくり会議活動



道の駅活性化事業



地域環境整備事業



空き家活用事業



遊休荒廃地再生活動

## 事業の実績・成果

〇しなのおおまちワーキングホリデー「むらの暮らしコース」は、都市部の若者に地域滞在いただき、地域の産業や地域活動等を幅広く体験いただく事で、住民との交流や地域の魅力を知ってもらい将来の人口創出に繋げるため実施。

体験メニュー：シビエ加工、学校授業、地域美化活動等



# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	26				
担 当 課	総務部	美麻支所	総務係・産業建設係			事務事業No.	121126				
事 務 事 業 名	メンドシーノ交流事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	12	決算書	97	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	44		頁	
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	⑧特色ある交流事業の推進									
個別計画	大田市過疎地域持続的発展計画								16	頁	

対象と目的	将来を担う若者に国際交流を体験させることにより、国際感覚を身に付け、積極性を養う機会とすることが期待されている。また、子どもから高齢者まで多くの市民が参画し、市民レベルの国際交流を推進することで、地域の活性化に寄与する。
主な実施内容	アメリカ合衆国カリフォルニア州メンドシーノ訪問団の受入又は派遣（隔年） ・負担金：受入時 1,000千円 派遣時 6,359千円 ・旅 費：派遣時 約900千円

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		0 円	0 円	7,257,146 円		
	財源 内訳	特定財源	円	円	円		
一般財源		0 円	0 円	7,257,146 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	12,211,000	-4,686,000	0	0	7,525,000	7,257,146	0
	不用額	特定財源	細節名				
	267,854		金額				

事業の実績・成果		前年度からの改善点等	なし
----------	--	------------	----

◆ 施策目標に資する活動

メンドシーノ訪問  
 期間： 5月12日（金）～19日（金）  
 訪問者： 美麻小中学生27名、引率者12名



支所出発式



ゴールデンブリッジにて



消防署訪問



メンドシーノ高校:ギター作り体験

## 事業の実績・成果



平和友好記念碑にて



太鼓演奏



さよならパーティ



美麻に到着

## ◆ 事業の成果

- 一定期間親元を離れ、生徒の自己意識が芽生え、言語が違う国においても、自己主張ができる生徒の成長が見られた。
- 国内では、体験することができない異文化に触れ、貴重な体験となった。
- メンドシーノの方々に和太鼓など、日本の文化を示すことができた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	27				
担 当 課	総務部	美麻支所	総務係・産業建設係			事務事業No.	1211212				
事 務 事 業 名	美麻定住促進事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	12	決算書	99	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	60		頁		
施 策 目 標	【4】移住・定住促進策等の充実強化										
施 策 項 目	②過疎地域における移住・定住促進										
個 別 計 画	大田市過疎地域持続的発展計画								12	頁	

対象と目的	美麻地区への移住定住を希望する者が、定住促進住宅を始めとした地域移行が円滑に進むよう、相談・支援を行うと共に、定住促進奨励金などの施策を講じ、新たな人口創出を促進させる。									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎対策重点地域定住促進奨励金</li> <li>・過疎地域重点地域住宅新築資金等利子補給金</li> </ul>									

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		79,716,292	円	41,574	円	409,964	円
	財源 内訳	特定財源	59,100,000	円		円		円
一般財源		20,616,292	円	41,574	円	409,964	円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	699,000	0	0	0	699,000	409,964	0	
	不用額	特定財源	細節名					
	289,036		金額					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし																												
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 過疎対策重点地域定住促進奨励金：地区内の指定する地域の空き家に入居する者への奨励金（1世帯20万円）</li> <li>○ 過疎地域重点地域住宅新築資金等利子補給金：住宅「新築」「増改築」「購入」者への借入金利子の一部補給</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美麻地区定住促進住宅 総戸数 20戸（内、令和5年度募集2戸） 入居者 16戸49名</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団 地 名</th> <th>入居戸数</th> <th>入居者数（人口）</th> <th>空棟数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川手団地</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>旭団地</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>桜台団地</td> <td>3</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新行団地</td> <td>3</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>湯の海団地</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>二重団地</td> <td>3</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 過疎地域定住促進奨励金：交付者 0件</li> <li>○ 過疎地域住宅新築資金等利子補給金：交付者 2件</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p>								団 地 名	入居戸数	入居者数（人口）	空棟数	川手団地	0	0	1	旭団地	6	19	2	桜台団地	3	11		新行団地	3	11		湯の海団地	1	2	1	二重団地	3	10	
団 地 名	入居戸数	入居者数（人口）	空棟数																																
川手団地	0	0	1																																
旭団地	6	19	2																																
桜台団地	3	11																																	
新行団地	3	11																																	
湯の海団地	1	2	1																																
二重団地	3	10																																	



# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	28				
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係			事務事業No.	1211215				
事務事業名	ぼかぼかランド美麻管理運営費					実施方法	指定管理				
会計	一般会計		款	2	項	1	目	12	決算書	99	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁		57		頁	
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進									
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進									
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画								18	頁	

対象と目的	市内唯一の道の駅として、市民及び観光客等を対象とし、地域間交流の促進や観光事業の振興・地域住民の福祉の向上などを図ることを目的とした施設。										
主な実施内容	地域間交流の促進 ・道の駅としての機能 ・温浴施設としての機能 ・飲食施設としての機能 ・宿泊施設としての機能 観光事業の振興 ・宿泊、温浴、売店を中心とした観光事業の振興 ・県内、国内、海外からの集客 地域住民の福祉の向上 ・温浴施設及び飲食施設としての機能を中心に市民サービスに努め、気軽に立ち寄れる機会の創出による市民福祉増進										

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		7,932,761	円	9,844,907	円	13,898,718	円
財源内訳	特定財源	1,976,257	円	42,969	円	41,969	円
	一般財源	5,956,504	円	9,801,938	円	13,856,749	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	6,142,000	8,133,000	0	0	14,275,000	13,898,718	0
	不用額	特定財源	細節名				
376,282		金額	ぼかぼかランド美麻EV充電器課金	41,969			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>指定管理施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廊下タイル張替えほか修繕費（1,867千円）</li> <li>防火設備定期検査手数料等（357千円）</li> <li>美遊指定管理料（10,227千円）</li> <li>美遊土地賃借料（390千円）</li> </ul> <p>前年度と比較して利用者数が7千人以上増加</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>美麻地域組織との協働により、様々な活動拠点としての支援</p>							
							
よとくれイベント		よとくれイベント		にくの日イベント			

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	29				
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係			事務事業No.	16152				
事務事業名	ふたえ市民農園管理費					実施方法	委託				
会計	一般会計		款	6	項	1	目	5	決算書	173	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	60		頁		
	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化									
	施策項目	③都市との交流の促進									
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画								12	頁	
対象と目的	遊休荒廃農地等の地域資源を活用し、都市住民等に「農業・土・自然」と交流や促進を図り、大町市への移住や定住促進につなげ、地域振興及び活性化を目的とする。										
主な実施内容	<p>交流促進センター及び休憩施設（ラウベ）付き農園49区画の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流促進センター、ラウベの管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む）</li> <li>市民農園内の草刈り、除雪業務委託</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		18,570,798 円		20,670,735 円		18,857,121 円	
	財源内訳	特定財源	15,887,033 円		18,509,510 円		17,776,045 円	
一般財源		2,683,765 円		2,161,225 円		1,081,076 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	18,976,000	158,000	0	0	19,134,000	18,857,121	0	
	不用額	特定財源	細節名	交流促進センター使用料	ラウベ使用料	施設利用料ほか		
276,879	金額	656,060		14,916,500	2,203,485			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

なし

### ◆ 施策目標に資する活動

ふたえ市民農園休憩施設（ラウベ） 49棟（内、体験用ラウベ5棟）

ラウベ給湯器ほか修繕（1,303千円）

ふたえ市民農園管理業務ほか委託料（6,084千円）

寝具等使用料及び土地賃借料（2,336千円）

令和5年度延べ利用日数 7,920日

令和5年度体験用ラウベ利用者数 110名（36家族）



### ◆ 事業の成果

コロナ禍により、イベント中止などの影響を受けたものの、ラウベの問い合わせや見学者数は増加している。農業体験のみならず、移住を視野に入れた利用者も存在しているため、それぞれ丁寧な対応を管理人と共に心がけることで、「都市住民との交流や促進」「地域振興及び活性化」の推進に取り組んでいく。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						No.	30					
担当課	総務部	美麻支所	産業建設係			事務事業No.	16153					
事務事業名	おおしお市民農園管理費					実施方法	委託					
会計	一般会計			款	6	項	1	目	5	決算書	174	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	60		頁			
総合計画	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化										
総合計画	施策項目	③都市との交流の促進										
個別計画	大田市過疎地域持続的発展計										12	頁

**対象と目的**  
遊休荒廃農地等の地域資源を活用し、都市住民等に「農業・土・自然」と交流や促進を図り、大田市への移住や定住促進につなげ、地域振興及び活性化を目的とする。

**主な実施内容**  
管理棟及び休憩施設（ラウベ）付き農園36区画の管理  
 ・管理棟、ラウベの管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む）  
 ・市民農園内の草刈り、除雪業務委託

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		5,383,662 円		5,845,277 円		6,407,945 円	
	財源内訳	特定財源	5,383,662 円		5,845,277 円		6,407,945 円	
一般財源		0 円		0 円		0 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	6,344,000	670,000	0	0	7,014,000	6,407,945	0	
	不用額	特定財源	細節名	ラウベ使用料	施設利用料	合併浄化槽管理費		
606,055		金額	6,079,977	56,968	271,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

なし

### ◆ 施策目標に資する活動

おおしお市民農園休憩施設（ラウベ） 36棟（内、体験用ラウベ1棟）

おおしお市民農園管理業務ほか委託料（2,978千円）

寝具等使用料及び土地賃借料（1,090千円）

令和5年度延べ利用日数 5,616日

令和5年度体験用ラウベ利用者数 78名（27世帯）



### ◆ 事業の成果

コロナ禍により、イベント中止などの影響を受けたものの、ラウベの問い合わせや見学者数は増加している。農業体験のみならず、移住を視野に入れた利用者も存在しているため、それぞれ丁寧な対応を管理人と共に心がけることで、「都市住民との交流や促進」「地域振興及び活性化」の推進に取り組んでいく。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	32				
担 当 課	民生部	市民課	国保・年金係			事務事業No.	141111				
事 務 事 業 名	後期高齢者健診事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	4	項	1	目	1	決算書	143	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	63		頁		
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施 策 項 目	④健康づくりの推進										
個 別 計 画											

**対象と目的**  
生活習慣病の重症化予防、介護予防を図り、高齢期における健康維持増進及び自立した生活を送るため、健康診査を自己負担無しで実施するとともに、人間ドック受診者には費用の一部を助成している。また、福祉課と保健センターが連携し、通いの場などでの生活改善指導、健康情報の分析結果に基づき、改善等が必要な方を抽出しての保健指導を実施する。

**主な実施内容**  
後期高齢者医療加入者に健康診査（血压測定、身体測定、血液検査、検尿、診察）を自己負担無料で実施する。  
後期高齢者医療加入者が人間ドックを受診した場合、費用の一部（日帰り10,000円、1泊2日20,000円・追加脳ドック10,000円・単独脳ドック18,000円）を助成する。  
ポピュレーションアプローチ 高齢者の通いの場などでの、血压測定、尿中塩分量測定等を実施し生活改善指導等を実施する。  
ハイリスクアプローチ 健診情報を分析し基準に該当した者を対象に保健指導を実施する。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		10,737,387 円	12,420,457 円	13,279,883 円		
	財源内訳	特定財源	6,793,000 円	8,600,505 円	8,254,751 円		
一般財源		3,944,387 円	3,819,952 円	5,025,132 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	12,518,000	1,971,000	0	0	14,489,000	13,279,883	
	不用額	特定財源	細節名	後期高齢者広域連合委託料	後期高齢者広域連合補助金	後期高齢者健診事業徴収金	
1,209,117		金額	148,000	7,904,751	202,000		

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

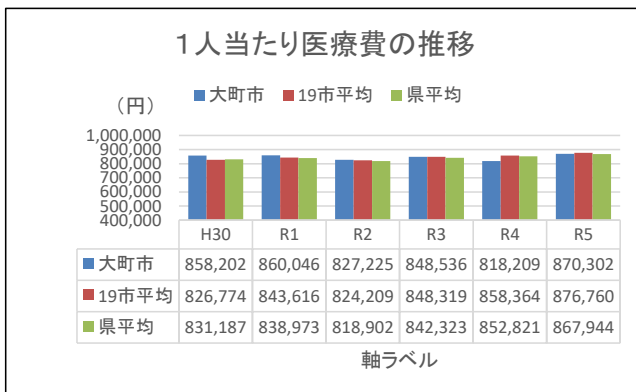
### ◆ 施策目標に資する活動

○健康診査及び人間ドック受診者数

(人)

種 類	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
健康診査	747	724	659	659	750	813
人間ドック（日帰り）	234	239	223	201	266	296
人間ドック（1泊）	25	17	17	16	11	12

### ◆ 事業の成果



○ 後期高齢者健診受診率

R5 21.37% R4 20.57% +0.8%

○ ポピュレーションアプローチ

通いの場と連携し、市内29カ所で医療専門職が関与する体制により、塩分接種・野菜摂取について質問票などによって状況を把握し、指導を行った。

健康教育・健康相談 参加者数 720名

○ ハイリスクアプローチ

HbA1c7.0以上・高血圧Ⅱ度以上の未治療者・治療中断者に対し訪問等により指導を実施

HbA1c7.0以上の未治療者3名について指導を実施

高血圧Ⅱ度以上の未治療者・治療中断者29名について指導を実施

### ◆ 前年度からの改善点

ポピュレーションアプローチでの、健康教育・健康相談において特定・個別健診受診の受診勧奨により受診率が向上した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						No.	33					
担当課	民生部	市民課	健康推進係			事務事業No.	14133					
事務事業名	母子保健事業					実施方法	市が直接実施					
会計	一般会計			款	4	項	1	目	3	決算書	147	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	63		頁			
総合計画	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現											
総合計画	施策項目 ④健康づくりの推進											
個別計画	・健康増進計画 ・第3次食育計画 ・大町市保健事業計画									37他	頁	

**対象と目的**

- ・保護者に対する妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援により、育児の悩みや不安の軽減を図るとともに、子どもの育つ力を支える育児力の向上を支援する。
- ・小児期からの生活習慣病予防の取組みにより、生活習慣病を予防する。

**主な実施内容**

- ・母子健康手帳交付・妊産婦相談・両親学級・新生児訪問・育児相談・2か月児相談・離乳食教室
- ・10か月児相談・心理相談・不妊治療助成事業・小児期からの生活習慣病予防事業
- ・妊娠出産育児の切れ目ない支援事業・母乳相談等助成事業・産後ケア事業・育児支援ヘルパー派遣事業
- ・育児支援カウンセリング相談事業
- ・妊産婦通院支援事業（R4より当事業に移管）

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		10,785,437 円	8,200,340 円	8,174,779 円		
	財源内訳	特定財源	5,809,900 円	5,755,600 円	4,503,400 円		
一般財源		4,975,537 円	2,444,740 円	3,671,379 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	11,443,000	-533,000	0	476,000	11,386,000	8,174,779	
	不用額	特定財源	細節名	金額	金額	金額	
3,211,221		妊娠・出産包括支援事業補助金	1,492,000	ふるさと応援基金繰入金	3,000,000	離乳食教室参加費	11,400

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

- 【妊産婦～出産後への支援】
- 母子健康手帳交付 91件（対前年-43）
  - 両親学級 3回×2コース実施 参加者延べ 妊婦 25人 家族 22人
  - 産前産後サポート
    - ・母乳相談等助成事業 利用実件数 35件 延べ44件 ・育児支援ヘルパー派遣事業 3人 延べ25回
    - ・産後ケア事業 通所6人（14日） ・産後健康診査 実人数96人 延べ178件  
 宿泊5人（25日） ・子育て相談事業 実人数 2人 延べ 2人
    - ・通院支援事業 22人 60枚利用

	2か月児相談	離乳食教室（ごっくん）	離乳食教室（もぐもぐ）	10か月児相談
受診者（人）	98	34	40	99
参加率（%）	95.1	31.8	35.7	90.0

### 【乳幼児・育児期の親への支援】

- 相談事業、教室関係
  - ・フリースペース 12回 延べ30組

### ○ 個別相談

- ・心理相談 実人数 16人（延べ件数16件）
- ・新生児訪問 99件

### ・育児相談

	乳児（1歳未満）	幼児（1歳以上）	計
実人数	132	118	250
延べ人数	269	193	462

### 【小児期からの生活習慣病予防事業】

学年	男性			女性		
	対象	受診	受診率	対象	受診	受診率
小5	98	84	85.7%	75	67	89.3%
中2	96	81	84.4%	93	66	71.0%

### 指導・受診状況

小学生 個別指導15人 受診3人  
 中学生 個別指導13人 受診8人

## 事業の実績・成果

## 【未就学児眼科屈折検査】（北アルプス連携自立圏事業）

	実施数	結 果				
		異常なし	要再検査	要経過観察	要精検 (要精検率)	治療継続
3歳児	116	103	0	6	6 (5.2%)	1
5歳児 (年中)	146	119	13	3	5 (3.4%)	6

## 【幼児歯科検診】

対象	う歯状況（人）		う歯 総本数
	無	有	
1歳 6か月児	110	1 0.9%	7
2歳児	123	0 0.0%	0
3歳児	109	6 5.2%	17

## 【不妊治療助成事業】

	R3	R4	R5
助成件数	22	12	20
助成額（円）	4,222,603	2,235,454	2,622,354

## 【不育症治療助成事業】 0件 0円

## ◆ 事業の成果

コロナ禍や少子化の影響により、孤立化し、育児の不安や負担を抱える人について、個別に相談対応しながら、育児支援ヘルパーや産後ケアの利用に繋げている。相談先を増やし、具体的な方法を学ぶことで、育児等に関する不安軽減につながっている。その後も継続的な育児支援について関係機関と現状を共有しながら、連携を図っていきたい。

## ◆ 前年度からの改善点

出産・子育て応援交付金事業に併せ、妊娠8カ月の妊婦に対し伴走型相談支援を開始した。  
コロナが5類に移行したことにより、健診等で集団教育を再開した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	34				
担 当 課	民生部	市民課	健康推進係			事務事業No.	14135				
事 務 事 業 名	子育て世代包括支援センター事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	4	項	1	目	3	決算書	147	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		69		頁	
	施策目標 【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
	施策項目 ②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援										
個別計画	健康増進計画									頁	

**対象と目的**

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築する。また、支援により悩みを抱える妊産婦等を早期に発見し、相談支援に繋げ、児童虐待の予防や早期発見に資する。  
妊産婦に対し、母子保健施策と子育て施策との一体的な提供を通じ、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行う。

**主な実施内容**

①妊産婦及び乳幼児等実情把握  
②妊婦・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導  
③支援プランの策定  
④保健医療、福祉の関係機関との連絡調整

事業費	<b>決算額</b>		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		2,245,174 円		921,600 円		110,761 円	
	財源内訳	特定財源	1,884,000 円		778,000 円		110,761 円	
一般財源		361,174 円		143,600 円		0 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	915,000	0	0		915,000	110,761		
	不用額	特定財源	細節名	金額	妊娠・出産包括支援事業補助金	子ども・子育て支援交付金		
804,239			75,000		35,761			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ● 利用状況

(件数)

	電話相談	来所相談	訪問等	合計
令和5年度	8	24	136	168
令和4年度	60	41	46	147
令和3年度	46	46	90	182

#### ● 支援プラン作成

	件数
令和5年度	22
令和4年度	24
令和3年度	14

来所や電話による相談者への支援のほか、公民館事業や保育園の園開放等へ出向いて相談を実施し、保護者に寄り添いながら必要に応じ切れ目ない支援を行っている。

#### ● 相談内容

(件数)

	身体発育	食事	育児	保育園等入所	その他	合計	
令和5年度	30	20	62	61	49	222	重複あり
令和4年度	14	10	36	46	86	192	重複あり
令和3年度	38	16	64	46	57	221	重複あり

### ◆ 事業の成果

- 定期的子育て支援課と連携をとり、個別性にあった継続的な支援の実施につながっている。
- 妊娠期から早期に介入し、継続的な相談対応を実施している。

### ◆ 前年度からの改善点

- 各教室等の再開に伴い、施設訪問を積極的に行った。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						No.	35					
担 当 課	民生部	市民課	健康推進係			事務事業No.	14141					
事 務 事 業 名	健康増進事業					実施方法	市が直接実施					
会 計	一般会計			款	4	項	1	目	4	決算書	149	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		63		頁		
	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現											
	施策項目 ④健康づくりの推進											
個別計画												頁

対象と目的	市民の健康保持及び増進を図る。 市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及及び啓発を図る。											
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康相談、健康教育</li> <li>訪問指導、健康手帳の配布</li> <li>健（検）診事業の実施 歯周病検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診、健康増進法健診、先取り健診</li> </ul>											

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		5,683,301	円	4,338,940	円	4,307,367	円
財源内訳	特定財源	2,017,000	円	1,893,200	円	3,589,000	円
	一般財源	3,666,301	円	2,445,740	円	718,367	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	5,698,000	-1,080,000	0		4,618,000	4,307,367	
	不用額	特定財源	細節名	健康増進事業費補助金	ふるさと応援基金繰入金	公衆衛生寄付金	検診事業徴収金ほか
310,633		金額	1,493,000	1,000,000	714,000	382,000	

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	あり
----------	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

### ○健康教育の開催数

年度	R1	R2	R3	R4	R5
開催数（回）	85	4	6	34	55
参加者人数	1,127	71	56	705	543

### ○健康相談の開催数

年度	R1	R2	R3	R4	R5
開催数（回）	21	4	2	2	43
参加者人数	212	71	23	21	178

### ○健康増進法健診（人数）

年度	R3	R4	R5
集団健診	2	3	6
個別健診	1	1	0

### ○先取り健診（18～39歳）

年度	R3	R4	R5
集団健診	53	61	64
個別健診	74	69	75

### ○歯周病検診（30・40・50・60・70歳）

年度	R3	R4	R5
受診人数	132	102	87

### ○骨粗鬆症検診（女性限定）

（40歳から70歳までの5歳刻み）

年度	R3	R4	R5
受診人数	171	206	188

### ○肝炎ウイルス検診

（40歳以上で1度も受けたことのない人）

年度	R3	R4	R5
集団健診	31	54	36
個別健診	42	45	32

### ○特定年齢肝炎ウイルス検診

（無料検診）

（40歳から70歳までの5歳刻み）

年度	R3	R4	R5
集団健診	55	35	47
個別健診	141	136	118

## ◆ 事業の成果

徐々に集合形式での健康教育が行われるようになり、教育の機会が増えてきた。参加者は高齢者が多いため、若年者の対策は今後も課題。

ベジチェックを活用した野菜摂取量の測定を行い、併せてバランス食や減塩等の普及啓発につなげた。数値化することで食への関心を高め、生活習慣を見直すきっかけとなっている。

## ◆ 前年度からの改善点

市内の信州発3つの星レストランに登録されているシェフを講師に減塩方法を学ぶ料理教室を開催した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	36				
担 当 課	民生部	市民課	健康推進係			事務事業No.	14142				
事 務 事 業 名	がん検診事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	4	項	1	目	4	決算書	149	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	63			頁	
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施 策 項 目	④健康づくりの推進										
個 別 計 画	第2次健康増進計画中間評価・見直し								20	頁	

**対象と目的**

市民の健康保持増進を図る。  
市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及および啓発を行う。

**主な実施内容**

- 各種がん検診
  - 胃がん検診（バリウム・カメラ）、大腸がん検診、肺がん検診（レントゲン、CT）
  - 乳がん検診（超音波・マンモグラフィ）、子宮頸がん検診、前立腺がん検診

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		13,922,334 円	14,980,525 円	15,115,240 円		
	財源 内訳	特定財源	1,198,200 円	1,246,600 円	1,377,000 円		
一般財源		12,724,134 円	13,733,925 円	13,738,240 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	16,297,000	-297,000	0	149,072	16,149,072	15,115,240	
	不用額	特定財源	細節名	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業補助金	アピアランスケア助成事業補助金	検修事業徴収金	
	1,033,832		金額	83,000	51,000	1,243,000	

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 **あり**

◆ 施策目標に資する活動

● 健診受診者の推移（人間ドック含まない。）

検診種別	対象者	受診者数（人）						
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
胃がん	バリウム	35歳以上	350	339	234	281	274	246
	カメラ	41歳以上（隔年）	292	249	253	252	291	266
大腸がん		35歳以上	1,420	1,416	1,298	1,288	1,342	1,339
		無料クーポン（再掲）	28	29	36	24	21	16
乳がん	超音波	30歳以上	485	436	337	395	390	371
	マンモグラフィ	40～74歳（隔年）	171	178	176	153	177	170
		無料クーポン（再掲）	35	32	31	30	22	30
子宮がん		20歳以上（隔年）	311	288	263	280	268	258
		集団健診（再掲）	40	39	46	52	43	41
		無料クーポン（再掲）	31	23	30	22	13	20
肺がん	胸部レントゲン	40歳以上	2,177	2,204	1,792	1,978	1,965	1,849
	肺CT	41～75歳（隔年）	96	86	68	72	78	67
前立腺がん		50歳以上	518	534	461	510	574	558

● 検診受診率の推移

	算出年齢	R2		R3		R4		R5		市の目標	国の目標
			ドック含む		ドック含む		ドック含む		ドック含む		
胃がん（カメラ・バリウム）	40～69	13.5%	16.0%	12.0%	22.0%	12.9%	22.5%	11.7%	21.4%	30.0%	50.0%
大腸がん	40～69	15.3%	22.4%	14.9%	22.0%	17.7%	23.8%	16.0%	23.6%		
肺がん（肺がん・CT）	40～69	15.2%	20.4%	15.9%	23.4%	16.4%	22.7%	15.5%	22.6%		
子宮頸がん	20～69	17.4%	20.4%	17.4%	19.7%	18.7%	20.4%	17.8%	19.5%	50.0%	
乳がん（視触診・マンモ）	40～69	27.2%	30.2%	24.3%	26.5%	24.0%	26.4%	24.3%	26.7%		

## 事業の実績・成果

## ● 検診申込者の受診率の推移（人間ドック含まず。）

	R3			R4			R5		
	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率
胃がん（カメラ・バリウム）	985	533	54.1%	1,036	564	54.4%	961	512	53.3%
大腸がん	1,975	1,288	65.2%	2,058	1,344	65.3%	2,045	1,339	65.5%
子宮頸がん	483	280	58.0%	445	265	59.6%	488	258	52.9%
乳がん（視触診・マンモ）	1,024	548	53.5%	1,063	546	51.4%	1,069	541	50.6%

	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
	乳がんクーポン	118	30	25.4%	141	20	14.2%	124	30
子宮がんクーポン	179	22	12.3%	198	16	8.1%	196	20	10.2%
大腸がんクーポン	249	24	9.6%	281	23	8.2%	235	16	6.8%

※申込者及び対象者は年度末の状況

## ● 受診勧奨

## ・勧奨通知作成及び発送

子宮頸がん	20代から30代 未申込者	561人	9月発送
無料クーポン検診	未受診者		10月発送
	・子宮頸がん 20歳	110人	30歳 77人
	・乳がん 40歳	119人	
	・大腸がん 40歳	232人	
胃がん（バリウム）	申込済で未受診者（35歳から69歳）	150人	10月発送
胃がん（胃カメラ）	申込済で未受診者	449人	8月発送
大腸がん	申込済で未受診者（35歳から69歳）	622人	10月発送
乳がん	申込済で未受診者（30代から50代）	488人	8月発送

## ・ホームページによる勧奨

## ・小中学校保護者用勧奨チラシ作成、配布 ・乳幼児健診時に勧奨チラシ配布

・包括連携協定を締結した生命保険会社に、事業所訪問時にパンフレット等での啓発を依頼  
上記に加え、12月より、行政サービス情報の提供活動も行っていただいている。

## ◆ 事業の成果

がん検診の受診率については、国の目標値である50%を達成していない状況である。受けやすい体制づくりや受診勧奨を行っているが、受診率の大幅な増加に繋げることが難しい。また、市の検診を受診してなくても人間ドックや職場健診、医療機関等で受診している場合も多いと考えられるが、その把握は難しい。

がんの予防には早期発見が不可欠であることから、引き続き受診勧奨及び意識啓発に努める。  
がん検診により、毎年10名前後のがん発見者があり、早期治療につながっている。

## ◆ 前年度からの改善点

大北薬剤師会に協力いただき、チラシの配布やがん検診の受診勧奨を実施。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	37				
担 当 課	民生部	市民課	健康推進係			事務事業No.	14147				
事 務 事 業 名	精神保健事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	4	項	1	目	4	決算書	149	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	63				
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施 策 項 目	④健康づくりの推進										
個 別 計 画	第2次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）、大町市いのちを守る推進計画										

対 象 と 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの心の健康について関心を持ち、心の健康を維持するための取組みにつなげる。</li> <li>・関係機関と連携し、生きるための阻害要因を減らし、生きるための促進要因を増やすことにより、自殺対策につなげる。</li> <li>・市民に対し、精神保健に関する知識を広く普及・啓発する。</li> <li>・様々な関係機関が連携し、生きることの包括的支援を実施する。</li> </ul>
-----------	--

主 な 実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談指導及び訪問指導</li> <li>・健康教育</li> <li>・ゲートキーパー養成講座の開催</li> <li>・有線放送等を活用した啓発活動</li> <li>・「SOSの出し方教育」の実施</li> <li>・メンタルチェックシステム「こころの体温計」事業</li> <li>・こころ・法律・仕事の「なんでも相談会」開催（北アルプス連携自立圏事業）</li> </ul>
-------------	---

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		323,415 円		306,011 円		261,448 円	
	財源内訳	特定財源	158,000 円		147,000 円		179,000 円	
一般財源		165,415 円		159,011 円		82,448 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	431,000	0	0		431,000	261,448		
	不用額	特定財源	細節名	地域自殺対策強化事業補助金	なんでも相談会開催事業	北アルプス連携自立圏事業		
169,552		金額	62,000	33,000	84,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

●相談指導及び訪問指導事業	相談			訪問		
	実人数	延べ人数	一人に関わった回数	実人数	延べ人数	一人に関わった回数
	R5年度	36	87	2.4	108	2.1
	R4年度	37	117	3.7	61	2.7
	R3年度	36	80	2.2	82	2.2
	R2年度	32	69	2.2	50	4.1

### ●こころの体温計

	本人モード	家族モード	妊婦・ママモード	ストレスタイプ	アルコールチェック	合計①	大町市以外②	合計①+②
R5年度	4,100	899	271	983	712	6,965	2,588	9,553
R4年度	3,408	771	199	886	570	5,834	2,532	8,366
R3年度	2,915	610	141	669	452	4,787	1,593	6,380
R2年度	3,396	870	183	943	624	6,016	2,416	8,432

### ●SOSの出し方に関する教育

- ・大町中 全校144人 講義形式
- ・八坂小中 7・8・9年生 10人 講義形式
- ・美麻小中 5・7年生 10人 講義形式

- ゲートキーパー養成講座（市民・職員） 1月23日開催 29人参加

- こころ・法律・仕事のなんでも相談会（北アルプス連携自立圏事業） 8月28日(月)開催 23組参加

	30代以下	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	2	3	3	2	11
女性	2	1	3	1	3	10

(延相談件数)				
保健師	精神科医	弁護士	就労支援	インテイクのみ
0	4	15	1	4

### ◆ 事業の成果

保健師が心に悩みや不安を持つ方に寄り添い、主治医と連携しながら支援を実施。

### ◆ 前年度からの改善点

第2次大町市いのちを守る推進計画を策定した。

こころの体温計の広報おまちでの周知を、1回から2回に増やしたことで利用者が増加した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	38				
担当課	民生部	市民課	保健予防係			事務事業No.	14121				
事務事業名	予防接種費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	4	項	1	目	2	決算書	143	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	63		頁		
個別計画	【1】健康で長生きできる社会の実現										
	④健康づくりの推進										

対象と目的	<p>伝染病のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の増進に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予防接種法施行令に定める対象者</li> <li>インフルエンザの任意接種については、中学3年生及び高校3年生相当の者</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>A類疾病（ジフテリア、結核、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、水疱、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、B型肝炎、ロタウイルス）の予防接種</li> <li>B類疾病（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌）の予防接種</li> <li>インフルエンザ任意予防接種</li> <li>風しんの追加的対策に係る抗体検査等</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		60,523,160 円		58,134,476 円		61,064,876 円	
	財源内訳	特定財源	2,596,000 円		1,293,000 円		151,000 円	
一般財源		57,927,160 円		56,841,476 円		60,913,876 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	71,337,000	-6,099,000	0	-1,164,327	64,073,673	61,064,876	0	
	不用額	特定財源	細節名	特定感染症検査等事業費補助金				
3,008,797		金額	151,000					

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動

#### A類疾病予防接種実施状況

予防接種の種類	BCG	ポリオ	四種混合	三種混合	二種混合	MR 1期	MR 2期	日本脳炎	水痘	ヒブ	小児肺炎球菌	HPV	B型肝炎	ロタ	
														1価	5価
R5年度対象者数	101		397		192	100	151	747	200	404	404	1,147	303	(実人数) 101	
全接種者(延べ人数)	105	0	434	0	124	96	121	551	196	407	408	337	309	174	39
内訳	定期接種者	93	0	384	0	124	85	120	546	179	356	324	269	153	29
	相互乗り入れ	12	0	48	0	0	11	1	5	17	49	4	38	21	8
	契約外医療機関	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	9	2	0	2

#### B類疾病予防接種実施状況

#### 風しんの追加的対策に係る

予防接種の種類	高齢者肺炎球菌	高齢者インフルエンザ	抗体検査及び予防接種の実施状況		
			対象者	抗体検査	予防接種
R5年度対象者数	1,325	10,039	R5年度対象接種者数		
全接種者(延べ人数)	226	5,921	2,311	16	
内訳	定期接種者	221	実施者		
	相互乗り入れ	4	3 0		
	契約外医療機関	1	大北管内 3 0		
	他市依頼接種者	0	集規規約 0 0		
全接種率	17.1%	59.0%	実施率	0.1%	0.0%

#### ◆ 事業の成果

おおまち子育て応援アプリの新規登録者数は減少したが、毎月のプッシュ通知による受診勧奨、医療機関との連携により、接種間隔誤りによる予防接種事故は0件であった。

また、高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌の接種者数は減少した。コロナ禍を踏まえ、日頃の感染対策が日常化したことや65歳以上高齢者数の減少が影響していると思われる。

#### ◆ 前年度からの改善点



医療機関の予防接種に関する相談が増え連携強化、課題抽出した。

令和8年度の自治体連携システム本格稼働に向け、予診票や母子健康手帳のDX化を検討している。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	継続 39					
担当課	民生部	生活環境課	環境衛生係			事務事業No.	14243					
事務事業名	生ごみ等資源化推進事業					実施方法	指定管理					
会計	一般会計			款	4	項	2	目	4	決算書	158・159	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	82		頁		
	施策目標	【3】快適な生活環境の形成										
	施策項目	①廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進										
個別計画											頁	
対象と目的	<p>・ごみの排出者自らが、生ごみの減量化と再資源化を行うことで、ごみの減量化と再資源化が図られ、循環型社会の形成が進み、快適な生活環境の基盤形成が図られるとともに市民意識の高揚を図る。</p>											
主な実施内容	<p>・堆肥センターの指定管理者による施設の管理運営。          (平成26年2月から10年間、令和6年度より新たに5年間の指定管理による管理運営)          ・市内小中学校及び保育園、宿泊施設、協力自治会、福祉施設、飲食店等からの生ごみの回収と堆肥化。          ・製造した堆肥の市内学校等での花づくりや野菜作りに活用          ・生ごみ堆肥化等処理容器を購入した市民への補助事業。(購入費の1/2 限度額あり)          電気式：上限額30,000円、100ℓ以上の容器：上限3,000円、100ℓ未満の容器：上限2,000円</p>											

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費(決算額)		19,454,461 円	18,100,517 円	18,583,625 円		
	財源内訳	特定財源	559,000 円	512,500 円	715,000 円		
一般財源		18,895,461 円	17,588,017 円	17,868,625 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	18,822,000	0	0	0	18,822,000	18,583,625	0
	不用額	特定財源	細節名	堆肥販売金			
	238,375		金額	715,000			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生ごみの分別収集及び堆肥化</li> <li>○ 生ごみ堆肥配布</li> <li>○ 生ごみ堆肥化等処理容器購入費補助</li> <li>○ 牛ふん堆肥販売</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堆肥販売会の様子</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設見学による学習風景</li> </ul>	
◆ 事業の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生ごみ収集量               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度：174t(前年度比7.4%増)</li> </ul> </li> <li>○ 生ごみ収集箇所(令和6年3月末現在)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 60箇所：自治会 1件、保育園 2園、小中学校 5校、福祉施設 7施設、宿泊施設 9施設 工場 1施設、飲食店 33軒、行政施設 2施設</li> </ul> </li> <li>○ 生ごみ堆肥配布による啓発               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園、小中学校への配布(はなのぎ、北小、東小、西小、大町中)</li> <li>・ 市民ふれあい広場来場者などへの無料配布 配布数100袋</li> </ul> </li> <li>○ 生ごみ堆肥化等処理容器設置補助金               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気式生ごみ処理機 13台 補助金額 346,196円</li> <li>・ コンポスター 14台 補助金額 30,289円</li> </ul> </li> <li>○ 牛糞生ごみ堆肥販売               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春の販売 令和5年4月 8日(土)実施 軽トラ152台、2t車19台 販売金額 446,500円</li> <li>・ 秋の販売 令和5年9月23日(土)実施 軽トラ 78台、2t車15台 販売金額 268,500円</li> </ul> </li> </ul>					

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	40				
担当課	民生部	生活環境課	環境保全係			事務事業No.	14314				
事務事業名	環境調査事業				実施方法	その他					
会計	一般会計		款	4	項	3	目	1	決算書	158・159	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		75・83		頁		
個別計画	施 策 目 標 【1】自然と共生した環境の創造 施 策 項 目 ①自然環境の保全と共生										

対象と目的	当市の貴重な財産である良質な水や良好な大気等の環境等を適切に保全して快適な環境を未来へ引き継ぐため、環境に悪影響を及ぼす恐れのある事業所等の調査を行い、公害苦情の改善、解決に向けた指導、助言を行うとともに、生活環境の保全を目的とした環境調査（河川水質、自動車交通騒音、ダイオキシン類等）を実施する。
主な実施内容	下記環境調査の実施。定期的調査の他苦情等が発生した場合は随時実施する。 ○河川、湖沼の水質調査                      ○地下水位連続観測                      ○ダイオキシン類：大気、土壌 ○低周波音：食品製造施設                      ○自動車交通騒音調査 ○臭気：堆肥製造施設、食品製造施設、畜産関係                      ○特定悪臭物質：堆肥製造施設、畜産関係

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		11,714,418 円	10,062,586 円	10,238,178 円			
財源内訳	特定財源	5,000,000 円	5,000,000 円	4,000,000 円			
	一般財源	6,714,418 円	5,062,586 円	6,238,178 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	13,754,000	0	0	0	13,754,000	10,238,178	
	不用額	特定財源	細節名				
3,515,822		金額	ふるさと応援基金繰入金				
			4,000,000				

事業の実績・成果		前年度からの改善点等
◆ 施策目標に資する活動 ○水質検査（52箇所 152検体） ・町川、平河川（17箇所）                      ・常盤、社河川（18箇所）                      ・八坂、美麻河川（4箇所） ・仁科三湖（6箇所）                      ・木崎湖流入河川（4箇所）                      ・昭和電工関係（3箇所）  ○地下水位観測（4箇所） 常盤2号井戸 市立大町病院井戸 グリーンパーク井戸 常盤事業所井戸  ○ダイオキシン類測定（大気2回、土壌1回） ・図書館付近(大町)、丹生子付近(社)、雇用促進住宅付近(社)、旧社駐在所付近  ○低周波音測定（食品製造施設 敷地境界3箇所、近隣屋内2箇所）  ○臭気測定 畜産関係12検体 その他77検体 堆肥製造施設 57検体 食品製造施設 20検体  ○自動車交通騒音常時監視 有明大町線（2箇所）		あり
◆ 事業の成果 ○水質検査 河川、湖沼の水質検査については、気象条件による濁水などの場合を除き、基本環境基準値をクリアしている。 また、市ホームページにおいて測定結果を公開している。（年1回更新）		



水質検査

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	41
担 当 課	民生部	生活環境課	環境保全係			事務事業No.	14315
事 務 事 業 名	環境保全事業					実施方法	その他
会 計	一般会計			款	4	項	3
目				目	1	決算書	158~161
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	75・83
施 策 目 標	【1】自然と共生した環境の創造						
施 策 項 目	①自然環境の保全と共生						
個 別 計 画							頁

**対象と目的**

当市の貴重な財産である環境を適切に保全して、快適な生活環境や自然環境を維持するため、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で自然、生活環境、生態系の保全に取り組む。

**主な実施内容**

環境保全推進員48名を委嘱し、パトロールによる不法投棄の防止やゴミの回収、外来植物の駆除など良好な生活環境の確保に努めている。  
 外来植物の駆除については、委託による駆除作業のほか、自治会や地域振興局、建設事務所等と協力して駆除作業を実施したほか、土地の所有者にも駆除を依頼した。  
 事業用の井戸については、環境保全に関する条例に基づく井戸設置の届出制（令和3年度施行）に基づき地下水利用状況を把握している。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総事業費（決算額）		3,975,441 円	4,120,427 円	4,168,894 円
	財源 内訳	特定財源	3,000,000 円	2,000,000 円	3,000,000 円
一般財源		975,441 円	2,120,427 円	1,168,894 円	

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	4,335,000	0	0	0	4,335,000	4,168,894	
	不用額	特定財源	細節名				
166,106		金額	ふるさと応援基金繰入金				
			3,000,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

- 外来植物除去量
 

令和3年度	令和4年度	令和5年度
7,690kg	9,070kg	8,370kg
- 不法投棄物回収量
 

令和3年度	令和4年度	令和5年度
15t	15t	14t
- 事業用井戸の届出  
井戸台帳 井戸数 66本



自治会や県との連携による外来植物駆除実施

### ◆ 事業の成果

- 外来植物除去  
除去量は、前年を下回っているが、毎年新たな繁殖地を確認し除去している。
- 不法投棄物回収  
不法投棄は絶えないため、環境保全推進員によるパトロールを例年同様に実施している。

### ◆ 前年からの改善点等

外来植物の駆除について、個別に地権者、企業等へ駆除を依頼した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続
						No.	42
担 当 課	民生部	生活環境課	環境保全係			事務事業No.	14316
事 務 事 業 名	自然エネルギー活用推進事業					実施方法	市が直接実施
会 計	一般会計			款	4	項	3
目				目	1	決算書	160・161
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	75
施 策 目 標	【1】自然と共生した環境の創造						
施 策 項 目	①自然環境の保全と共生						
個 別 計 画							頁

**対象と目的**  
 温室効果ガスの排出削減と地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進により、2050年までにゼロカーボンシティの実現を目指す。  
 地球温暖化に起因する気候変動は自然環境や生活環境に影響を及ぼす懸念があり、将来にわたって良好な環境を維持するため、温室効果ガスの削減を進めると共に自然エネルギー（水力）を活用した町川発電所の安定的な運転及び再生可能エネルギーの普及を促進する。

**主な実施内容**

- 町川発電所の維持管理、公共施設への再生可能エネルギー普及促進。
- 太陽光発電設備の設置管理等に関する要綱に基づき、事業者が実施する太陽光発電事業の発電設備の設置、管理、撤去等が適切に行われるよう指導。太陽光発電設備の設置管理等に関する条例及び規則の制定。
- 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び（事務事業編）の進捗管理及び新たな地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		9,589,246 円	14,861,663 円	25,368,654 円		
財源内訳	特定財源	9,300,000 円	6,568,000 円	6,449,100 円			
	一般財源	289,246 円	8,293,663 円	18,919,554 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	25,659,000	2,028,000	0		27,687,000	25,368,654	2,200,000
	不用額	特定財源	細節名	小水力発電施設売電収入	地方創生交付金ほか		
118,346		金額	6,346,000	103,100			

## 事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動

- 町川発電所の管理業務  
 会計年度任用職員：施設点検業務 原則週3日  
 職員：除塵機清掃 週1回程度（秋期は週2回程度）
- 自然エネルギーの活用  
 令和5年度太陽光発電事業事前相談件数 1件  
 令和5年度太陽光発電事業運転開始件数 2件（631.3kw）



町川発電所

### ◆ 事業の成果

- 町川発電所発電量 845,884 kwh
- 町川発電所売電料 7,230,584 円
- クリーンプラント効果額 12,071,876 円
- 地球温暖化防止対策基金積立額 103,010 円

### ◆ 前年度からの改善点

- 町川発電所の水車修繕実施、発電機軸受取換修繕発注（R6繰越し）
- 大町市太陽光発電設備の設置管理等に関する条例及び規則の制定【施行：令和6年7月1日（一部令和6年4月1日施行）】

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	43				
担当課	民生部	福祉課	庶務係			事務事業No.	13114				
事務事業名	総合福祉センター管理事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	1	決算書	109	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	66		頁		
	施策目標	【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進									
	施策項目	①地域福祉の推進									
個別計画	第4次大町市地域福祉計画								頁		
対象と目的	子どもから高齢者、障がいのある人もない人も、誰もが安心して利用できる施設の運営を進めるため、大町・八坂・美麻の3施設を一括して指定管理者に委ねたうえで、民間のノウハウと発想により、市民ニーズを的確にとらえた弾力的なサービスを提供するとともに、3施設の連携を強化することによる効果的・効率的な運営を図る。										
主な実施内容	指定管理者制度による下記3施設の管理・運営 大町市総合福祉センター 平成14年10月開設 平成18年度から指定管理導入 八坂総合福祉センター 平成9年4月開設 平成18年度から指定管理導入 美麻総合福祉センター 平成11年9月開設 平成24年度から指定管理導入										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		59,965,603 円		62,200,227 円		49,296,731 円	
	財源内訳	特定財源	17,765,000 円		22,000,000 円		1,200,000 円	
一般財源		42,200,603 円		40,200,227 円		48,096,731 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	44,875,000	4,423,000	0	0	49,298,000	49,296,781		
	不用額	特定財源	細節名	総合福祉センター使用料				
1,219		金額	1,200,000					

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

なし

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ○各施設の利用状況

施設名	項目	開設日数	利用実績		
大町市総合福祉センター	公衆浴場	311日	延べ28,254人（90.8人/日）		
		年末年始臨時営業	12/29 62人 1/3 62人	12/30 78人	計202人
	会議室等貸館	360日	延べ1,933団体（5.4団体/日） 延べ15,579人（43.3人/日）		
八坂総合福祉センター	デイサービス	308日	延べ5,632人（18.3人/日）		
	デイサービス	255日	延べ3,489人（13.7人/日）		
美麻総合福祉センター	デイサービス	256日	延べ5,019人（19.6人/日）		
	会議室等貸館	255日	延べ153団体（0.6団体/日） 延べ2,213人（8.7人/日）		

#### ○自主事業実施状況

##### ◆障害福祉サービス事業 開設日数243日

事業所名	ひまわりの家	たんぽぽ	すずらん
延べ利用者数	6,643人（27人/日）	746人（3人/日）	1,159人（5人/日）

##### ◆障害者地域生活支援事業 開設日数 243日（⑤は240日）

- ①大北圏域障害者相談支援事業（スクラム・ネット） 年度末登録者数416人 延べ利用者数1,159人
- ②発達障がいサポート・マネージャー事業 年度末登録者数56人 延べ利用者数299人
- ③療育支援事業（スクラム・ネット） 延べ相談件数1,700件
- ④障害福祉サービス計画支援事業 年度末登録者数87人 延べ利用者数248人
- ⑤障害者地域活動支援センター事業（ハニー・ルーム） 延べ利用者数 1,307人
- ⑥日中一時支援事業 延べ利用時間数 7時間

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	44				
担当課	民生部	福祉課	庶務係			事務事業No.	13115				
事務事業名	市社会福祉協議会助成事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	1	決算書	109	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	66		頁	
	施策目標	【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進									
	施策項目	①地域福祉の推進									
個別計画	第4次大町市地域福祉計画									頁	
対象と目的	社会福祉法人 大町市社会福祉協議会の組織体制の充実と事業運営の支援										
主な実施内容	<p>大町市における社会福祉事業の遂行を総合的に担う社会福祉協議会へ補助金を交付し、大町市地域福祉活動計画の実施に向けた援助・支援を行う。</p> <p>対象：法人運営事業・ふれあい福祉センター運営事業・ボランティアセンター運営事業・心配ごと相談事業</p>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		21,808,000 円		20,780,000 円		20,801,000 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		21,808,000 円		20,780,000 円		20,801,000 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	20,801,000	0	0		20,801,000	20,801,000		
	不用額	特定財源	細節名					
	0	金額						

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

### ○法人運営事業

◆第4次地域福祉活動計画の実行 計画年度 令和4年度～8年度

◆災害時支援体制の強化

大町市社会福祉協議会事業継続計画（BCP）の作成

大町市災害ボランティアセンター設置運営に係る大町市との協定締結

災害時職員初動マニュアルに基づく参集訓練 8/26

DSAT（県内社協職員災害初動時先遣チーム）要請に基づく職員派遣 12/20・21（白馬村土砂災害）

義援金の募集・送金 7種（360,481円）

### ○ふれあい福祉センター運営事業

◆小地域福祉ネットワーク研修会の開催 「アタ-」みなさん！どんなネットワーク活動をされていますか？」 8/3（34人）

◆広報紙「社協おおまち」 年6回発行

◆地区社協事業 共同募金・地区社協助成金等を交付し6地区社協の活動を支援

### ○ボランティアセンター運営事業

登録ボランティア団体 106団体 5,589人 / 小地域福祉ネットワーク数 42団体

貸出備品整備 ポツチャシート購入 / 備品貸出 24種 489件

◆ボランティア講座の開催

サマーチャレンジボランティア 体験講座 7/26～8/17の間（延べ42人）

◆ボランティア研修会の開催

ボランティアリーダー研修会 2/16（23人）

大北ボランティア地域活動フォーラム 10/26（大町市より12人）

◆ボランティアニュース 年6回発行

### ○心配ごと相談事業（心配ごと相談・司法書士相談を毎月2回開設） 相談件数 60件

相談内容	生計	土地家屋	家族	離婚	財産	金銭貸借	健康	近隣	苦情	その他	合計
	0	21	4	0	27	3	2	1	0	2	60

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	45				
担 当 課	民生部	福祉課	福祉係			事務事業No.	13128				
事 務 事 業 名	その他障害者福祉サービス事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	2	決算書	115	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		62		頁	
	施策目標 【2】だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進										
	施策項目 ②障がい者福祉の推進										
個別計画	第6期障害福祉計画									頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害種別や程度に関わらず、希望する場所で日常生活や社会生活を営むことのできる地域生活整備。</li> <li>親亡き後も住み慣れた場所で安心して生活するための、障がい福祉サービスの継続的な支援。</li> <li>個々の意思が尊重され自己決定や権利が擁護される地域社会や、自立した生活や社会参加が営める地域社会の推進。</li> </ul>									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者相談支援事業</li> <li>成年後見制度利用支援事業</li> <li>意思疎通支援事業</li> <li>日常生活用具給付事業</li> <li>移動支援事業</li> <li>地域活動支援センター利用事業</li> <li>日中一時支援支援事業</li> <li>訪問入浴サービス事業</li> <li>福祉タクシー券交付事業</li> <li>など</li> </ul>									

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		60,111,005	円	57,344,768	円	55,629,740	円
財源内訳	特定財源	24,531,000	円	25,186,000	円	28,579,000	円
	一般財源	35,580,005	円	32,158,768	円	27,051,740	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	62,120,000	-5,238,000	0		56,882,000	55,629,740	0
	不用額	特定財源	細節名	地域生活支援事業補助金（国庫支出金）	地域生活支援事業補助金・地域福祉総合助成金（県支出金）	ふるさと応援基金繰入金	北アルプス連携自立圏事業
1,252,260		金額	10,680,000	5,748,000	5,000,000	7,151,000	

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	なし
----------	------------	----

◆ 施策目標に資する活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者総合支援法による地域生活支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業 大北圏域障害者総合支援センターを、北アルプス連携自立圏事業で事業委託。相談支援件数 401件（大町市分）。圏域内の課題解決や改善に向け、自立支援協議会事務局運営にも取り組んでいる。委託料 12,665,000円</li> <li>意思疎通支援事業 情報保障のための手話通訳、要約筆記者の派遣を実施。遠隔手話通訳システム使用料 22,000円</li> <li>成年後見制度利用支援事業 後見人報酬 1人 233,000円</li> <li>日常生活用具給付事業 在宅生活を継続するうえで必要な用具等を給付している。給付件数 777件 8,110,298円</li> <li>地域活動支援センター 日中の場、社会適応訓練、入浴介助等を実施。市内事業所 2か所。延利用人数 586人 19,234,849円</li> <li>移動支援事業 外出先での支援が必要な方に対し実施。延215時間 667,290円</li> <li>訪問入浴サービス 延109回 1,362,500円</li> <li>日中一時支援事業 介護者の負担軽減 延利用人数 2,129人 8,063,560円</li> <li>点字・声の広報等発行事業 100,000円（テープ図書作成、点字広報発行）</li> </ul> </li> <li>○ その他事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>タイムケア事業 延1,661時間 782,650円</li> <li>介護者慰労金 18人 1,800,000円</li> <li>福祉タクシー券配布 利用枚数2,400枚 2,041,110円</li> <li>介護用品券 延59件 75,547円</li> <li>支援員派遣 5件 75,547円</li> <li>自動車改造 2件 200,000円</li> </ul> </li> </ul>	
◆ 事業の成果	地域のだれもが安心した生活や、生きがいを持った自立生活に結び付ける支援向上に寄与している。	

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
No.						46					
事務事業No.						13131					
実施方法						指定管理					
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	高齢者福祉一般経費										
会計	一般会計		款	3	項	1	目	3	決算書	115	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64	頁		
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画									48	頁
対象と目的	<p>高齢者が、敬愛され、生きがいをもって健康で安心した生活をおくることができるよう、地域全体で支えていくため、高齢者・児童並びに地域住民を対象に高齢者福祉、放課後児童健全育成事業及び三世交代事業を通じて、高齢者の生きがいや交流事業の場として環境整備を進める。</p>										
主な実施内容	<p>ふれあいプラザの管理について、JA大北が指定管理者として平成18年度より管理を行う。入浴事業、貸館業務のほか市が委託する高齢者総合窓口としての地域包括支援センターや介護保険事業者として訪問介護事業の運営を行っている。また、南小児童クラブの活動の場所となっている。</p>										
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	総事業費（決算額）		7,247,297 円		6,739,105 円		5,908,641 円				
	財源内訳	特定財源									
		一般財源	7,247,297 円		6,739,105 円		5,908,641 円				
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	5,831,000	415,000	0	0	6,246,000	5,908,641	0				
	不用額	特定財源	細節名								
	337,359		金額								
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	なし			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの利用者が利用できるよう土日祝日も開館し、年間361日の開館に取り組んでいる。</li> <li>入浴施設は、毎週木曜日、年末年始（12月29日から1月3日）以外の午後1時から午後8時まで利用可能。</li> <li>貸館業務は軽運動室、食堂等があり年末年始（12月29日から1月3日）以外の平日は午前9時30分から午後8時まで、土・日曜日、祝日は、午後1時から午後8時まで利用可能</li> <li>南小児童クラブは、平日は下校時から午後6時まで（小学校の休日や長期休みは、午前8時から午後6時まで）</li> <li>市が委託する南部地域包括支援センターや指定管理者独自事業として、訪問介護事業所を置き地域に密着したサービスを提供している。</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の心配があったが、入浴施設利用者は増加した。</li> <li>R元年度：5,385名、R2年度：4,860名、R3年度：5,292名、R4年度：5,747名、R5年度：6,558名</li> <li>南小児童クラブの利用者は年度によって増減がある。</li> <li>R元年度：5,088名、R2年度：5,058名、R3年度：4,080名、R4年度：6,003名、R5年度：5,652名</li> </ul>											

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
No.						47					
事務事業No.						13134					
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	高齢者福祉事業費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	3	決算書	115	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64	頁		
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画									23ほか	頁
対象と目的	高齢者の社会参加や在宅生活を継続できる支援を行う。										
主な実施内容	高齢者の在宅生活支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老祝金や介護者慰労金の支給</li> <li>・陶芸の家の開設</li> <li>・地区敬老会、シルバー人材センター、寝たきり高齢者等移送サービス支援、住宅改良助成、シニアクラブへの補助金助成</li> <li>・福祉タクシー券、介護用品券、短期宿泊支援等</li> </ul>										
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	総事業費（決算額）		52,468,296 円		56,848,322 円		64,598,862 円				
	財源内訳	特定財源	1,773,572 円		5,367,058 円		5,988,574 円				
一般財源		50,694,724 円		51,481,264 円		58,610,288 円					
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	61,812,000	450,000	0	2,797,920	65,059,920	64,598,862	0				
	不用額	特定財源	細節名	金額	高齢者地域支え合い支援事業補助金	生活管理短期宿泊利用者負担金	陶芸の家利用者実費徴収金	地域福祉総合助成金ほか			
461,058		金額	668,000	2,277,574	69,000	2,974,000					
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	なし			
<b>◆ 施策目標に資する活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老祝い金の贈呈（88歳10,000円、99歳20,000円、100歳以上10,000円）</li> <li>・陶芸の家の開設</li> <li>・高齢者にやさしい住宅改良補助金の交付；介護認定を受けた高齢者の住宅改修への助成</li> <li>・シニアクラブへの活動支援</li> <li>・福祉タクシー券の交付；要支援から要介護2までの認定を受けた高齢者で、前年度所得税非課税世帯に対しタクシー券を交付して移動支援を行う。</li> <li>・介護用品引換券交付事業；在宅で介護が必要な人及びその介護者におむつ券の交付を行う。</li> </ul>											
<b>◆ 事業の成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老祝金（88歳10,000円 255人、99歳20,000円 39人、100歳以上10,000円 63人）</li> <li>・陶芸の家受講者；26人 親子陶芸教室；7/29 17人、7/30 14人 陶芸教室；10/21 7人、10/22 5人</li> <li>・高齢者にやさしい住宅改良補助金件数；2件</li> <li>・シニアクラブ活動助成；連合会1団体・単位クラブ17団体・738人 山雅健康運動教室；全10回 参加者数69人 延べ235人 ノルディックウォーキング教室；全22回 参加者数58人 延べ285人 ノルディックスキー教室；全8回 参加者20人 延べ28人 水中運動教室；全10回 参加者26名 延べ126人</li> <li>・福祉タクシー券交付；交付数211人</li> <li>・介護用品引換券交付事業；交付者数326人</li> </ul>											

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	48				
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			事務事業No.	13173				
事務事業名	介護予防包括的支援事業					実施方法	一部委託				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	64			頁	
総合計画	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現										
総合計画	施策項目 ⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期高齢者福祉計画								17	頁	

**対象と目的**  
 高齢者及びその家族（元気高齢者、基本チェックリスト該当者(事業対象者含む)、要支援認定者、介護者家族等）の心身の健康維持、介護予防及び生活の安定のために、必要な支援を行うとともに、高齢者の権利を擁護し、居宅において自立生活を営むことができるよう支援する。

**主な実施内容**  
 市内に2つの地域包括支援センターを設置し、それぞれ3職種（主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士）を中心とし、高齢者の保健・医療・福祉・介護の多様な面から生活を支える総合支援窓口として活動。機構改革に伴い、地域包括支援センターを委託包括2か所に集約したことから、一次相談窓口となるランチを設置し、地域包括支援センターへつなぐ機能を持たせるとともに、引き続き当課では総合的な案内と高齢者の自立支援に向けた取り組みを実施。

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		39,482,880 円		37,548,730 円		45,923,520 円	
	財源内訳	特定財源	39,482,880 円		37,548,730 円		45,923,520 円	
一般財源		0 円		0 円		0 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	46,650,000	-600,000	0	0	46,050,000	45,923,520	0	
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金				
	126,480		金額	45,923,520				

## 事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動

○総合相談支援業務

家族介護者への相談支援数 (件)

北部地域包括支援センター	1,918
南部地域包括支援センター	658
大町市福祉課高齢者・包括支援係	1,653

ランチから地域包括支援センターに相談を繋いだ件数：25件

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

実践力向上等研修会・法定外研修の開催	回数	参加者数(延べ)
成年後見制度実務者対象研修	4	127
実践力向上等研修会	2	102
地域ケア会議兼法定外研修	2	97

○地域ケア会議の開催

地域ケア会議の種類	回数	参加者数(延べ)
自立支援型	5	170
対話型(個別・推進)	17	364
包括・ランチ連絡会	9	102

みんなできえようプロジェクト 北部・南部

○権利擁護業務

高齢者虐待対応件数(重複あり)

身体的虐待	2
放棄的虐待	1
心理的虐待	0
性的虐待	0
経済的虐待	1
虐待事実なし	2

○介護予防ケアマネジメント・介護予防支援委託する際のセンターの関与数(延べ)

北部地域包括支援センター	1,055
南部地域包括支援センター	751

### ◆ 事業の成果

○人口当たり新規認定率(1号被保険者) 単位：(%)

	北部	直営	南部	市全域
令和4年3月	1.8	1.9	1.7	1.9
令和5年3月	2.4	2.1	2.2	2.2
令和6年3月	2.7	—	2.7	2.7

○1号被保険者 要介護認定率

	市	県	全国
令和3年度	16.8	18.2	20.3
令和4年度	16.9	17.7	19.4
令和5年度	16.9	—	—

### ◆ 前年からの改善点等

機構改革の実施により、市内の地域包括支援センターを委託包括2か所に集約し、一次相談窓口としてランチを設置

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続						
No.						49						
事務事業No.						13176						
実施方法						一部委託						
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			目	7	決算書	123	頁		
事務事業名	通所型介護予防事業						目	7	決算書	123	頁	
会計	一般会計			款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画掲載頁		64	頁		
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現											
施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築											
個別計画	第9期大町市高齢者計画								32ほか	頁		
対象と目的	要支援認定者、事業対象者、介護予防が必要な高齢者に対し、高齢者の認知、運動機能維持改善を目的に通所型の介護予防事業を行い、要介護期間の短縮を図る。											
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>通所型サービスC（短期集中事業）</li> <li>複合体操教室（自治会単位）</li> <li>一般介護予防体操教室</li> <li>自主活動団体育成補助事業</li> </ul>											
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
	総事業費（決算額）		7,056,478 円		10,215,904 円		10,369,650 円					
	財源内訳	特定財源	7,056,478 円		10,215,904 円		10,369,650 円					
		一般財源	0 円		0 円		0 円					
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額					
	16,743,000	-5,200,000	0	0	11,543,000	10,369,650	0					
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金	筋力トレーニング利用者実費徴収金							
			金額	9,948,450	421,200							
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり				
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通所型サービスC（短期集中事業） 実施期間3か月（1回/週、連続12回）、実人員4人、延べ20人 委託事業所 リセット</li> <li>複合型体操教室（自治会単位） 実施自治会 12か所、実人員191人、延べ1585人 委託事業所 NPO法人健學塾、株）フライクス</li> <li>一般介護体操予防教室 実施回数 1コース20回 2コース実施 実人員39人、延べ545人（1コース定員20人）、委託事業所 NPO法人健學塾</li> <li>自主活動団体育成補助事業 補助金交付団体数34団体（内新規3団体） 実人員540人、延べ11,507人、実施回数1,191回 内容 体操、ダンス、趣味活動、トレッキング、ものづくり、外出</li> <li>貯筋塾 実施回数 1コース20回 7コース実施（常盤1、平4、美麻2） 実人員73人、延べ1,341人（1コース定員20人）、委託事業所 NPO法人健學塾、フライクス、リセット</li> <li>男のカラオケ教室 実施回数 2回 延べ29人</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <p>マシントレーニングの関心が高くなっており、新規参加者が増加している。 また、常盤貯筋塾および男のカラオケ教室では、男性の積極的参加を得て、男性の健康づくりに資する資源開発となった。</p> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>オーラルフレイルリスク把握のため巡回学習を実施した。</p>												

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	50				
担 当 課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			事務事業No.	13177				
事 務 事 業 名	訪問型介護予防事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64			頁	
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施 策 項 目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個 別 計 画	第9期大町市高齢者福祉計画								33ほか	頁	

**対象と目的**  
要支援認定者及び虚弱な高齢者を対象に、訪問による保健指導及び、運動指導、介護者支援を行い、重度化を延伸する。

**主な実施内容**  
 ・訪問指導は看護師・栄養士等が対象者に対し1～2回/月の頻度で訪問を行う。  
 ・リハビリ職家屋調査は、身体機能低下に伴い宅内移動が困難となった高齢者宅を理学療法士が訪問し、安全な移動方法の指導の他、住宅改修や福祉用具活用に関するアドバイスを行う。  
 ・訪問型C事業は理学療法士が12週間連続訪問によるリハビリ指導を実施し、身体機能の維持向上を図り、在宅生活が維持できるよう支援を行う。

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		1,763,419 円		1,014,996 円		216,780 円	
	財源内訳	特定財源	1,763,419 円		1,014,996 円		216,780 円	
一般財源		0 円		0 円		0 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	924,000	-50,000	0	0	874,000	216,780	0	
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金	筋力トレーニング利用者実費徴収金			
			金額	213,180	3,600			
657,220								

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

◆ 施策目標に資する活動

看護師訪問指導 実人数26人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問 実人数	20	19	22	23	19	20	22	22	26	19	22	20	254
のべ	20	19	26	25	22	25	26	28	31	22	27	26	297
電話 実人数	4	1	2	2	5	7	5	6	4	11	8	8	63
のべ	6	1	2	2	7	9	5	6	4	4	15	10	71

栄養士訪問指導 実人数10人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問 実人数	1	3	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	10
のべ	1	3	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	10

貯筋塾等教室参加者への栄養指導 37人（実）

◆ 事業の成果  
 看護師による訪問指導の実施実人数26人。内、5年度修了者5人の平均訪問回数は5.4回。  
 終了理由は、介護保険サービス移行3人、死亡2人。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	51				
担 当 課	民生部		福祉課	高齢者・包括支援係		事務事業No.	13178				
事 務 事 業 名	介護予防普及啓発事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		64	頁		
	施策目標 【1】健康で長生きできる社会の実現										
	施策項目 ⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画							24	頁		
対象と目的	通いの場参加者等に対し循環器疾患、オーラルフレイル予防にかかる健康教育を実施することにより、心疾患や脳血管疾患等の発症や重症化を予防し、社会保障費を縮減すると共に、健康寿命を延伸し高齢者の生活の質を向上する。										
主な実施内容	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を保健センターと連携実施。介護予防普及啓発事業ではポピュレーションアプローチを担当し、通いの場1箇所につき2回巡回を実施。塩分摂取量測定、野菜摂取量測定等を行い血圧管理を主体的に行えるよう啓発を行うとともに、オーラルフレイルの予防についてフレイルリスクの実態把握と自宅で継続できる健口体操を行う。										
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	総事業費（決算額）		333,353 円		1,808,598 円		976,314 円				
	財源内訳	特定財源	333,353 円		1,808,598 円		976,314 円				
		一般財源	0 円		0 円		0 円				
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	1,097,000	-70,000	0	0	1,027,000	976,314	0				
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金							
	50,686		金額	976,314							
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>地区巡回による尿中塩分量測定、野菜摂取量測定、減塩学習会を実施。          参加実人数540人（前年比135%）、延べ人数720人（前年比120%）          尿中塩分量測定実施数 介入時354人 終了時329人          野菜摂取量測定実施数 介入時367人 終了時353人          オーラルセルフチェック実施数 介入時363人 終了時342人          オーラルセルフチェックによるハイリスク者数（4点以上） 介入時184人（50.7%） 終了時167人（48.8%）          介入時巡回団体36箇所、終了時巡回団体40箇所</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>介入時、終了時共にウロソルトペーパー及びベジチェックを使用した測定をつつ健康教育を行ったことで、自ずと生活の振り返りにつながり、塩分摂取量が減少したと考えられる。          塩分摂取量が介入時より減少し、野菜摂取量が増加したことは大きな成果と考える。</p> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>オーラルフレイルを中心にフレイル予防の学習を追加した。</p>											

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	52				
担 当 課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			事務事業No.	131710				
事 務 事 業 名	家族介護支援事業					実施方法	一部委託				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	123	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画登載頁		64	頁		
施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施 策 項 目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個 別 計 画	第9期大町市高齢者福祉計画								29	頁	
対象と目的	<p>(1) 在宅介護者を対象に、リフレッシュの機会を設け介護者の心身の疲れを癒し元気回復を図る。</p> <p>(2) 認知症への理解を深め、共に住み慣れた地域で共生できる環境づくりを推進する。</p>										
主な実施内容	<p>(1) 家族介護支援事業（在宅介護者リフレッシュ事業）</p> <p>(2) 認知症の啓発事業（認知症サポーター養成講座）</p>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		総事業費（決算額）		389,580	円	443,740	円	331,148
財源内訳	特定財源		389,580	円	443,740	円	331,148	円
	一般財源		0	円	0	円	0	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	859,000	-300,000	0	0	559,000	331,148	0	
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業受託金				
227,852	金額	331,148						

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
(1) 家族介護支援事業							
■ 在宅介護者リフレッシュ事業（開催5回、延べ参加数122人）							
北部包括 2回、南部包括 2回。（コンサート、食事会、バス旅行、美術館見学、ネイル体験、紙すき体験）							
市直営包括：1回 フラワーアレンジメント							
■ 認知症サポーター養成講座（開催2回、参加数13人）							
対象：自治会、認知症カフェ参加者							
◆ 事業の成果							
■ 在宅介護者リフレッシュ事業参加者アンケートでは、十分なりフレッシュができ事業継続の希望が多い。							
ケアマネジャーの協力により介護者が安心して参加できる環境づくりもあり、介護者支援が図られた。							
■ 認知症サポーター養成講座は、具体的な活動計画を持った仲間同士の参加もあり、今後の展開に期待が持てる講座となった。							
◆ 前年度からの改善点							
■ 認知症カフェを市直営から地域住民の立ち上げに変更し、介護者や当事者が参加しやすい場づくりを行っている。							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	53				
担 当 課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			事務事業No.	131711				
事 務 事 業 名	成年後見制度支援事業					実施方法	委託				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	125	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画登載頁	64			
	施 策 目 標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施 策 項 目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個 別 計 画	第9期大町市高齢者福祉計画								46	頁	
対象と目的	認知症や知的・精神障がい等によって、物事を判断する能力が十分ではない人及びその親族を対象に、成年後見制度等の権利擁護を目的とする制度を利用することにより、本人の尊厳を保持し、その人らしく自立した生活が継続できる。										
主な実施内容	①成年後見支援センター運營業務（広域連携自立圏事業として大町市社会福祉協議会へ業務委託） <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度に関する相談、支援、普及啓発</li> <li>・法人としての成年後見受任、後見支援員の育成</li> </ul> ②金銭管理や契約行為に支援が必要な人に対する日常生活自立支援 ③成年後見制度の申し立てを行う親族がいない場合の市長申し立て ④成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		総事業費（決算額）		7,468,290 円		8,941,000 円		8,809,810 円
財源内訳	特定財源		4,590,000 円		5,766,000 円		5,605,810 円	
	一般財源		2,878,290 円		3,175,000 円		3,204,000 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	9,613,000	-400,000	0	0	9,213,000	8,809,810	0	
	不用額	特定財源	細節名	広域連携推進事業交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金	地域支援事業費受託金		
403,190		金額	1,554,000	4,033,000	18,810			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
(1)成年後見制度の普及・啓発							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発研修会の開催 2月21日「やさしくわかる成年後見制度」（52名参加）</li> <li>・広報紙、パンフレット、ホームページによる制度の説明、相談回答の広報を実施。</li> </ul>							
(2)成年後見制度に関する相談・支援（119件）							
常設相談員による相談・支援（82件）/無料相談会(毎月開催)への相談（37件） 〈内訳：認知症高齢者（63件） 知的障がい者（15件） 精神障がい者（22件） その他（19件）〉							
(3)法人としての成年後見受任							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・被後見人等支援件数（延957件）</li> <li>・新規受任（3件）、終了（4件）、年度未受任中（15件）</li> </ul>							
(4)金銭管理や契約行為に支援が必要な人の日常生活自立支援							
年度末契約者31件 〈内訳：認知症高齢者（8件） 知的障がい者（11件） 精神障がい者（12件）〉							
(5)成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助							
成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づく助成（0件）							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会や普及啓発講演会のチラシ、制度案内や北アルプス成年後見支援センターのパンフレットを警察、交番、金融機関へも配布するなど、積極的な広報活動等により周知が進み、相談件数が増加した。</li> <li>・北アルプス圏域権利擁護推進ネットワーク協議会の委員会や部会、視察研修等を通して関係者との連携強化が図れ、実務担当基礎研修及び実践力強化研修の開催等により、人材育成の強化と制度利用の促進につながった。</li> <li>・後見報酬の助成制度があることで、報酬を支払うことが困難な人にも後見人が選任されている。</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省受託事業者から、中核機関の取組事例集作成に向けた取材があり、大北圏域の取組を紹介した。</li> <li>・法人後見支援員の雇用に向けて、北アルプス広域連合主催の生活支援サービス等従事者等養成研修にて、権利擁護について説明を行った。</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	54				
担 当 課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			事務事業No.	131712				
事 務 事 業 名	地域自立生活支援事業					実施方法	一部委託				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	125	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画登載頁		64	頁		
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画							23ほか	頁		
対象と目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、閉じこもりがちな高齢者等、地域での見守りが必要な高齢者を福祉サービス等の活用により、自分が住み慣れた自宅で安心して生活できる支援を行う。また、地域での見守りや、地域活動への参加により、社会との交流機会を維持する。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食サービス：栄養バランスの取れた食事の配達と安否確認。</li> <li>・緊急通報システム：本人や家族の希望により機器を設置し、24時間体制で安否確認、緊急時対応を行う。</li> <li>・生活支援員派遣事業：介護保険制度で行う家事援助以外の軽易な家事支援。（通院介助、雪かき支援等）</li> <li>・生活支援体制整備推進事業：生活支援コーディネーター（SC：地域支え合い推進員）の配置。</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		総事業費（決算額）		31,574,320	円	29,261,282	円	28,835,444
財源内訳		特定財源	28,685,000	円	29,261,282	円	28,835,444	円
		一般財源	2,889,320	円	0	円	0	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	30,229,000	-1,000,000	0		29,229,000	28,835,444	0	
	不用額	特定財源	金額	地域支援事業受託事業	保険者機能強化推進事業費	配食サービス利用者実費徴収金	緊急通報システム利用者実費負担金ほか	
393,556			18,009,394	6,276,000	3,734,050	816,000		

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動							
○ 配食サービス							
・委託先：特定非営利活動法人キッズウィル ・利用者数35人 ・配食数9,038食							
○ 緊急通報システム							
・委託先：立山化学（株） ・利用登録者数：52人							
○ 生活支援員派遣事業							
・委託先：大町市社会福祉協議会 ・利用者数143人							
○ 生活支援体制整備推進事業							
・第2層協議体数：3（中部、北部、南部地区） 会議：各5回程度							
・生活支援コーディネーター：5人（中部、北部、南部、美麻、八坂地区）							
◆ 事業の成果							
○ 配食サービス							
高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、食生活の改善と見守り対策として有効である。							
○ 緊急通報システム							
24時間体制で安否確認、緊急時対応が可能であり、在宅生活において本人、家族の安心に繋がっている。							
○ 生活支援員派遣事業							
親族や近所の方から協力を得られない高齢者宅の玄関から道路までの雪かきの支援のため有効である。							
○ 生活支援体制整備推進事業							
・中部：サロンでの綿づくりを通じた地域のつながりや見守り体制の構築。							
・北部：有線放送によるラジオ体操。コロナ禍、脳トレゲームの作成送付による介護予防とつながりの維持。							
・南部：そば切り音頭を軸とした介護予防の普及啓発。シルバーカーニバルの開催。							
・八坂：民間企業と連携し、通いの場「いどばた八坂」活動。							
・美麻：ジャンボタクシーによる「お出かけ乗り合い号」の運行							
◆ 前年度からの改善点							
・配食サービス事業については、対象者を住民税所得割非課税世帯のみとする要綱改正を行い、令和6年度から施行する。							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	55				
担 当 課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係			事務事業No.	131721				
事 務 事 業 名	地域包括ケア実践事業					実施方法	一部委託				
会 計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	125	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画登載頁		64	頁		
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築									
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画								22ほか	頁	

**対象と目的**

高齢者が、住み慣れた地域で、人生の最期まで安心して暮らし続けられるよう、地域の関係機関等が連携し、高齢者自身も含めた地域全体で支えられる体制づくりを行う。

**主な実施内容**

- ・在宅医療介護連携の推進（広域連携自立圏事業：北アルプス在宅医療・介護連携支援センターの設置）
- ・地域ケア会議の推進
- ・生活支援体制整備事業
- ・高齢者の社会参加促進

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		1,777,132	円	4,546,984	円	1,826,826
財源内訳	特定財源	1,777,132	円	4,546,984	円	1,826,826	円
	一般財源	0	円	0	円	0	円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	3,253,000	-780,000	0	0	2,473,000	1,826,826	0
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	高齢者外出支援事業利用者		
646,174		金額	1,748,626	78,200			

**事業の実績・成果** 前年度からの改善点等 **あり**

◆ 施策目標に資する活動

- 在宅医療介護連携支援事業
  - ▶会議
    - ・大北地域の主任介護支援専門員部会 2回
    - ・連携自立圏事業福祉専門部会 1回
  - ▶北アルプス在宅医療・介護連携支援センター
    - ・相談実績 195件、主催研修会 2回（延数計570名参加）、協力事業 2件（延数計178名参加）
  - ▶その他
    - ・救急医療情報キッド普及活動
- 介護予防・生活支援
  - ・買い物サポート事業、高齢者外出支援事業 の実施
- 生活支援体制整備事業
  - ▶協議体（会議）：中部地区( Cottonの会)1回、北部地区(くらし支え合い友の会)5回、南部地区(社・常盤協議体)3回
  - ▶生活支援コネクター(1・2層)の活動件数（会議・活動）
    - 中部SC(184件)、北部SC(122件)、南部(87件)、八坂SC(45件)、美麻SC(52件)
  - ▶その他：生活支援サービスガイドブック、別冊通いの場ブック の作成

◆ 事業の成果

- 在宅医療介護連携
 

在宅医療と介護を一体的に提供するために、大北地域唯一の在宅療養支援病院である市立大町総合病院に委託することで、医師会や看護・介護等の職能団体等の事業者団体との連携体制が確保でき、効率的に機能している。

救急医療情報キッドの配布数82名。
- 生活支援体制整備事業
 

中部：高齢者の居場所づくり支援による会の拡大と充実が図れた、ニーズと資源のマッチング（ゴミ出し支援）等

北部：くらし支え合い友の会の活動による地域の活性化、地域活動パネルの作成により地域住民の意識啓発、意欲向上につながった

## 事業の実績・成果

南部：協議体との連携によるイベントの開催(2回)、市内外の団体も巻き込んだ取組、集いの場運営により高齢者の社会参加の機会が増加

八坂：いどばた八坂を起点とした地域の情報共有や支援活動を展開

美麻：お出かけ乗り合い号の定着、事業展開(サロン化へ)

## ◆ 前年度からの改善点

- ・在宅医療介護連携支援センターとの情報共有の会議を定期的で開催。
- ・生活支援サービスガイドブックの作成、HPの整備による情報発信方法の改善。

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
No.						56					
事務事業No.						131722					
担当課	民生部	福祉課	高齢者・包括支援係								
事務事業名	認知症総合支援事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	1	目	7	決算書	125	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	64	頁		
施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現										
施策項目	⑤高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築										
個別計画	第9期大町市高齢者福祉計画									42ほか	頁
対象と目的	認知症（認知症が疑われる人）本人及び家族が、認知症になっても本人の尊厳を守り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域をつくる。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症地域支援（認知症地域支援推進員配置） 認知症に関する相談支援、普及啓発</li> <li>認知症初期集中支援推進事業（認知症初期集中支援チーム設置） 認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。</li> </ul>										
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	総事業費（決算額）		5,951,059 円		4,926,692 円		3,907,781 円				
	財源内訳	特定財源	5,951,059 円		4,926,692 円		3,907,781 円				
		一般財源	0 円		0 円		0 円				
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	4,911,000	-500,000	0	0	4,411,000	3,907,781	0				
	不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費 受託金							
	503,219		金額	3,907,781							
事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし				
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症地域支援 認知症地域支援推進員：4名配置（各包括に1名、福祉課2名） （相談支援業務、普及啓発業務、認知症カフェ運営、認知症初期集中支援チームとの連携）</li> <li>○ 認知症初期集中支援チーム チーム員：2名配置 認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症カフェ 地域住民による認知症カフェ設置数：5箇所</li> <li>○ 認知症初期集中支援チーム チーム員会議は未開催であるが、ケース会議やサポート医との連携により、医療または介護サービスに繋ぐことができています。各市町村に由来からある相談支援体制の中で解決する事案が多い。</li> <li>○ 普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントでの普及啓発 ふれあい広場での出張認知症カフェの運営及び市民から募集したほのぼの川柳の投票、認知症クイズラリーを行い、子どもから高齢者に対し来場者多くに対し啓発することができた。来場者 約300名</li> <li>・ 認知症啓発映画観賞会 「オレンジ・ランプ」上映 来場者 約200名（アンケート回答173名） 映画上映に合わせ、福祉用具の展示・相談、聴力検査（6名）、補聴器購入補助相談（7名）、認知症VR体験（100名）、ほのぼの川柳掲示を行う</li> <li>・ 認知症サポーター養成講座 2回 13名</li> </ul> </li> </ul>											

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						新規事業																													
No.						57																													
事務事業No.						13212																													
実施方法						その他																													
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係			目	1	決算書	127	頁																									
事務事業名	子育て応援一般経費						その他																												
会計	一般会計			款	3	項	2																												
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち						後期計画掲載頁		70	頁																									
施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実																																		
施策項目	③子育て支援の充実																																		
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								46	頁																									
対象と目的	育児家庭を対象に、出産祝い金、育児家庭応援事業、児童ショートステイ事業などにより子育て支援を図る。																																		
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産祝い金は、次世代を担う児童の誕生を奨励祝福して第1子に5万円、第2子に8万円、第3子以降に10万円を支給する事業である。</li> <li>・育児家庭応援事業は、年度未満3歳となる児を養育する保護者へ、3万円分の地域商品券を交付する事業である。</li> <li>・児童ショートステイ事業は、急用があっても児童の預け先がない場合、7日以内でその預け先を提供する事業。保護者のレスパイトとしても利用でき、育児疲れを軽減するための利用も可能。</li> </ul>																																		
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度																												
	総事業費（決算額）		円		37,326,570 円		16,063,642 円																												
	財源内訳	特定財源	円		112,000 円		169,000 円																												
		一般財源	0 円		37,214,570 円		15,894,642 円																												
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額																												
	17,574,000	-1,296,000	0	0	16,278,000	16,063,642	0																												
	不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援事業交付金（国庫）	子ども・子育て支援事業交付金（県費）																														
	214,358		金額	88,000	81,000																														
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	なし																											
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○ 出産祝い金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出産届の提出時に交付申請書の提出を求め、確実な給付に努めている。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>祝支給人数</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>(人)</td> </tr> <tr> <td>第1子</td> <td>52</td> <td>47</td> <td>38</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2子</td> <td>51</td> <td>38</td> <td>36</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>26</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>129</td> <td>109</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 育児家庭応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり産業課が中心となり、教育委員会、子育て支援課と連携し、移住定住者及び子育て家庭へ応援券を交付することで、利用可能な小売店の拡大につながり、券の付加価値が向上している。</li> </ul> <p>○ 児童ショートステイ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大町市の子育てガイドブックやホームページなどでの事業の案内や、子育て世帯からの育児相談において必要に応じて利用案内をし、適切な利用と利用拡大につなげている。</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <p>○ 出産祝い金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出生届提出の際、市の独自施策として案内することで、子どもの誕生をともに喜び合う市の姿勢を育児家庭にPRできている。</li> </ul> <p>○ 育児家庭応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年少児年齢である3歳児は、現在9割以上保育園または認定こども園に入園しているため、入園時の準備品の費用への補助としての意味もあり、家庭への経済的支援にもつながっている。</li> </ul> <p>○ 児童ショートステイ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養育不安のある家庭にとっては、ショートステイ利用は保護者の養育疲れの緩和につながるため、安定的な子育て環境を支援するために役立っている。</li> </ul>											祝支給人数	R3	R4	R5	(人)	第1子	52	47	38		第2子	51	38	36		第3子以降	26	24	26		合計	129	109	100	
祝支給人数	R3	R4	R5	(人)																															
第1子	52	47	38																																
第2子	51	38	36																																
第3子以降	26	24	26																																
合計	129	109	100																																

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	58				
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係			事務事業No.	13216				
事務事業名	児童福祉扶助費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	129	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁	70		頁		
	施策目標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実									
	施策項目	③子育て支援の充実									
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画								101	頁	

対象と目的	ひとり親家庭や、障がい児等とその保護者を対象に、経済的支援や児童の生活力向上と集団活動への適応支援などを図る。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童扶養手当給付事業 ひとり親家庭の保護者へ手当を給付する。</li> <li>障害児通所支援事業 障がい児及び発達特性を持つ児童を対象として通所による療育支援（児童発達支援・放課後等デイサービス）と、保育所等訪問支援を行う。（H28年度に福祉課から移管）</li> <li>重度心身障害児福祉手当 精神又は身体に障がいのある満20歳未満の児童を監護する保護者に手当を支給する。</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		188,450,162 円		221,278,163 円		225,426,077 円	
	財源内訳	特定財源	105,056,777 円		129,819,000 円		139,531,000 円	
一般財源		83,393,385 円		91,459,163 円		85,895,077 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	233,165,000	-7,666,000	0	0	225,499,000	225,426,077	0	
	不用額	特定財源	細節名	障害者自立支援給付費負担金	児童扶養手当負担金	特別児童扶養手当事務取扱交付金		
72,923		金額	114,781,000	24,601,000	149,000			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

- 児童扶養手当 支給者延べ 1,725人（年度末受給者 134人 支給停止者 24人）  
・ 手当の支払い月 5月、7月、9月、11月、1月、3月（各月とも11日）
- 重度心身障害児福祉手当 支給者延べ 374人（支給対象者 187人）
- 障害児通所事業 利用者延べ 1,848人  
・ 障がいのある児童や発達に心配のある児童に対し、生活能力の向上や集団生活の適応、社会との交流促進などの療育を提供する。

年度		R3	R4	R5
児童発達支援	実人数	93	68	68
	延べ人数	562	576	595
放課後等デイサービス	実人数	104	118	108
	延べ人数	896	1181	1185
保育所等訪問支援	実人数	7	25	25
	延べ人数	47	93	68

## ◆ 事業の成果

- 児童扶養手当の支給により、ひとり親家庭の経済的自立に寄与した。
- 障害児通所支援事業の実施により、発達に課題のある児童の生活能力向上や集団活動への適応を促進した。
- 重度心身障害児福祉手当の支給により、障害児を養育する世帯の経済的負担を軽減できた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 59				
担 当 課	民生部	子育て支援課	子育て支援係			事務事業No.	13218				
事 務 事 業 名	子育て支援等総合相談事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	129	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		70	頁		
施 策 目 標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
施 策 項 目	③子育て支援の充実										
個 別 計 画	子ども・子育て支援事業計画								98,100	頁	

**対象と目的**  
 子育てについて悩みを抱える家庭の身近な相談から、離婚やDVなど主に夫婦関係の悩みについての相談などのほか、ひとり親の自立支援を中心に、ひとり親家庭のサポートなど支援事業を行う。  
 （令和4年度から母子等福祉費と子ども家庭総合支援拠点事業などを統合して子育て支援総合相談事業）

**主な実施内容**  
 ・家庭児童相談 家庭児童相談員を2名配置し、子育て関わる相談全般に就いている。  
 ・女性・男性相談 女性・男性相談員を2名配置し、離婚やDVなどの相談から、支援措置や一時保護、必要に応じて弁護士相談につなげる。  
 ・母子・父子相談 ひとり親自立支援のため、就職・定着支援やスキルアップのための支援をおこなう。  
 ・法律相談 相談内容から法的手続きが必要なケースには、弁護士が無料で相談・助言を行う。  
 ・子ども見守りサポート事業 要保護・要支援児童の安否確認と定期的な家庭状況の把握を通じ、児の安全を図る。

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		円		11,184,000 円		14,841,438 円	
	財源 内訳	特定財源	円		9,516,000 円		13,026,000 円	
一般財源		0 円		1,668,000 円		1,815,438 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	10,558,000	4,418,000	0	0	14,976,000	14,841,438	0	
	不用額	特定財源	細節名	母子家庭等対策支援事業費補助金	児童虐待・DV等支援体制強化事業補助金	女性相談員活動強化事業補助金	ふるさと応援基金繰入金	
134,562		金額	1,073,000	10,436,000	517,000	1,000,000		

## 事業の実績・成果 前年度からの改善点等 なし

### ◆ 施策目標に資する活動

- ・家庭児童相談員 2人
- ・相談件数 1,183件

項目 年度	心身障害	環境福祉	生学活 等校	（発達障がい等） 知能・言語	家族関係	非行	生活習慣・等	その他	計
	令和3年度	101	317	154	413	77	0	41	44
令和4年度	24	589	332	52	100	2	29	30	1,158
令和5年度	12	235	298	268	135	9	96	130	1,183

### ・子ども見守りサポート事業

	訪問支援		通所支援		学習支援	
	実利用人数	延べ回数	実利用人数	延べ回数	実利用人数	延べ回数
令和4年度	2	69	9	571	8	538
令和5年度	8	206	15	1,953	12	1,077

## 事業の実績・成果

## ・母子・父子相談状況

区分	年度	R3年度	R4年度	R5年度
	区分	件数	件数	件数
生活一般	住宅	8	5	2
	医療	4	1	0
	家庭紛争	53	18	3
	配偶者等の暴力	0	7	1
	就職	7	4	27
	結婚	1	3	1
	養育費	4	10	6
	その他	6	27	23
児童	養育	7	18	12
	教育	0	1	0
	非行	0	0	0
	就職	0	0	0
	その他	2	9	2
生活援護	母子福祉資金	6	8	13
	寡婦福祉資金	2	0	0
	児童扶養手当	6	1	2
	生活援護	12	0	0
	公的年金	0	0	1
	税	0	0	1
	経済その他	0	0	10
その他	その他	0	4	0
計		118	116	104

## ・女性相談状況

(件)

年度 区分	R3年度		R4年度		R5年度	
	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談
人間関係	117	14	201	76	126	73
経済関係	22	4	32	4	20	9
医療関係	28	12	29	18	10	5
住居問題	1	0	10	11	7	1
帰住先なし	0	0	0	0	0	0
不純異性交遊	0	0	0	0	0	0
ヒモ・暴力団関係	0	0	0	0	0	0
売春法5条違反	0	0	0	0	0	0
人身取引	0	0	0	0	0	0
小計	168	30	272	0	163	88
合計		198		272		251

## ・男性相談状況

(件)

年度 区分	R3年度		R4年度		R5年度	
	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談
人間関係	17	23	38	30	10	7
経済関係	3	0	0	0	4	1
医療関係	5	0	1	2	0	0
住居問題	0	0	0	0	0	0
帰住先なし	0	0	0	0	0	0
計	25	23	39	0	14	8
合計		48		39		22

## ◆ 事業の成果

- ・安定した就労に向けたひとり親支援は、家庭の安定と児童の健全育成につながっている。
- ・相談支援により、悩みを抱える家庭への支援と児童の健全育成が図られている。
- ・相談体制を整えることで、安心して子育てできる環境を提供している。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	継続 60				
担 当 課	民生部	子育て支援課	子育て支援係			事務事業No.	13219				
事 務 事 業 名	療育事業					実施方法	委託				
会 計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	129	頁
総 合 計 画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		70	頁		
	施 策 目 標 【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
	施 策 項 目 ③子育て支援の充実										
個 別 計 画	子ども・子育て支援事業画								102・103	頁	

対 象 と 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達に課題のある児童の早期発見と適切な支援により二次的障害を防ぎ、児童の社会的適応性を向上させる。</li> <li>不登校、ひきこもりなどの子ども・若者の社会参加を支援する。</li> </ul>
主 な 実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>5歳児発達相談 年中児童及び保護者を対象とし、個々の発達を確認し就学に向けた準備・支援を行う。</li> <li>巡回相談 発達心理専門相談員等による幼・保・小・中を対象とした巡回相談を実施。</li> <li>SST（生活技能訓練）教室 小集団での対話やロールプレイを通じてコミュニケーションの経験を積む。</li> <li>子ども・若者社会参加支援 不登校・ひきこもりの児童等を対象に居場所支援を行う。</li> </ul>

事 業 費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		9,800,424 円	8,344,000 円	6,427,502 円		
	財源 内訳	特定財源	円	円	1,987,000 円		
一般財源		9,800,424 円	8,344,000 円	4,440,502 円			
予 算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,518,000	-800,000	0	0	7,718,000	6,427,502	0
	不用額	特定財源	細節名				
	1,290,498		地域障害児支援体制強化事業	金額	1,987,000		

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動							
○ 5歳児発達相談（年中児童及び保護者を対象とした発達相談）							
・対象者 130人（平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ）							
・実施人数 117人（実施率 90%）							
・要支援児 44人（支援必要率 38%）							
※要支援児とは、相談の結果、支援が必要と判断された児童							
○ 児童発達支援巡回相談（児童心理発達専門相談員による保育園等の巡回相談を実施）							
・発達障がいのある児童の早期発見、早期対応のための指導助言を保育園、幼稚園、学校等において実施							
・実施回数 1,086回（延べ）（うち スクラムネット 996人、市立大町総合病院 90人）							
○ 若者ひきこもり就労・生活支援（市内社会福祉系通所事業所への委託による居場所支援）							
・利用者数 6人 ・利用回数 332回							
○ SST（社会生活技能訓練）教室 利用者延べ 8人（実人数 1人）							
（放デイ含む） 196人（実人数 8人）							
「社会の中で適切に行動する技能（技術）」「人とうまくつきあうための技能（技術）」を学ぶための教室を開催。児童発達支援事業所への委託による居場所支援。							
◆ 事業の成果							
・発達に課題のある児童を早期に発見し、適切な養育環境を整えるための支援が出来た。							
・SST教室に参加することで、学校などの集団活動が苦手な児へ対人スキルの経験を積む機会を提供できた。							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	61				
担 当 課	民生部	子育て支援課	子育て支援係			事務事業No.	13225				
事 務 事 業 名	児童クラブ運営事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	3	項	2	目	2	決算書	135	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	69		頁		
	施策目標 【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
	施策項目 ③子育て支援の充実										
個別計画	子ども・子育て支援事業計画								51, 59, 78	頁	

対象と目的	<p>・小学校に就学している児童であって、保護者が労働等によって不在となる家庭及び適切な保護に欠ける児童の放課後における健全育成と、保護者が労働等に専念できる環境の整備。</p>										
主な実施内容	<p>・大町市立大町東小学校通学区 東小児童クラブ      ・大町市立大町西小学校通学区 西小児童クラブ          ・大町市立大町南小学校通学区 南小児童クラブ      ・大町市立大町北小学校通学区 北小児童クラブ          ・大町市立八坂小中学校通学区 八坂児童クラブ      ・大町市立美麻小中学校通学区 美麻児童クラブ</p> <p>学校区ごとに設置する児童クラブ（上記6か所）による放課後児童健全育成事業の実施</p>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		22,122,898 円		13,122,231 円		6,359,534 円	
	財源内訳	特定財源	15,794,000 円		10,315,000 円		3,794,000 円	
一般財源		6,328,898 円		2,807,231 円		2,565,534 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	7,365,000	0	0	0	7,365,000	6,359,534	0	
	不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金	児童クラブ登録料			
1,005,466		金額	3,464,000	330,000				

事業の実績・成果										前年度からの改善点等	なし	
◆ 施策目標に資する活動												
○ 児童クラブの運営												
・年間開所日数      291日												
・開所時間      平日 午後2時から6時まで      土曜日及び長期休暇 午前8時から午後6時まで												
・各クラブ登録者数      330人												
	東小	西小	南小	北小	八坂	美麻	合計					
登録者	43人	84人	75人	86人	7人	35人	330人					
児童数	129人	258人	242人	246人	53人	65人	993人	※各校の年度末児童数				
登録率	33.3%	32.6%	31.0%	35.0%	13.2%	53.8%	33.2%					
・年間平均利用者数（1日当たり）												
	東小	16.5人	西小	27.5人	南小	23.5人	北小	30.2人	八坂	3.6人	美麻	7.9人
・支援員配置人数      13人（月額支援員4人、時給支援員9人）												
	東小	2人	西小	2人	南小	2人	北小	3人	八坂	2人	美麻	2人
◆ 事業の成果												
・放課後における児童の健全育成及び保護者が労働等に専念できる環境の整備が図られている。												
・放課後留守宅の児童にとり放課後安心して過ごせる拠り所となっている。												

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 62				
担 当 課	民生部	子育て支援課	児童係			事務事業No.	132117				
事 務 事 業 名	病児・病後児保育事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	3	項	2	目	1	決算書	129	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画登載頁		70	頁		
施 策 目 標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
施 策 項 目	③子育て支援の充実										
個 別 計 画	子ども・子育て支援事業計画								50	頁	

対象と目的  
 児童が病気又は病気の回復期にあり、保護者の就労等により保育が困難となる場合に児童を一時的に預かり、その症状に応じて安静に保ちながら保育を行うことで、保護者の子育てと就労等の両立を支援し、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与する。

主な実施内容  
 ・実施場所は、大町総合病院内の1箇所  
 ・実施時間は、平日（月曜日～金曜日）の8時～18時までの間  
 ・利用対象者は、満1歳から6歳（小学校就学前）までの児童で、大北圏域に住所がある又は大北圏域に勤め先がある、若しくは、大北圏域の保育所、認定こども園、幼稚園、認可外保育施設に通所している児童（北アルプス連携自立圏事業として実施）  
 ・利用定員は、4名

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		9,888,473 円		9,826,176 円		9,836,829 円	
	財源内訳	特定財源	4,694,000 円		5,686,000 円		7,739,000 円	
一般財源		5,194,473 円		4,140,176 円		2,097,829 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	10,000,000	0	0	0	10,000,000	9,836,829	0	
	不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金（国）	北アルプス連携自立圏事業			
163,171		金額	5,857,000	1,882,000				

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 なし

## ◆ 事業の成果

利用者延べ人数

利用者数	R2	R3	R4	R5
大町	22	51	47	78
市外	18	30	86	80
計	40	81	133	158

利用者実数

利用者数	R2	R3	R4	R5
大町	12	30	24	52
市外	7	19	48	40
計	19	49	72	92

保護者にとっても安心して預けることができるため、年々利用者が増加している。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	63				
担 当 課	民生部	子育て支援課	児童係			事務事業No.	13232				
事 務 事 業 名	保育所管理運営事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	3	項	2	目	3	決算書	135	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁		74	頁		
施 策 目 標	【3】結婚・出産・子育て支援の充実										
施 策 項 目	③子育て支援の充実										
個 別 計 画	大町市子ども・子育て支援事業計画								24	頁	

**対象と目的**

・小学校就学前の児童（3歳以上児（幼児）及び3歳未満児（乳児）を対象に、保護者の就労等により家庭で保育できない児童の保育を行うことで、健全な心身の発達を図ることを目的とする。

**主な実施内容**

・児童福祉法に基づき、保育に欠ける子どもに対する保育の実施  
 ・市内7保育施設の管理及び運営

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		265,246,476	円	184,709,416	円	165,272,435	円
財源内訳	特定財源		62,017,081	円	72,346,000	円	118,811,410	円
	一般財源		203,229,395	円	112,363,416	円	46,461,025	円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
		180,434,000	-11,276,000	0	583,703	169,741,703	165,272,435
不用額	4,469,268	特定財源	細節名	保育所使用料	(国)子ども・子育て支援交付金	(県)子ども・子育て支援交付金	延長保育負担金ほか
			金額	26,537,900	4,685,000	4,354,000	83,134,510

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

(各年度4/1現在)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
開園した保育所数	7	7	7	7	7	6
閉園中の保育所数	1	1	1	1	1	1
園児数	425	415	412	374	344	348
内未満児	117	115	117	112	105	102
未満児の割合	27.5%	27.7%	28.4%	29.9%	30.5%	29.3%

※かえで保育園解体工事を実施

◆ 事業の成果

保育士確保が難しい状況の中、年間を通じ待機児童が生じることなく施設運営を行うことができた。

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	64
担当課	地域振興部	まちづくり産業課	商業労政係	事務事業No.	15114
事務事業名	創業支援事業			実施方法	その他
会計	一般会計	款	5	項	1
目	1	目	1	決算書	160
後期計画掲載頁			51	頁	

総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	後期計画掲載頁	51	頁
施策目標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化				
施策項目	②中心市街地の活性化				

個別計画					
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規学卒者、Uターン希望者等に対する就職機会を提供し、市内企業への就業による定住・移住の推進を図る。</li> <li>起業希望者に対する創業・起業支援を行い、創業・起業の実現に伴う定住・移住の推進と地域経済の活性化を図る。</li> <li>働き方が多様化する中で、時間にとらわれず自由に働ける新たな就労方法であるテレワークを推進し、子育て世代、介護者、障がい者、若者といった、就労に時間的制約のある求職者若しくは時間にとらわれずに働きたい求職者が、それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせて安心して働ける地域社会とすることで、Uターン促進のための安定した雇用の創出の実現を目指す。</li> </ul>				
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援アドバイザーによる創業・起業相談、経営指導等</li> <li>関係機関（大町職業安定協会、大北高等職業訓練校等）への助成</li> <li>創業支援協議会との連携協力による各種事業の実施</li> <li>創業セミナー・塾の開催、相談窓口の開設、コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進等</li> <li>企業説明会（就職面接会）の開催</li> </ul>				

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		14,188,531 円	16,221,012 円	13,324,522 円			
財源内訳	特定財源	2,109,000 円	4,897,500 円	4,361,500 円			
	一般財源	12,079,531 円	11,323,512 円	8,963,022 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	17,671,000	-3,500,000	0	555,555	14,726,555	13,324,522	0
	不用額	特定財源	細節名	地方創生推進交付金	北アルプス連携自律圏事業負担金	ふるさと応援基金繰入金	
1,402,033		金額	2,997,500	322,000	1,042,000		

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	なし
----------	------------	----

◆ 施策目標に資する活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 創業支援アドバイザーによる支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>創業・起業相談、経営指導等の実施による事業員現化の後押し</li> </ul> </li> <li>◇ 企業説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>北アルプス連携自立圏事業として関係機関と連携し、新規就労予定者を対象に地域内企業による説明会を開催</li> </ul> </li> <li>◇ 創業支援協議会との連携による創業支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー・塾の開催、相談窓口の開設</li> <li>コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進</li> </ul> </li> <li>◇ 各種助成制度による創業・起業支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>起業支援補助金や融資制度等の活用による創業・起業を支援</li> </ul> </li> </ul>
◆ 事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市創業支援アドバイザーにより、創業・起業相談(随時)、経営指導、協議会主催セミナー・塾開催時の相談・フォローアップ等の支援を9回実施。</li> <li>新規就労予定者(大学生・高校生等)を対象とした、大北地域にある企業が参加する合同企業説明会をR5.5.1アプロードにおいて実施し、94名、32社の参加があった。</li> <li>創業支援協議会との連携により、セミナー、創業塾等を開催し、創業を考えている人に対して創業支援を実施した。セミナーは2回、参加者23人 創業塾は5回、参加者延べ74人</li> <li>一般財団法人 塩尻市振興公社と業務委託を締結し、広域連携によるテレワーク事業を推進した。ワーカーの登録者が42名となり、うち就業人数28人、ワーカー収入 約8,980千円の稼働となった。</li> <li>起業支援補助金の交付実績 3件 2,859千円 業種:理・美容室</li> </ul>
◆ 前年度からの改善点	なし

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	65
担当課	地域振興部	まちづくり産業課	商業労政係	事務事業No.	17114
事務事業名	中小企業支援事業			実施方法	その他
会計	一般会計	款	7	項	1
目	1	目	1	決算書	180
総計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	後期計画掲載頁	51	頁
総計画	【1】商工業の振興による地域経済の活性化				
総計画	①中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化				
個別計画					頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所事業への支援を行い、商工会議所専門支援員による経営指導、健全な経営環境の維持と事業継続の実現</li> <li>・中小企業者向け制度融資資金の運用、融資実行時の信用保証料補助及び利子補助を行うことで、中小企業者の資金繰り支援、借入時の負担軽減による経営の健全化を図る。</li> <li>・関係事業者等への各種支援策による、事業活動の継続を後押し。</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所による経営相談業務等への支援</li> <li>・制度融資資金の斡旋及び相談等</li> <li>・制度融資資金信用保証料補助及び利子補助事務（景気変動対策経営安定特別資金、新型コロナウイルス感染症対策特別資金ほか）</li> </ul>

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		756,067,733 円	717,373,142 円	693,264,118 円			
財源内訳	特定財源	703,845,000 円	654,035,454 円	657,649,959 円			
	一般財源	52,222,733 円	63,337,688 円	35,614,159 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	705,317,000	-11,500,000	0	0	693,817,000	693,264,118	0
	不用額	特定財源	細節名	市制度資金融資預託金原資	市制度資金融資預託金利子	制度資金保証料補給金返還金	中小企業振興基金繰入金ほか
	552,882		金額	650,000,000	42	4,453,561	3,196,356

事業の実績・成果		前年度からの改善点等
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇制度融資資金の斡旋及び融資等の相談 融資制度拡充による市内事業者に対する資金繰り支援</li> <li>◇商工会議所専門支援員による市内中小企業者への経営指導等 小規模事業者向け経営改善普及事業、巡回指導、窓口相談、講習会等の開催</li> <li>◇地域商品券発行事業 地域経済の活性化、子育て支援等、定住促進に向けた信濃大町キラリ商品券の発行</li> <li>◇制度融資資金信用保証料補助及び利子補助 借入時の保証協会信用保証料補助、コロナ特別資金への利子補助(借入後3年間)</li> <li>◇関係事業者支援事業の実施 がんばろう大町応援券事業、プレミアム付大町商品券事業</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度融資資金について、経済対策連絡会議における融資動向等の情報を踏まえ、コロナ後の利用を想定し創設した景気変動対策経営安定特別資金の運用期間を延長し、令和5年度は46件の利用があった。</li> <li>・会議所と連携を密にとり、会議所による市内中小事業者の相談や経営指導により、事業支援が継続して行われている。</li> <li>・市内での消費拡大に向けプレミアム付き商品券の発行することにより、アフターコロナや物価高騰で厳しい状況にある市内事業者の支援につながった。</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>なし</p>		なし

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	新規事業				
						No.	66				
担 当 課	地域振興部	まちづくり産業課	特産品振興係			事務事業No.	17115				
事 務 事 業 名	特産品振興事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	7	項	1	目	1	決算書	182	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	60		頁		
施 策 目 標	【4】移住・定住促進策等の充実強化										
施 策 項 目	④信濃大町ブランドの戦略的な展開										
個 別 計 画	信濃大町ブランド戦略										頁

対 象 と 目 的	他地域の特産品との差別化や、売れる特産品にするために必要なアイデアや改善点を事業者と行政が共有し、効果的な特産品のPRと販路拡大を図り事業を推進する。 地域資源の付加価値を高め、市場において情報発信力や競争力で優位性を持ち、地域住民が誇りを持つだけでなく、観光客や消費者等に共感・愛着・満足度を与え、「訪れたい」・「住みたい」などの気持ちを誘引する									
主 な 実 施 内 容	(1) アンテナショップ等を活用した、特産品振興と信濃大町の食を通じた魅力を発信 (2) 物産展等への参加と、信濃大町サポーター、えんポーターを活用した特産品等のPRと販路拡大 (3) おおまびょんを活用し、各種イベントへの参加やSNS等での情報の拡散 (4) 黒部ダムカレーを市のソウルフードとして普及推進し定着を図る									

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		17,578,777 円		14,079,913 円		17,929,320 円	
	財源内訳	特定財源	427,388 円		613,991 円		1,101,400 円	
一般財源		17,151,389 円		13,465,922 円		16,827,920 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	19,978,000	0	0	0	19,978,000	17,929,320	0	
	不用額	特定財源	細節名					
	2,048,680		信濃大町ブランド認知度向上商品販売金					
		金額	1,101,400					

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動 ◆ 事業の成果

#### (1) 立川市アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営

信濃大町の物産を通じた魅力発信 売上総額16,733千円 前年比45.6%UP

売上推移

(単位:千円)

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
全体	12,253	13,018	13,236	11,494	16,733
店舗売上	11,469	13,001	12,994	10,994	15,294
イベント売上	784	17	242	500	1,439
店舗運営委託料	5,731	5,700	5,700	5,000	5,000



#### (2) 観光・農産物・特産品等PR、販路拡大事業

◎物産展等への参加 いーずら大町特産館をはじめとした事業者の物産展等への参加支援。

◎信濃大町サポーター事業 登録者 49名

◎信濃大町えんポーター事業 登録者 16団体

◎地域特産品開発及び流通販路拡大業務

・専門家の指導、助言を基に事業者を支援。「ホッとひと息つけるまち」となるよう「おおまちカフェ」と題して事業の展開を開始。

・事業者経営指導の実施（ビジネスマッチング、販路開拓、市場調査等の経営指導を公募し支援）

## 事業の実績・成果

(3) おおまびよん活用 出動回数 65回

OR5.11.18~R6.3.15 「カフェをおうえんおおまびよん」開催。協力34店舗。

◎啓発用グッズ等



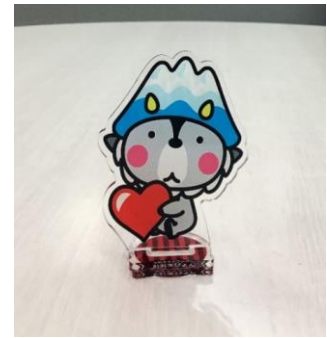
&lt;ぬぐいぐるみ&gt;



&lt;アンブレラマーカー&gt;



&lt;キーホルダー&gt;



&lt;アクリルスタンド&gt;

- (4) 黒部ダムカレーの普及推進（黒部ダムカレー推進協議会事務局）参加19店舗
- 「黒部ダムカレーチャレンジ！」大町市プロモーション委員会と共催。
  - ダム展望レストランで8月の毎週水曜日、市内・県内の有名店が週替わりで出店。
  - 人気YouTuberによる黒部ダムカレー食べ歩き
  - 上高地あずさ珈琲プレゼントキャンペーン開催。
  - 宇奈月カレーマルシェへの参加
  - 村井美樹さんによるプロモーションへ協力。abn「駅テレマルシェ」生放送。



## ◆ 前年度からの改善点

- ・「カフェのまち大町」をコンセプトに地域産品の掘起し・商品改良を進めることを決定。地域産業活性化サイト（おおまちカフェLP）を立ち上げ、テーマに沿った店舗やメニュー紹介を行える情報発信ツールとして活用。
- ・アンテナショップと連携し、えんポーターの定期的な派遣によるマーケティングの場の提供、地域事業者とのマッチングを進め、首都圏を中心にした販路拡大の可能性を推進した。

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	67
担当課	地域振興部	まちづくり産業課	商業労政係	事務事業No.	17117
事務事業名	中心市街地活性化事業			実施方法	市が直接実施
会計	一般会計		款 7 項 1	目 1	決算書 182 頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁 51 頁
	施策目標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化			
	施策項目	②中心市街地の活性化			
個別計画	第4次中心市街地活性化基本計画				頁
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本計画に基づき、実施主体の関係団体との連携により、各種施策を実行し活性化を目指すことで施策事業の推進を図る。</li> <li>中心市街地振興条例に基づく集客施設への助成を行うことにより、民間の投資意欲を促し、集客施設等の集約による都市機能の充実、賑わいを創出する。</li> <li>中小企業振興振興条例に基づく指定施設への助成を行うことで、既存店舗の継続と、空き店舗活用による中心市街地の活性化の促進を進めていく。</li> </ul>				
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本計画（第4次）に基づく具体的施策の推進</li> <li>関係団体との連携による各種事業の実施（やまびこまつり、ゆかたまつり、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市等）</li> <li>中心市街地振興条例に基づく事業者支援（建築費・固定資産税等助成）</li> <li>中小企業振興条例に基づく事業者支援（空き店舗活用事業等）</li> <li>店舗改修事業補助金による既存店舗等の事業継続支援</li> </ul>				

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		10,310,879 円	18,113,176 円	22,665,819 円			
財源内訳	特定財源			4,000,000 円			
	一般財源	10,310,879 円	18,113,176 円	18,665,819 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	23,101,000		0	0	23,101,000	22,665,819	0
	不用額	特定財源	細節名				
	435,181		ふるさと応援基金繰入金				
		金額	4,000,000				

事業の実績・成果		前年度からの改善点等
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進 関係団体との連携による施策・事業の実施</li> <li>◇関連条例や要綱に基づく空き店舗活用、店舗改修事業 補助制度の有効活用による空き店舗の解消、事業継続を支援する。</li> <li>◇商店街消費者交流事業等への支援 商店街等が実施する独自事業を通じ、消費者との交流を促し中心市街地の活性化を図る。</li> <li>◇中心市街地振興条例に基づく集客施設の立地促進 中心市街地内へ集客施設等を集約し、都市機能を充実させるとともに、賑わいの創出を図る。</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進のため、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市開催（まちづくり協議会）、あめ市やえびすこう（商店街連合会）などを実施し、中心市街地の活性化に努めている。</li> <li>関連条例や要綱に基づき、空き店舗活用（改修、家賃補助）、店舗改修に助成金を交付している。</li> <li>中心市街地振興条例に基づく助成事業により、中心市街地への集客施設の新規出店を促す。</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>なし</p>		なし

# 主要な施策の成果説明書

			前年度評価	継続						
			No.	68						
担当課	地域振興部	まちづくり産業課	移住定住促進係	事務事業No.	12137					
事務事業名	定住促進事業			実施方法	市が直接実施					
会計	一般会計	款	2	項	1	目	3	決算書	74	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	59		頁		
総合計画	施策目標	【4】移住・定住促進策等の充実強化								
総合計画	施策項目	①定住促進ビジョンの推進								
個別計画	大町市第3期定住促進ビジョン									頁

**対象と目的**

<対象>  
市民並びに本市への移住希望者

<目的>  
全国的に人口減少が進んでいる中、市においても活力の再生など地域の活性化のためには、ふるさとに対する誇りや愛着心を育むことによるUターンの促進と地域への定着を図り、定住促進ビジョンに沿った移住・定住促進施策を図る。

**主な実施内容**

①定住奨励事業の実施  
(マイホーム取得助成事業、空き家改修事業、商品券交付事業、有料道路負担軽減事業 ほか)

②移住相談窓口の充実

③都市部向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施

④移住者交流事業

⑤結婚支援事業

⑥空き家バンク・物件情報の提供

⑦連携自立圏移住交流・若者交流事業

事業費		決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費(決算額)				57,261,267 円		63,895,201 円		64,865,216 円	
財源内訳	特定財源			14,777,300 円		13,746,505 円		18,689,000 円	
	一般財源			42,483,967 円		50,148,696 円		46,176,216 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額		
	57,229,000	9,900,000	0	0	67,129,000	64,865,216	0		
	不用額	特定財源	細節名	UJターン就業・創業移住支援事業補助金	広域連携推進事業補助金	地域少子化対策重点推進補助事業交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金ほか		
2,263,784		金額	6,200,000	5,110,000	1,870,000	5,509,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

- 移住セミナー・移住相談会の開催 (12回・参加者数264人)
- 大町暮らし魅力体験ツアーの開催
  - ◇水のまち仕事めぐりツアー 10/7~10/8 8組15人
  - ◇信濃大町移住見学会 2回 10/21~10/22 7組10人  
11/11~11/12 5組12人
  - ◇梅さんと行く魅力探訪 11/11~11/12 15組21人
  - ◇冬を楽しむ暮らし体験ツアー 1/27~1/28 5組9人
- 移住者交流会
  - ◇おしゃべりTIME in FARM 6/4 9名
  - ◇おしゃべりTIME in FARM ~収穫編~ 11/12 30名
  - ◇雪道路上講習「信濃大町雪国デビュタント」 1/11 2名
- 関係人口創出
  - ◇しなののおまちワーキングホリデー (受入17名、313日)
- 結婚支援
  - ◇結婚相談所「大町市ハピネスサポートセンター」の開設 (登録者数：男性6名、女性3名)
  - ◇移住×結婚 Nagano\_Local\_match-移住×婚活- 11/18 13名
  - ◇異業種交流・ライフデザインセミナー 2/29 19名
  - ◇大町暮らしおしゃべりTIME 3/15 8名



事業の実績・成果

◆ 事業の成果

主な定住奨励事業の実施状況

- ・マイホーム取得助成 20万円  
 (加算：市内業者・50歳未満・子ども・居住誘導各5万円、三世代1万、テレビ4万上限) 最大45万円  
 交付実績：新築42件、購入35件 合計77件 計21,582千円
- ・商品券交付事業(きらり商品券3万円分)  
 交付実績：Uターン21件、Iターン38件、新婚世帯36件 計2,791千円
- ・移住推進空き家改修事業補助金(対象経費の1/2、上限30万)  
 交付実績：19件 計5,147千円
- ・空き家流通促進事業補助金(対象経費の1/3、上限30万(改修)/8万(片付け))  
 交付実績：11件 計1,355千円
- ・有料道路利用者負担軽減事業(白馬長野有料道路)  
 交付実績：77人、130冊 計720千円(市費負担81千円)
- ・就業者等移住支援金  
 交付実績：5件 計9,600千円
- ・結婚新生活支援事業補助金  
 交付実績：9件 計2,806千円

移住相談窓口の充実

- ・市の移住相談窓口を通じた移住実績 70世帯104人
- ・移住相談件数(移住相談会・窓口・メール・電話等) 499件

都市圏向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施

- ・移住セミナーの開催 12回開催
- ・魅力体験ツアーの開催 参加者40組67人

空き家バンク制度の運用

- ・利用状況：物件登録件数21件、利用者登録数33人、成約件数14件

連携自立圏移住交流、若者交流事業

- ・関係人口創出事業「北アルプス地域関わり隊」の開催(稲作の風景を守る「切久保棚田の稲刈り」池田町と連携)
- ・「異業種交流・ライフデザインセミナー」の開催



◆ 前年度からの改善点

- ・北アルプス自立圏による、スケールメリットを活かした関係人口創出事業「北アルプス地域関わり隊」の実施
- ・信濃大町移住見学会が好評のため開催を2回へ変更

# 主要な施策の成果説明書

					前年度評価	新規事業					
					No.	69					
担当課	地域振興部	産業立地戦略室	産業立地戦略室	事務事業No.	17122						
事務事業名	工業振興・企業誘致事業				実施方法	市が直接実施					
会計	一般会計		款	7	項	1	目	2	決算書	184	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	52		頁		
総合計画	施策目標 【1】商工業の振興による地域経済の活性化										
総合計画	施策項目 ③企業誘致の推進										
個別計画											

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や定住希望者に「安定した雇用の場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。</li> <li>・働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存企業の育成、支援 市内製造業景況調査などの実施。情報をもとに各種支援策につなげる。</li> <li>・企業誘致の推進 拠点整備に関する企業情報を収集し、地域特性を活かした戦略的な企業誘致の展開。また、その情報に基づくトップセールスの実施。</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		870,655 円		478,825 円		1,048,618 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		870,655 円		478,825 円		1,048,618 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	1,821,000	0	0	0	1,821,000	1,048,618	11,111	
	不用額	特定財源	細節名					
	761,271		金額					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

○企業相談業務 58件/年

相談件数推移 (単位: 件)			
	R3年度	R4年度	R5年度
企業相談	41	79	58

○企業誘致等に係る事業用物件の照会

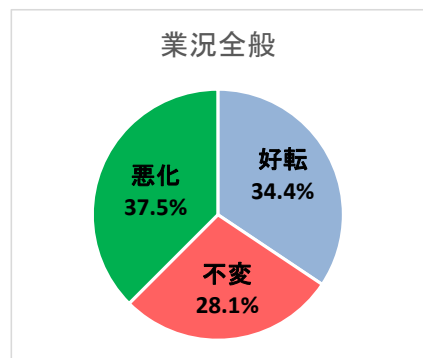
立地条件に該当する4社へ市内物件情報を提供

○市内製造業等景況調査 2回/年

令和5年10月、市内製造業の45社に調査票を送付 → 回答率71.1%

【業況】令和5年3月末と比較した令和5年9月末の状況  
景況感D1〔好転企業割合 - 悪化企業割合〕△3.1%  
比較 R5上期 5.9ポイント下降  
対前年同時期 2.8ポイント上昇

前年同時期(D1△5.9%)より2.8ポイント上昇しているが、3年連続マイナスとなる。数ポイントずつ上昇しており、回復傾向を示すが、エネルギーコスト負担増や節約志向の高まりのほか海外経済の停滞も加わり、小幅ながら下落傾向が続いている。



## ◆ 事業の成果


当市へ進出した(株)みすずコーポレーション及びサントリープロダクツ(株)については、増設計画に伴う継続的な支援を実施。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 70				
担 当 課	地域振興部	産業立地戦略室	商業労政係			事務事業No.	17123				
事 務 事 業 名	工場等誘致振興助成事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	7	項	1	目	2	決算書	186	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	52		頁		
施 策 目 標	【1】商工業の振興による地域経済の活性化										
施 策 項 目	③企業誘致の推進										
個 別 計 画											

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や移住希望者に「安定した雇用の場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。</li> <li>・働く場を確保し、市民及びIUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大町市工場等誘致振興条例に基づく助成 雇用を伴う設備投資（新設・移設・増設）に対して助成金を支給。</li> </ul>

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		316,543,300 円		328,169,800 円		314,473,600 円	
	財源 内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		316,543,300 円		328,169,800 円		314,473,600 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	384,048,000	-19,524,000	0	0	364,524,000	314,473,600	50,000,000	
	不用額	特定財源	細節名					
	50,400		金額					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大町市工場等誘致振興審議会開催 2回/年 審議案件 : 助成事業の指定に関する事項1件（増設1件） : 助成事業の確定に関する事項1件（増設1件）</li> <li>○大町市工場等誘致振興条例に基づく助成金 投下固定資産分の助成 新設1社、増設1社 固定資産税相当額の助成 5社</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○増設企業数 1社 (株)みすすコーポレーション</li> </ul>							
							

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	71
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係	事務事業No.	17133
事務事業名	観光資源活用事業			実施方法	負担金
会計	一般会計	款	7 項 1	目 3	決算書 187 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	57 頁
	施策目標 【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				
	施策項目 ①魅力ある観光地づくりの推進				
個別計画	観光振興計画				頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光課所管施設の適切な維持管理、温泉資源の環境整備に向けた支援</li> <li>各施設の管理・清掃業務を委託し、適正な維持管理・環境美化等に努める。また、関係団体への支援により温泉資源の環境整備を図る。</li> </ul>
-------	--

主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設の維持管理等</li> <li>公衆トイレの維持管理（光熱水費、修繕、汲取り、清掃、浄化槽点検等）、流鏝馬会館管理運営業務</li> <li>照明機材を活用したイベント開催：歴史的資源のライトアップイベントの開催（仁科神明宮、霊松寺）</li> <li>シンガポール向けプロモーション業務：海外インフルエンサー誘致によるファミトリップの実施</li> <li>扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み</li> <li>関係団体への活動支援（負担金・補助金）</li> <li>市温泉地連絡協議会、大北温泉協会、SDGs学習旅行誘致協議会、旧酒の博物館活用事業補助ほか</li> </ul>
--------	--

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		31,770,490 円	26,155,539 円	29,577,175 円			
財源内訳	特定財源	3,926,000 円	4,434,000 円	2,762,709 円			
	一般財源	27,844,490 円	21,721,539 円	26,814,466 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	23,603,000	5,919,000	0	1,228,830	30,750,830	29,577,175	0
	不用額	特定財源	細節名	地域発元気づくり支援金	貸地料	観光施設光熱水使用料	
1,173,655		金額	2,201,000	306,507	255,202		

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	あり
----------	------------	----

<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流鏝馬会館入場者数 3,419人（令和4年3,149人、対前年比108.7%）</li> <li>○ 観光施設維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検清掃業務</li> </ul>           公衆トイレ5カ所（七倉ダム下、七倉登山補導所横、餓鬼岳登山道入口、高瀬ダム天端、木崎湖キャンプ場）            駐車場3カ所（扇沢市営駐車場、七倉ダム下駐車場、七倉広場市営駐車場）            浄化槽3カ所（大町温泉郷森林劇場、扇沢総合案内センター、七倉登山補導所） <ul style="list-style-type: none"> <li>・市営駐車場等誘導整理業務（扇沢市営駐車場、七倉市営駐車場）</li> </ul> </li> <li>○ ライトアップイベントの開催           屋外照明機材によるライトアップを実施、信濃大町駅・温泉郷からのシャトルバスを運行し誘客を図った。            仁科神明宮9/17～24（8日間）来場者540人 霊松寺10/28～11/5（9日間）来場者2,256人         </li> <li>○ シンガポール向けプロモーション業務           アジアの英語圏であるシンガポール向けに「水」のプロモーションを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンサー招聘事業 投稿映像は5種類 合計再生回数250万回を更新</li> <li>・県立大学生とシンガポール国立大学生とのミーティング・SNSアカウント運用</li> </ul>           フォロワー1,000人目標→1,900人超え 記事71回更新 再生回数1.5万件         </li> <li>○ 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み           AIを活用したシステム等を用いた車両等属性データの把握・数値化、混雑状況の可視化と適切な情報発信         </li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <p>観光施設や関係団体への支援によりの適切な維持管理に努められたとともに、イベント開催等により貴重な資源として有効活用できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けた取組み           デジ田交付金の活用により構築したシステムの精度向上（カメラ位置変更、分析システムの精度向上等）</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>紅葉シーズンの日中に誘客を図るため、大町温泉郷のライトアップを終了し、霊松寺「日展工芸作家展2023」においてライトアップを実施。市内で活躍する日展作家の作品を照明による演出で、日中の誘客に繋げることができた。</p>
---

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
No.						72		
事務事業No.						17134		
実施方法						委託		
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係	款	7	項	1	
事務事業名	2次交通対策事業						目	3
会計	一般会計						決算書	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57	頁
施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進							
施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進							
個別計画	観光振興計画						頁	
対象と目的	<p>来訪者に対し、市内に点在する観光施設への移動手段を整備し、利便性の向上と誘客の促進を図る。</p> <p>市内の観光施設をはじめ、広域的な観光周遊を担う2次交通を整備し、地域全体としての誘客促進と観光消費額の増大による経済活性化を目指していく。</p>							
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊バス（信濃大町ぐるりん号）の運行</li> <li>・周遊バス（木崎湖送迎バス）の運行</li> <li>・信濃大町プレミアム付観光タクシーチケット販売</li> <li>・大系線ゆう浪漫委員会特別事業（信州まつもと空港シャトル便）運行支援</li> <li>・北アルプス三市村観光連絡会 二次交通対策（アルペンライナー）運行支援</li> </ul>							
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		21,941,408 円		17,549,291 円		11,028,684 円	
	財源内訳	特定財源	3,258,000 円		8,730,000 円		0 円	
		一般財源	18,683,408 円		8,819,291 円		11,028,684 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	11,570,000	0	0	0	11,570,000	11,028,684	0	
	不用額	特定財源	細節名					
	541,316		金額					
事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし	
◆ 施策目標に資する活動								
○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」運行								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行期間 4/29～5/7、7/15～10/16の一部平日と土日祝（42日間、11便/日）</li> <li>・利用運賃 大人200円/回、500円/1日券、1,000円/あづみの周遊バス共通券 小人100円/回、200円/1日券、500円/あづみの周遊バス共通券</li> </ul>								
○ 周遊バス「木崎湖送迎バス」運行								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行期間 7/1～9/8の土日祝（27日間、6便/日）</li> <li>・運賃 無料</li> </ul>								
○ 信濃大町プレミアム付観光タクシーチケット販売								
2次交通手段が乏しい観光地のアクセス向上を図るためタクシーチケットを販売（3,000円で5,000円分）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チケット運用期間 4/29～11/30</li> </ul>								
○ 大系線ゆう浪漫委員会特別事業（松本空港シャトル便）運行支援								
信州まつもと空港を利用して安曇野や北アルプス地域への来訪者の利便性の向上と観光客誘客を促進する。								
○ 北アルプス三市村観光連絡会二次交通対策「アルペンライナー」								
北アルプス北部山域（小谷村・白馬村・大町市）の連携事業とし実施								
扇沢駅～コルチナスキー場 片道1,800円								
◆ 事業の成果								
○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」利用実績								
令和2年度：813人、令和3年度：698人、令和4年度：1,141人、令和5年度：1,356人								
○ 周遊バス「木崎湖送迎バス」利用実績 令和5年度：98人								
○ 信濃大町プレミアム付観光タクシーチケット販売実績 販売数1,200冊、販売人数600人								
○ 大系線ゆう浪漫委員会特別事業（信州まつもと空港シャトル便）運行実績								
令和5年度：1,116便 2,730人								
○ 北アルプス三市村観光連絡会二次交通対策「アルペンライナー」利用実績								
令和5年度：1,792人								

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
No.						73		
事務事業No.						17135		
実施方法						指定管理		
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係	款	7	項	1	
事務事業名	仁科三湖振興事業						目	3
会計	一般会計			決算書	189	頁		
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	57	
総合計画	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						
総合計画	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進						
個別計画	観光振興計画						頁	
対象と目的	<p>仁科三湖周辺観光施設の維持管理と環境整備により、周辺環境を保全するとともに観光振興を図る。</p> <p>観光施設の適切な維持管理に向けて、中・長期的な視点から改修・更新を計画的に実施する。</p>							
主な実施内容	<p>観光施設・温泉管の維持管理、修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アミューズメントハウス「ゆ〜びる木崎湖」の指定管理による維持管理</li> <li>・アミューズメントハウス「ゆ〜びる木崎湖」の修繕等</li> <li>・海ノロキャンプ場公衆トイレ解体撤去工事（令和4年度より繰越）</li> <li>・仁科三湖環境整備への支援</li> </ul>							
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		52,221,721 円		66,481,242 円		48,009,998 円	
	財源内訳	特定財源	10,167,797 円		21,883,000 円		219,238 円	
		一般財源	42,053,924 円		44,598,242 円		47,790,760 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	38,933,000	8,198,000	1,000,000	464,700	48,595,700	48,009,998	0	
	不用額	特定財源	細節名					
	585,702		金額	木崎湖キャンプ場トイレ維持管理負担金 219,238				
事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり	
<p>◆ 施策目標に資する活動 ※H8.4開館（R3.11プール利用者100万人突破）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アミューズメントハウスの維持管理（施設管理、施設運営、緊急時対応、自主事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による維持管理 指定管理者：木崎湖温泉開発㈱、指定管理期間：R2.4～R7.3</li> <li>・施設維持に係る修繕</li> </ul> </li> <li>○ 仁科三湖環境整備等への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>仁科三湖周辺環境整備に向けた関係団体への支援</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大町市アミューズメントハウス利用実績等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度：31,200人、令和4年度：27,104人、令和5年度：30,981人</li> </ul> </li> <li>・施設維持に係る修繕等 <ul style="list-style-type: none"> <li>換気扇修繕、LED照明修繕、キュービクル修繕（緊急）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 仁科三湖環境整備等への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁科三湖を美しくする会（7自治会、2漁協が美化清掃活動等を実施）</li> <li>・仁科三湖環境整備事業（中綱湖）</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>仁科三湖のうち、木崎湖は船外機付きボートが使われるなど様々な種類のボートが運用されていることから、漁協をはじめボート事業者等との協議を行いながら調整が必要となっている。令和6年2月に事業者らとの打ち合わせを行っており、今後、湖上でのローカルルール化を目指し地元漁協をはじめボート事業者などの関係事業者、警察署や消防署と協議する。</p>								

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	74
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係	事務事業No.	17136
事務事業名	広域観光推進事業			実施方法	負担金
会計	一般会計	款	7	項	1
目	3	決算書	189	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	後期計画掲載頁	57	頁
総合計画	施策目標 【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				
総合計画	施策項目 ①魅力ある観光地づくりの推進				
個別計画	観光振興計画				頁

**対象と目的**

関係団体が実施する各種事業（プロモーション、キャンペーン、情報発信、受入体制整備、二次交通対策等）を支援し、広域的な周遊観光の推進に取り組む。

**主な実施内容**

- 委託事業（北アルプス連携自立圏地域間産業連関表作成業務）
- 関係団体が実施する広域的な観光事業への支援：日本アルプス観光連盟（日本アルプスエリアでの連携誘致）、大系線ゆう浪漫委員会（大北+安曇野エリアでの誘致・受入れ連携）、信州まつもと空港地元利用促進協議会（空港を活用した連携誘致）、HAKUBA VALLEY TOURISM（小谷・白馬と連携し、インバウンドに特化した誘致・受入れ連携）ほか

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		16,337,448 円	17,600,448 円	14,948,845 円		
財源内訳	特定財源	2,281,000 円	2,838,000 円	1,710,000 円			
	一般財源	14,056,448 円	14,762,448 円	13,238,845 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	14,632,000	857,000	0	0	15,489,000	14,948,845	0
	不用額	特定財源	細節名	金額			
540,155		産業連関による経済波調査・分析事業	414,000	1,296,000			

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

- ◆ 施策目標に資する活動
  - 委託事業
    - 地域間産業連関表作成業務：北アルプス広域での研修会開催、連関表データ作成
  - 関係団体への支援（負担金）
    - 広域的な観光事業を行う関係団体への支援を通じ、周遊観光と誘客を促進する。
- ◆ 事業の成果
  - 委託事業
    - 地域間産業連関表作成事業：広域研修5回、連関表データ作成
  - 広域的観光関係団体支援
    - 大系線ゆう浪漫委員会 広域パンフ1万部（主に首都圏）、誘客キャンペーン2回  
メディア連携：県内雑誌3万部・WEB連動配信約8,600回のページビュー  
おもてなしイベント：91回
    - HAKUBA VALLEY TOURISM  
海外旅行エージェンツ商談会開催10社 SNS累計 5,200万回以上 ウェイボのみ100万回以上  
海外旅行博への出展 2回 映像制作 豪州・NZ全土で45回放映 GPS動態調査
    - 信州まつもと空港地元利用促進観光プロモーション業務  
誘客キャンペーン8回、営業セール4回、メディア発信（ラジオ番組12回、CM113本、Youtube配信約10万回再生）  
長野県観光機構、まつもと空港地元利用促進協議会、北アルプス日本海広域連携会議  
長野県国際観光推進協議会、立山黒部観光宣伝協議会、北アルプス三市村観光連絡会 ほか
- ◆ 前年度からの改善点
  - 地域間産業連関表の作成業務を行い、令和6年度に策定する観光振興計画に反映したい。
  - 小谷・白馬と連携したHAKUBA VALLEY TOURISMでは、海外向けプロモーションと二次交通の受け入れ、情報収集を行うことにより、訪日客に対して必要な対応を分析しながら進めることが可能となった。分析については、次年度において国別の来訪者数などを活用してデータ分析したい。

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続	
				No.	75	
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係	事務事業No.	17138	
事務事業名	山岳観光推進事業			実施方法	委託	
会計	一般会計	款	7 項	1 目	3 決算書 191 頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	57 頁
	施策目標	【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				
	施策項目	①魅力ある観光地づくりの推進				
個別計画	観光振興計画				頁	

対象と目的	山岳関係者との連携により、登山環境を整備（登山道等の整備、高瀬渓谷への誘客、登山口駐車場の整備、扇沢総合案内センターの開設等）し、山岳観光を推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山道の整備</li> <li>登山関係団体への支援</li> <li>裏銀座登山バスの運行</li> <li>扇沢総合案内センター（トロバス記念館）の運営</li> </ul>

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		15,326,475 円	39,329,599 円	9,845,773 円			
財源内訳	特定財源	10,162,000 円	33,878,000 円	5,307,830 円			
	一般財源	5,164,475 円	5,451,599 円	4,537,943 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	11,613,000	-1,400,000	0	133,513	10,346,513	9,845,773	0
	不用額	特定財源	細節名	扇沢総合案内センター使用料	ふるさと応援基金繰入金	新高瀬川発電所管理用道路通行使用負担金	高瀬ダム公衆電話料
500,740		金額	192,000	5,000,000	110,000	5,830	

事業の実績・成果	前年度からの改善点等
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登山環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>登山案内標柱の作成・設置</li> <li>登山関係団体への支援</li> <li>登山道整備・調査への支援</li> <li>山岳観光の推進に向けた関係団体への支援（負担金・補助金）</li> </ul> </li> <li>○ 裏銀座登山バスの運行 <ul style="list-style-type: none"> <li>信濃大町駅から七倉までをつなぐ登山バスを運行</li> </ul> </li> <li>○ 扇沢総合案内センター（トロバス記念館）の運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>専任職員による観光案内や適正な施設の維持管理</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登山環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>登山案内標柱の作成・設置 1路線</li> <li>登山道の整備及び調査 山小屋60日、案内人組合30日</li> <li>登山関係団体への支援 8路線（うち、6路線へ整備謝礼支給、7路線へ登山道改修補助交付）</li> <li>山小屋利用者（宿泊・日帰り） R2：12,266人、R3：20,108人、R4：27,034人、R5：36,669人</li> </ul> </li> <li>○ 裏銀座登山バスの運行 <ul style="list-style-type: none"> <li>運行期間 7月15日から10月15日までの60日間（8便/日）</li> <li>利用者数 1,263人</li> </ul> </li> <li>○ 扇沢総合案内センター（トロバス記念館）の運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者 R2：7,181人、R3：9,808人、R4：9,814人、R5：12,632人</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>扇沢周辺駐車場における観光混雑の分散化に向けたシステム再構築</li> <li>七倉・葛温泉方面への登山者利便性向上を目的とした「裏銀座登山バス」の運行</li> <li>山小屋事業者とは会議だけでなく、市担当者や山小屋事業者、登山案内人組合と情報共有できる体制が整いつつある。</li> </ul>	あり

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	76
担当課	地域振興部	観光文化課	観光企画係	事務事業No.	17139
事務事業名	滞在型観光推進事業			実施方法	負担金
会計	一般会計	款	7	項	1
目	3	決算書	193	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	後期計画掲載頁	57	頁
総合計画	施策目標 【3】観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				
総合計画	施策項目 ①魅力ある観光地づくりの推進				
個別計画	観光振興計画				頁
対象と目的	市観光協会など観光関係者と連携し、国内外に向けたプロモーションや情報発信をはじめ、市内の主要なイベント等への支援を通じ、外貨の獲得、おもてなしの心で観光客を迎える魅力ある観光地づくりを進め、滞在型観光への転換と基幹産業となる宿泊観光業の活性化を図る。				
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種観光プロモーションや情報発信</li> <li>観光関連団体への支援</li> <li>観光に精通した人材の登用による観光振興</li> </ul>				

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		215,412,184 円	194,640,821 円	66,922,146 円		
財源内訳	特定財源	157,788,400 円	93,671,000 円	4,978,490 円			
	一般財源	57,623,784 円	100,969,821 円	61,943,656 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	69,760,000	-315,000	0	-801,343	68,643,657	66,922,146	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	信濃大町駅内観光案内所利用負担金	観光ポスター販売金	ふるさと応援基金繰入金
1,721,511		金額	435,710	49,000	4,478,000	15,780	

事業の実績・成果		前年度からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種観光プロモーションや情報発信 観光関連団体を通じた効果的なプロモーションの実施</li> <li>○ 観光関連団体への支援 観光関連団体による滞在型観光の推進に向けた事業への支援</li> <li>○ 観光に精通した人材の登用による観光振興 専門的見地を持つ専門人材を活用した各種施策の実行</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種観光プロモーションや情報発信 信濃大町なびによる情報発信・周知啓発（観光協会）、SNSを活用したプロモーション（プロモーション委員会）等</li> <li>○ 観光関連団体への支援 観光協会、プロモーション委員会、冬の観光宣伝協議会、雪まつり実行委員会等（負担金・補助金）</li> <li>○ 観光に精通した人材の登用による観光振興 地域活性化企業人による施策の企画立案・実施、観光振興アドバイザーによる事業の進捗管理</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>冬の観光宣伝協議会と連携した市内スキー場シャトルバスの運行時間を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 信濃大町駅～大町温泉郷～爺ガ岳～鹿島槍：定員オーバーした際の対応ができるよう組み換えした</li> <li>② 信濃大町～日向山～爺ガ岳～鹿島槍：8時台を組み換えし増便した結果、インバウンドの利用者が増えた。 令和4年度：6,635人 令和5年度：9,081人（前年比149%）</li> </ul>			

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	77				
担 当 課	地域振興部	観光文化課	国際芸術祭推進係			事務事業No.	121131				
事 務 事 業 名	芸術文化振興事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	2	項	1	目	13	決算書	99	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	49			
施 策 目 標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
施 策 項 目	③地域の芸術文化の創造										
個 別 計 画											

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外からアーティストを招聘し、地域資源を活用した芸術創作活動を支援するアーティスト・イン・レジデンスを積極的に展開し、市の新たな魅力の創造や交流を通じて、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創造するとともに、シビックプライドの醸成を図る。</li> <li>トリエンナーレとして国内外から数十組のアーティストが参加する北アルプス国際芸術祭を開催することにより、既存観光が訴求してこなかったターゲット層への強い発信による国内外からの新たな誘客を図る。</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外からアーティストを招聘し、滞在制作、ワークショップ及び作品展示等の実施</li> <li>市民とアーティストの交流及び市民芸術文化活動の振興</li> <li>トリエンナーレとしての北アルプス国際芸術祭の開催</li> <li>地域固有の芸術文化資源等の魅力の創出と発信</li> </ul>

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総事業費（決算額）			129,112,930 円	22,150,535 円
財源内訳	特定財源			4,956,535 円	11,928,892 円
	一般財源			17,194,000 円	42,047,498 円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	54,319,000	1,000	0	0	54,320,000	53,976,390	0
	不用額	特定財源	細節名	クラウドファンディング	北アルプス国際芸術祭寄附	ふるさと応援基金繰入金	芸術文化振興基金利子収入ほか
343,610		金額	3,771,000	5,920,000	2,181,000	56,892	

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
【信濃大町アーティスト・イン・レジデンス】							
公募テーマ「水をつむぐ いとなみ」として、応募者43組（国内31組、海外12組）より4名を選考							
・井上 唯（滞在日数49日）・高久 柊馬（滞在日数53日）・小内光（滞在日数48日）							
・土本亜祐美（滞在日数53日）							
プレゼン会参加者（9/10）40名 オープニングトーク（9/30）40名							
展示発表（9/30～10/9）参加者2,202名 ワークショップ参加者（作家4名の合計）83名							
【北アルプス国際芸術祭】							
「奥能登国際芸術祭2023」視察バスツアー開催（10/3-4）参加者40名							
地域協創セミナー「北アルプスまほろば塾」開催							
第1回目 平公民館（7/1）参加者140名 トークイベント・木工ワークショップ							
第2回目 温泉郷（10/1）参加者 40名 ワークショップ・トークイベント							
第3回目 日向山（12/3）参加者139名 ワークショップ・トークイベント							
第4回目 大町公民館分室（3/24）参加者110名 市民向け企画発表会・公式レストランメニュー試食等							
◆ 事業の成果							
【信濃大町アーティスト・イン・レジデンス】							
麻倉Arts&CraftとNPO法人原始感覚舎で組織するコンソーシアムの運営協力のもと、公募によりアーティストを招聘した。							
8月～10月まで約50日間の滞在期間中に概ね2,300名の参加者により、市民との出会いや交流を通じて、大町市の魅力を見出し、市街地の空き店舗や使用されていない蔵などを舞台に芸術文化に親しむ機会を創出できた。							
【北アルプス国際芸術祭】							
空き家や廃校を活用し当芸術祭と同規模となる奥能登国際芸術祭の視察や、地域協創セミナー「北アルプスまほろば塾」を開催し、ターゲット層であった20～40代以外となる子供から高齢者までの幅広い年齢層に向け芸術祭を開催する意義や目的、地域産業となる林業等を身近に感じていただけたものと考えている。							

## 事業の実績・成果

## ◆ 前年度からの改善点

## 【北アルプス国際芸術祭】

今年度新たに取り組んだ地域協創セミナー「北アルプスまほろば塾」は、芸術祭のコンセプトとなる「水・木・土・空」を主なテーマとしてトークイベントとワークショップを組合せ全4回開催した。様々な視点により地域資源を学ぶ場とするとともに、幅広い世代に対して芸術祭を周知することができた。また、イベント開催に向け市内幼稚園や小中学校へチラシ配布を行ったほか、SNS等を活用しながら情報発信することでボランティアサポーターの登録者が1年間で90名近く増加となった。



# 主要な施策の成果説明書

					前年度評価	継続					
					No.	78					
担当課	地域振興部	農林水産課	庶務係		事務事業No.	16133					
事務事業名	農業マーケティング事業				実施方法	その他					
会計	一般会計		款	6	項	1	目	3	決算書	169	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	54		頁		
	施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画	大門市農業振興計画								30・33		頁

対象と目的	<p>将来の当市の持続的な農業を目指し、輸出を志向する農産物及び農産物を主原料にした加工品の生産者を対象に、新たな輸出促進のための取り組みを支援し、多様な販売システムを確立するとともに、農産物及び地域のブランド力の向上を図り、当市の経済の活性化を目指す。</p>										
主な実施内容	<p>輸出事業に意欲的な生産者など幅広い関係者の連携により組織した、大門市農産物等輸出協議会によって、海外における新たな販路や継続した販路の確保、農産物等のブランド化を図るための事業を実施。農業を含めた地域の産業の活性化を図るため、地理的表示の登録申請等に要する経費に対する支援。</p>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		282,722 円		3,107,220 円		4,586,105 円	
	財源内訳	特定財源	0 円		0 円		0 円	
一般財源		282,722 円		3,107,220 円		4,586,105 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	6,817,000	-1,965,000	0	0	4,852,000	4,586,105	0	
	不用額	特定財源	細節名					
	265,895	金額						

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり										
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 香港おにぎり専門店での海外PR事業 店舗内で当市を紹介する動画の放映、壁面への広告掲載、包装紙でのPR、現地SNSを通じた情報発信を実施。</li> <li>○ 香港トップセールス コメや日本酒を輸出し、当市観光地へ来訪いただいている香港へのトップセールスを実施。</li> <li>○ 台湾グループ購入プロモーション事業 台湾における新たな販路を開拓するため、コメのグループ購入事業を実施。</li> <li>○ 先進地視察研修 輸出事業の先進地である新潟県新発田市への視察研修を実施。</li> <li>○ 輸出事業者招へい 輸出货量及び取引の更なる拡大に繋げるため実施。</li> <li>○ お米の輸出拡大セミナー 「お米の輸出をはじめてみましょう」をテーマにセミナーを開催。</li> </ul>																	
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コメの輸出货量は年々増加している。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>R元年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>24 t</td> <td>72 t</td> <td>72 t</td> <td>96 t</td> <td>123 t</td> </tr> </table>								R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	24 t	72 t	72 t	96 t	123 t
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度													
24 t	72 t	72 t	96 t	123 t													
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大門市農産物等輸出協議会において、香港へのトップセールス・台湾グループ購入プロモーション事業・先進地視察研修を実施。</li> <li>○ 地理的表示の登録申請等への補助金を交付。6月に国税庁長官よりGI信濃大町（清酒）の指定を受けた。</li> </ul>																	



# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	79				
担 当 課	地域振興部	農林水産課	庶務係			事務事業No.	161311				
事 務 事 業 名	有害鳥獣対策事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	6	項	1	目	3	決算書	171	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	55		頁		
	施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	①生産と販売の促進									
個別計画	大町市農業振興計画								36	頁	

**対象と目的**  
サル、シカ、イノシシ、クマ、カラス等の野生鳥獣による農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。

**主な実施内容**  
 ○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵の設置などによる「被害の防除対策」  
 ○藪の刈払いによる緩衝帯の整備等による「生息環境管理対策」  
 ○県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数管理、有害鳥獣の捕獲や生息域把握等の「個体数調整対策」  
 ○ICTを活用した捕獲、追い払い等の新技術の導入及び実施  
 ○モンキーダッグの訓練レベル維持  
 ○猟友会との連携強化と鳥獣被害対策者の育成

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		20,341,942 円	19,414,450 円	14,781,872 円			
財源内訳	特定財源	2,765,900 円	2,793,425 円	6,843,295 円			
	一般財源	17,576,042 円	16,621,025 円	7,938,577 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	17,443,000	-1,600,000	0	104,820	15,947,820	14,781,872	0
	不用額	特定財源	細節名	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	ふるさと応援基金繰入金		
1,165,948		金額	2,807,295	4,036,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

- 有害鳥獣駆除・個体数調整
  - ニホンザル：170頭
  - ニホンシカ：132頭
  - イノシシ：59頭
  - タヌキ・キツネ・ハクビシン等獣類：62匹
  - 鳥類：74羽
- 侵入防止柵設置補助（市単独事業）
  - 設置数：8件
  - 設置距離：940m



### ◆ 事業の成果

サルの位置情報をGPSで把握しながら遠隔操作で捕獲可能な大型捕獲檻を設置するなど、効率的な捕獲に取り組むとともに、小型檻での捕獲も実施し、被害及び出没レベルの維持ができた。また、国庫補助による集落ぐるみでの侵入防止柵の設置、猿害対策協力員やモンキーダッグ等での追い払い、猟友会による捕獲などを総合的に実施し、鳥獣被害対策に取り組んでいる。しかし、侵入防止柵等の対策が不十分な地域の被害や、シカやイノシシによる被害報告も増えていることから、さらに取り組みを進めていく。



### ◆ 前年度からの改善点

令和2年度から3ヶ年事業として強化事業に取り組んだが、令和5年度から本事業に統合し実施。クマの出没対応では、猟友会との連携による移動放獣も5頭実施し、一定の効果があつた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	81				
担当課	地域振興部	農林水産課	森林振興係			事務事業No.	163112				
事務事業名	森林環境譲与税事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	6	項	3	目	1	決算書	179	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	56		頁		
施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興										
施策項目	③豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化										
個別計画											

対象と目的	森林環境譲与税を地域の森林等の、森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、木材利用の促進、森林の有する公益的機能に関する普及啓発等の施策に活用し、森林整備を進める。									
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境譲与税基金への積み立て</li> <li>森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備</li> <li>松くい虫防除自衛支援のための薬剤補助</li> <li>林業事業体の安全装備等の購入補助</li> <li>市民ホール記載台製作</li> </ul>									

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		35,978,974 円	70,163,436 円	64,143,496 円		
	財源内訳	特定財源	10,463,272 円	37,983,298 円	31,962,693 円		
一般財源		25,515,702 円	32,180,138 円	32,180,803 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	78,609,000	-13,972,000	0	0	64,637,000	64,143,496	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	金額	金額	金額
493,504		森林環境譲与税基金繰入金	18,950,000	6,517,000	6,479,060	16,633	
		森林経営管理制度広域連携体制支援事業補助金					
		北アルプス連携自立圏事業負担金					
		森林環境譲与税基金利子収入					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備を実施。 山地保全機能向上のための森林整備 八坂大曲周辺 1.43ha</li> <li>○ ライフライン整備事業として、中綱湖周辺の道路に落木危険樹の伐採</li> <li>○ 松くい虫防除樹幹注入剤補助事業 木崎湖夏期大学周辺</li> <li>○ 北アルプス連携自立圏の取組み 林務専門の県派遣職員による、森林環境譲与税を活用した市町村での森林整備や森林振興等への指導、支援 圏域で森林経営管理制度を推進するための「北アルプス森林林業基本計画」を策定</li> </ul>							
◆ 事業の成果							
<p>森林環境譲与税活用による山地保全、鳥獣対策の森林整備が図られた。 北アルプス連携自立圏事業として、「北アルプス森林林業基本計画」を策定し、圏域での森林経営管理制度による森林整備の指針を定めた。</p>							
◆ 前年度からの改善点							
<p>山地保全機能回復、鳥獣対策のための森林整備の実施 森林環境譲与税啓発活動のための看板設置</p>							



# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	82				
担 当 課	地域振興部	農林水産課	農業振興係			事務事業No.	16135				
事 務 事 業 名	中山間地域等直接支払事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	6	項	1	目	3	決算書	169	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	55		頁		
	施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興									
	施策項目	②農地施策の推進									
個別計画	大町市農業振興計画								29	頁	

**対象と目的**

- 農業の生産条件が不利な中山間地域における農地保全、水源涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進
- 耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続可能な農業生産活動の継続を目指す。

**主な実施内容**

○中山間地域等において、集落等を単位に、農用地の維持管理に必要な活動に対し、面積に応じた額を交付

- 第5期対策期間
- 急傾斜地 田1/20以上 畑15°以上 10aあたり (田21,000円 畑11,500円)
- 緩傾斜地 田1/100~1/20 畑8°~15° 10aあたり (田 8,000円 畑 3,500円)

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費(決算額)		12,120,814	円	12,193,847	円	12,189,700	円
財源内訳	特定財源	8,625,002	円	9,102,929	円	9,159,929	円
	一般財源	3,495,812	円	3,090,918	円	3,029,771	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	12,241,000	0	0	0	12,241,000	12,189,700	0
	不用額	特定財源	細節名	中山間地域等農業直接支払事業補助金	中山間地域等農業直接支払推進事業補助金		
51,300	金額	金額	9,045,929	114,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 なし

### ◆ 施策目標に資する活動

○実施団体数 11集落 (R4 11集落、R3 11集落)

大町地区 3集落 320,234㎡ 5,399,083円

八坂地区 7集落 251,247㎡ 4,852,099円

美麻地区 1集落 92,549㎡ 1,810,071円



宮本集落現地確認



清水寺海戸集落現地確認

### ◆ 事業の成果

中山間農地の遊休荒廃地化を防ぐうえで、重要な役割を担っている。  
事業を実施している11集落において、集落戦略策定済

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	83
担当課	地域振興部	農林水産課	農業振興係	事務事業No.	16136
事務事業名	多面的機能支払事業			実施方法	その他
会計	一般会計		款 6 項 1	目 3	決算書 169 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			後期計画掲載頁	55 頁
計画	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興				
個別計画	②農地施策の推進				
個別計画	大町市農業振興計画				29 頁

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業者等が共同で取組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援する。</li> <li>農業が持つ国土の保全、水源の涵養及び自然環境の保全などの多面的機能の維持増進を図る。</li> </ul>				
主な実施内容	<p>各組織の農用地の維持管理、地域住民との共同活動（植栽等）、水路及び農道等の施設の老朽化等に対する補修及び更新に対して、面積に応じた額を交付している。</p> <p>○基本単価 農地維持支払 田3,000円 畑2,000円（10aあたり）</p> <p>資源向上支払（共同活動・5年未経過） 田2,400円 畑1,440円（10aあたり）</p> <p>（共同活動・5年経過） 田1,800円 畑1,080円（10aあたり）</p> <p>（長寿命化） 田4,400円 畑2,000円（10aあたり）</p>				

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		109,654,184	円	105,870,542	円	105,792,671	円
財源内訳	特定財源	82,384,303	円	80,209,938	円	79,325,105	円
	一般財源	27,269,881	円	25,660,604	円	26,467,566	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	122,236,000	-16,361,000	0		105,875,000	105,792,671	
	不用額	特定財源	細節名	多面的機能支払事業交付金	多面的機能推進交付金	多面的機能支払生坂村負担分	
82,329		金額	79,157,980	161,000	6,125		

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 なし

### ◆ 施策目標に資する活動

○実施団体数 30組織

農地維持支払	取組面積	1,556ha	交付額	45,436,000円
資源向上支払（共同）	取組面積	1,341ha	交付額	23,232,236円
資源向上支払（長寿命化）	取組面積	1,296ha	交付額	36,875,738円



事務研修

令和4年度

実施団体数	30組織	取組面積		交付額
農地維持支払		1,555ha		45,518,700円
資源向上支払（共同）		1,339ha		23,261,360円
資源向上支払（長寿命化）		1,294ha		36,097,024円

令和3年度

実施団体数	30組織	取組面積		交付額
農地維持支払		1,521ha		44,611,000円
資源向上支払（共同）		1,340ha		23,303,840円
資源向上支払（長寿命化）		1,295ha		39,816,064円

### ◆ 事業の成果

当該事業により、活動組織の共同活動及び水路、農道等の地域資源の維持管理が適切に行われ、水源涵養、自然環境の保全、良好な景観形成など農業の持つ多面的機能の維持増進が図られている。

また、植栽などの共同活動により、地域コミュニティの活性化に繋がっている。

# 主要な施策の成果説明書

					前年度評価	継続	
					No.	84	
担当課	地域振興部	農林水産課	農業推進支援係	事務事業No.	161310		
事務事業名	園芸振興事業				実施方法	その他	
会計	一般会計			款	6	項	
				1	目	3	
総合計画	まちづくりのテーマ 第2章 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				後期計画掲載頁	54	
施策目標	【2】地域の特性を生かした農林水産業の振興						
施策項目	①生産と販売の促進						
個別計画	大田市農業振興計画					13	頁

**対象と目的**  
販売目的で園芸作物の生産拡大に取り組む農業者や団体に対して支援を図る。

**主な実施内容**

- ・果樹改新植事業
- ・園芸生産機械整備事業
- ・園芸生産施設整備事業

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総事業費（決算額）		4,484,773 円	3,154,788 円	6,297,728 円
財源内訳	特定財源		円	2,000,000 円	3,000,000 円
	一般財源		4,484,773 円	1,154,788 円	3,297,728 円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
		7,075,000	0	0	0	7,075,000	6,297,728
	不用額	特定財源	細節名				
	777,272		ふるさと応援基金繰入金				
		金額	3,000,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ○ 果樹改新植事業

・りんご苗木	2者	519本	565,360 円
・ワイン用ぶどう苗木	5者	745本	506,350 円
・支柱	5者	71.53 a	1,663,284 円

#### ○ 園芸生産機械整備事業

・電解水生成装置	1者	700,000 円
・超幅狭小型トラクター	1者	700,000 円
・乗用草刈機	1者	542,500 円

#### ○ 園芸生産施設整備事業

・パイプハウス	1者	700,000 円
---------	----	-----------

#### ○ ぶどう生産振興事業

	1者	6,000 円
--	----	---------



りんごわい化樹苗木

### ◆ 事業の成果

#### ○ 果樹改新植事業

・りんご、ぶどうの苗木及び設備補助を行い園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。

#### ○ 園芸生産機械整備事業

・ワイン用ぶどう用の電解水生成装置、長ネギ用の超幅狭小型トラクター、リンゴ用の乗用草刈機を導入し園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。

#### ○ 園芸生産施設整備事業

・イチゴ用ビニールハウスを設置し園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。

### ◆ 前年度からの改善点



・園芸振興を図るため果樹改新植事業の苗木補助金額を500円/本から2,000円/本に改正した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	継続 85					
担 当 課	建設水道部	建設課	計画係			事務事業No.	18413					
事 務 事 業 名	おたんじょ桜事業					実施方法	市が直接実施					
会 計	一般会計			款	8	項	4	目	1	決算書	205	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		78		頁		
施 策 目 標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備											
施 策 項 目	②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進											
個 別 計 画												

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植樹を進め、さくらの里づくりを目指すとともに桜の名所の形成を図ることで児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を図る。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○記念植樹会（毎年10月下旬～11月上旬 実行委員会主催）</li> <li>・各小学校へ入学した市内の小学1年生児童を対象（植樹1本/1クラス）</li> <li>・樹種：オオヤマザクラ・本数：7～10本/年</li> <li>○桜維持管理業務（※国営公園を除く植樹箇所）</li> <li>・草刈り、施肥、灌水、害虫駆除、生育調査他</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		1,234,316 円		1,284,206 円		1,676,637 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		1,234,316 円		1,284,206 円		1,676,637 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	1,920,000	0	0	0	1,920,000	1,676,637	0	
	不用額	特定財源	細節名					
243,363		金額						

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実行委員会 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年9月14日（木） 市役所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員改選について</li> <li>・来年度以降の植樹会開催について</li> <li>・実行委員17名出席（26名）（市議会、小学校、PTA、自治会、育成会他）</li> </ul> </li> <li>令和5年10月4日（水） 市役所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹会開催（案）について</li> <li>・実行委員14名出席（26名）（市議会、小学校、PTA、自治会、育成会他）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○ 記念植樹会開催 高瀬渓谷緑地公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年11月4日（土） 高瀬渓谷緑地公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オオヤマザクラの記念植樹 8本</li> <li>・市内6小学校、市外1学校 8クラス</li> <li>・参加者 児童及び保護者等131人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>						 <p>実行委員会総会</p>	
<p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回の記念植樹から24年間で都市公園をはじめとする8か所の公共用地の中に409本の桜を植樹し、それぞれの場所において、まとまった桜の形成が図られている。</li> </ul>						 <p>記念植樹会</p>	
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会規約を改正し、継続的かつ効率的に事業が実施できるよう、実行委員会の組織体制の見直しを図った。</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	86				
担 当 課	建設水道部	建設課	計画係			事務事業No.	184211				
事 務 事 業 名	コンパクトシティ形成事業					実施方法	委託				
会 計	一般会計		款	8	項	4	目	2	決算書	207	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	78			
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進									
個 別 計 画	大町市都市計画マスタープラン								52	頁	

**対象と目的**

・20年後の都市の姿を展望し、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方針を示し、本計画を用途地域や都市計画道路等の都市計画の決定や計画見直しの際の根拠とするとともに、具体的なまちづくり施策の事業化にあたっての指針として、関連する分野別計画の策定や見直しを実施していく。

**主な実施内容**

○都市計画マスタープラン改定業務の運営・計画の公表  
 ①大町市の特性と課題 ②全体構想（まちづくりの目標・分野別の整備方針） ③地区別構想 ④実現化方策【計画策定のプロセス】  
 ・検討委員会（庁内・外部）、住民懇談会、パブリックコメント、都市計画審議会ほか ・令和6年4月公表  
 ○大町市景観計画策定業務の運営  
 ①特性と課題 ②目標と方針 ③届出等に基づく景観形成 ④届出以外に関する事項 ⑤景観形成の推進方策【計画策定のプロセス】  
 ・検討委員会、住民懇談会、パブリックコメント、景観条例の策定ほか ・令和8年4月計画の発効（予定）

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		13,678,000 円		1,307,034 円		10,290,329 円	
	財源内訳	特定財源	2,600,000 円				2,250,000 円	
		一般財源	11,078,000 円		1,307,034 円		8,040,329 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	5,986,000	0	4,829,000	0	10,815,000	10,290,329		
	不用額	特定財源	細節名	景観改善推進事業補助金				
	524,671		金額	2,250,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

急速な少子高齢化が進行する中、一定の人口密度に支えられてきた医療、福祉、商業などの生活サービスの提供が困難となりにかねない状況下、問題解決のため、より具体的な施策を進めるべく令和4年度に「立地適正化計画」及び「緑の基本計画」を公表し、また都市計画の最上位計画であり、将来のまちのあるべき姿やまちづくりの基本的な方向性を示す「都市計画マスタープラン」を改定し、令和6年4月に公表した。

暮らしやすいまちづくり形成に向け、令和5年度から、景観計画策定に取組み、住環境の向上など良好な景観形成を図ることを目的に作業を進めている。



検討委員会

### ◆ 事業の成果

- ・将来像と基本方針の設定
- ・立地適正化計画における誘導区域の設定
- ・防災指針の策定
- ・緑の基本計画における緑地重点地区の設定
- ・分野別の整備方針（土地利用・道路交通・防災・環境・景観形成）
- ・地区別構想（大町・平・常盤・社・八坂・美麻）



住民懇談会

### ◆ 前年度からの改善点

景観計画の策定に向けた検討委員会において、検討すべき項目ごとに分かりやすく論点を整理した資料を作成し成案に向け効率的な審議が図れるよう工夫した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						No.	87					
担 当 課	建設水道部	建設課	計画係			事務事業No.	184313					
事 務 事 業 名	まちなかの緑地整備事業					実施方法	市が直接実施					
会 計	一般会計			款	8	項	4	目	3	決算書	209	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁	79		頁			
総合計画	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
総合計画	施策項目	⑥潤いのある公園・緑地の整備促進										
個別計画	緑の基本計画									52	頁	

**対象と目的**

・ 中心市街地の空き地等を公園的な憩いの空間へ整備するため市民団体等への支援や、ポケットパークなど公共用地を活用し、緑化整備を実施することで、中心市街地の賑わいや回遊性を創出し、住みやすく歩きたくなるまちの形成を図る。

**主な実施内容**

公共用地 ポケットパーク等 11か所の維持管理・緑地の整備・親水施設の設置（ポケットパーク改修）  
 ◎5月 植栽イベント駅前周辺マリーゴールド1500株  
 ◎5月 WSバタフライガーデン植付2回開催・11月WSバタフライガーデン植替え  
 ◎市内小学生によるポケットパークへの植栽  
 ◎親水施設の設置工事 1箇所  
 ◎フラワーコンテナの設置109基650株（小中学校と連携し中央通りの回遊性を創出）

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		2,555,115 円		2,589,751 円		2,824,245 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		84,000 円	
一般財源		2,555,115 円		2,589,751 円		2,740,245 円		

予算	R5当初予算額		補正予算額		前年度繰越額		予備費・流用額		計		支出済額		翌年度繰越額	
	2,880,000		0		0		0		2,880,000		2,824,245			
	不用額		特定財源	細節名	各種講座等参加費									
55,755		金額		84,000										

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **あり**

### ◆ 施策目標に資する活動

- ・ 都市公園内の図書館横花壇をフィールドに、緑化の推進と維持管理を含めて市民も一緒になってバタフライガーデンを作り上げるため、園芸研究家講師を招き、複数回のワークショップを開催し、植栽から維持管理方法まで学ぶことで、緑化の機運を高めた。
- ・ 八日町ポケットパークにまちなかの回遊を図るため親水施設を設置
- ・ 市内各小中学校によるフラワーコンテナの花苗植付と市街地中央通り（駅前～大黒町）へ植付けたコンテナを設置したことで親子でのまち歩きへ導いた。
- ・ 市民団体と協働によるポケットパークの植栽管理
- ・ 下仲町PPの水辺を活用し、魚の放流等を行うことで回遊性へと繋がった。

### ◆ 事業の成果

- ・ 市民で構成される緑化団体によるポケットパークの植栽管理等の実施
- ・ 公園花壇を管理する新たな緑化団体が創設された。
- ・ フラワーコンテナ設置による、本通り商店街の緑化活動への意識向上
- ・ 八日町・下仲町ポケットパークを中心に親水施設の設置や魚放流等の企画により、まちなかの回遊性を創出
- ・ 様々な緑化活動により、市民を巻きこみながら、緑化意識の向上を図った。

### ◆ 前年度からの改善点

- ・ 新たな場所でのWS開催
- ・ フラワーコンテナ設置に係る小中学校へのアンケートの実施（実施時期等）
- ・ ポケットパークにおける新たな試み（七夕、風鈴、小学生による植栽）



八日町ポケットパーク親水施設



ワークショップ



下仲町ポケットパーク(魚の放流)

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	88				
担当課	建設水道部	建設課	維持管理係			事務事業No.	18241				
事務事業名	雪害対策事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	8	項	2	目	4	決算書	203	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	99		頁		
個別計画	施策目標 【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
	施策項目 ⑦安全で快適な道路整備・維持管理										

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道（幹線道路、歩道を含む生活道路）の除排雪及び凍結防止剤散布</li> <li>除排雪及び凍結防止剤散布による安全・安心な交通確保</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道866kmの内除雪延長424km（大町地区326km 美麻地区48km 八坂地区50km）</li> <li>市道・国道の歩道除雪延長47km（大町地区 43km 美麻地区 4km）</li> <li>除雪委託業者69者（業者45社 自治会24者）</li> <li>業者等への貸与する除雪機械の購入（除雪ドーザ11t級1台） （除雪ドーザ8t級1台 R4線越） （除雪ドーザ5t級1台）</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		506,475,833 円		220,288,479 円		318,489,785 円	
	財源内訳	特定財源	34,399,000 円		15,035,000 円		58,962,000 円	
一般財源		472,076,833 円		205,253,479 円		259,527,785 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額		計	支出済額	翌年度繰越額
	156,694,000	119,587,000	42,760,000			319,041,000	318,489,785	0
	不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金（除雪）	社会資本整備総合交付金（除雪機械）	繰越明許費デジタル田園都市国家構想	繰越明許費社会資本整備総合交付金（除雪機械）	
	551,215		金額	24,731,000	11,050,000	14,675,000	8,506,000	

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動および成果

除排雪及び凍結防止剤散布委託料等調

項目	地区	R03	R04	R05
業者数	大町	57	57	57
	美麻	9	8	8
	八坂	4	4	4
	計	70	69	69
	前年対比	1.45%	-1.43%	0.00%
除雪延長 (km)	大町	368.5	368.5	368.5
	美麻	51.7	51.7	51.7
	八坂	50.1	50.1	50.1
	計	470.3	470.3	470.3
	前年対比	0.00%	0.00%	0.00%
委託料 (千円)	大町	364,571	156,277	183,712
	美麻	92,904	39,771	44,607
	八坂	10,851	5,044	8,283
	計	468,326	201,092	236,602
	前年対比	99.46%	-57.06%	17.66%

除雪機貸与台数（事業者・自治会）

除雪ドーザ/ロータリー	ロータリー除雪車（大）	ロータリー除雪車（小）	ハンドガイド式ロータリー除雪車	凍結防止剤散布車
28	2	2	29	2

### ◆ 前年度からの改善点

- 除雪機械の増強：除雪ドーザ 8t級1台増（R4線越 社資本 防災・安全(雪寒)交付金事業）  
除雪ドーザ11t級1台増（社資本 防災・安全(雪寒)交付金事業）  
除雪ドーザ 5t級1台増（市町村合併特例交付金事業）

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	89				
担当課	建設水道部	建設課	維持管理係			事務事業No.	18431				
事務事業名	公園管理事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	8	項	4	目	3	決算書	207	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	79		頁	
	施策目標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備									
	施策項目	⑥潤いのある公園・緑地の整備促進									
個別計画	大町市公園施設長寿命化計画									頁	
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内公園のうち12公園の維持管理 都市公園 6箇所：大町公園、西公園、高瀬溪谷緑地公園、大町文化公園、駅前広場公園、やしろ公園 その他公園6箇所：青島公園、木崎湖園地、市民の森、八日町P.P、五日町P.P、山下P.P</li> <li>公園利用者に利便や快適性を与え、安全に公園を利用していただくための適切な維持管理</li> <li>市民が安心して使用ができ、やすらぎと潤い（憩い）をあたえる公園づくり</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設長寿命化計画に基づく、遊具、建物等の計画的な更新</li> <li>有資格者による遊具の点検、巡回パトロールによる日常点検、植栽帯等の施設の維持管理の実施</li> <li>市民ボランティア団体との協働による美化活動等の推進</li> <li>防犯カメラ等を利用した防犯対策の強化</li> </ul>										

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		27,818,768	円	30,531,553	円	49,410,716	円
財源内訳	特定財源		円		円	16,220,816	円
	一般財源	27,818,768	円	30,531,553	円	33,189,900	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	45,038,000	0	22,000,000	1,610,000	68,648,000	49,410,716	15,000,000
	不用額	特定財源	細節名	繰越明許費都市公園安全・安心対策	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金	公園使用料他	
4,237,284	金額	8,000,000	8,000,000	220,816			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動							
○ 公園遊具、建物等の施設の維持修繕							
・文化公園ほか6公園のベンチほか38施設の修繕							
○ 公園遊具の定期点検							
・年1回：有資格者による点検の実施、月1回：職員による点検の実施							
○ 公園植栽帯の管理							
・4月から11月まで8公園について、造園業者に植栽帯の管理委託							
・他の公園については、職員による直営作業又は手数料等により対応							
◆ 事業の成果							
○ 大町市公園施設長寿命化計画の策定(R5.10月)、大町市都市公園台帳の作成の実施							
○ 老朽化し破損した公園遊具、建物等の38施設について修繕工事を実施し、健全で安全な施設となった。							
○ 駅前広場公園においては、コロナ禍の終息に伴い公園を使用した催しや、キッチンカー等の利用により、今後も市民が公園に足を運び利用する機会が多くなると見込まれる。							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	90				
担 当 課	建設水道部	建設課	建設係			事務事業No.	18221				
事 務 事 業 名	道路維持管理事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	8	項	2	目	2	決算書	199	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		80	頁		
施 策 目 標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
施 策 項 目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理										
個 別 計 画	「舗装長寿命化修繕計画」、「橋梁長寿命化修繕計画」、「トンネル等長寿命化修繕計画」									頁	

**対象と目的**

幹線道路及び生活道路（総延長約866km）の安全で快適な移動の確保と防災・減災機能の維持、及び舗装、道路施設等の延命化を図る。

**主な実施内容**

幹線道路については、「舗装長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を実施。また、比較的交通量の少ない生活道路については、日常点検や地域要望等を踏まえ、道路施設（路面排水施設等）を含め緊急度等に応じ修繕を実施。  
橋梁やトンネル等の重要構造物については、「橋梁・トンネル等長寿命化修繕計画」に基づき計画的に延命予防補修を実施するとともに、5年サイクルの全箇所点検（橋梁332、トンネル等6）及び長寿命化計画の見直しを実施。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）			197,618,770 円	247,554,800 円	215,784,148 円	
財源内訳	特定財源			116,731,875 円	115,417,341 円	125,317,881 円	
	一般財源			80,886,895 円	132,137,459 円	90,466,267 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	212,910,000	17,940,000	45,000,000	0	275,850,000	215,784,148	53,105,000
	不用額	特定財源	細節名	道路メンテナンス事業補助金（繰越分含む）	過疎対策事業債	道路使用料ほか	北アルプス山麓仁科の里基金繰入金
	6,960,852		金額	32,401,000	40,385,000	22,531,881	30,000,000

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

- 舗装修繕工事（幹線道路）  
木崎野口泉線（白塩町）ほか3路線 L=1,098m
- 橋梁修繕事業（重要構造物）  
K-30-1橋（清水）ほか1橋 予防補修工事 1式  
・ 令和4年度からの繰越路線  
片岡2号橋（片岡）ほか5橋 予防補修設計 1式  
中湖橋（中綱）ほか50橋 法定点検 1式  
・ 令和6年度への繰越路線  
片岡2号橋（片岡）ほか2橋 予防補修工事 1式  
トンネル法定点検及び長寿命化修繕計画見直し 1式
- 舗装及び道路施設小規模修繕  
N=96箇所

◆ 事業の成果

木崎野口泉線舗装修繕工事



施工前



施工後

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	91				
担 当 課	建設水道部	建設課	建設係			事務事業No.	18222				
事 務 事 業 名	交通安全施設整備事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	8	項	2	目	2	決算書	201	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	80		頁		
施 策 目 標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
施 策 項 目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理										
個 別 計 画	「大田市通学路交通安全プログラム」									頁	

**対象と目的**

幹線道路、生活道路（主に通学路）の安心・安全な歩行者・自転車通行空間の確保。

**主な実施内容**

通学路については、大田市通学路安全推進会議（教育委員会、小学校、警察、道路管理者）による合同点検及び「大田市通学路交通安全プログラム」の見直し（年1回）を踏まえ、計画的に歩道整備を推進するとともに、ガードボストの設置やグリーンベルト・路面標示の再塗装、危険なブロック塀の撤去補助等の交通安全施設整備を実施。  
その他の路線については、日常点検や地域要望等を踏まえ、緊急度等に応じ各種交通安全施設整備を実施。

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		総事業費（決算額）		43,040,988	円	22,671,871	円	62,368,449
財源内訳		特定財源	25,000,000	円		円	46,500,000	円
		一般財源	18,040,988	円	22,671,871	円	15,868,449	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	57,149,000	-24,050,000	38,000,000	0	71,099,000	62,368,449	0	
	不用額	特定財源	細節名	過疎対策事業債	北アルプス基金繰入金			
8,730,551		金額	26,500,000	20,000,000				

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 なし

◆ 施策目標に資する活動

○交通安全施設整備

神栄町三日町線（神栄町）歩車道境界ブロック修繕 L=199m  
市内一円 区画線更新 L=6,440m

・令和4年度からの繰越事業

市内一円 区画線更新 L=7,900m  
佐野坂トンネル（青木）トンネル照明更新 1式

○横断歩道待場新設工事

沓掛柿ノ木線（泉）1式

○交通安全施設修繕

N=40箇所

◆ 事業の成果

佐野坂トンネル照明更新工事



施工前



施工後

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	92				
担 当 課	建設水道部	建設課	建設係			事務事業No.	18232				
事 務 事 業 名	道路新設改良事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	8	項	2	目	3	決算書	203	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				後期計画掲載頁		80		頁	
施 策 目 標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
施 策 項 目	⑦安全で快適な道路整備・維持管理										
個 別 計 画	「大町市狭あい道路整備促進計画」									頁	

**対象と目的**  
幹線道路・生活道路の安全で快適な移動の確保と防災・減災機能の向上、及び円滑な道路ネットワークの構築する。

**主な実施内容**  
「大町市狭あい道路整備促進計画」及び日常点検、地域要望等を踏まえ、計画的に道路拡幅改良事業を実施する。

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		総事業費（決算額）		36,572,902	円	64,272,706	円	30,072,317
財源内訳		特定財源	29,300,000	円	32,706,000	円	20,859,000	円
		一般財源	7,272,902	円	31,566,706	円	9,213,317	円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	64,009,000	-26,300,000	0	0	37,709,000	30,072,317	3,500,000
	不用額	特定財源	細節名	過疎対策事業債			
4,136,683		金額	20,859,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

なし

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ○道路改良工事

源汲1号線（源汲） W=5.0m L=42m  
上-25号線（上-） W=5.0m L=89m  
高根4号線（高根） W=4.0m L=50m

#### ○部分改良工事

須沼南線（須沼） 交差点改良  
神明原閨田線（下-） 路肩改良  
不二塚2号線（不二塚） 隅切改良  
六日町野口線（北原町） 隅切改良

### ◆ 事業の成果

#### 源汲1号線道路改良工事



施工前



施工後

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	93				
担 当 課	建設水道部	建設課	建設係			事務事業No.	184310				
事 務 事 業 名	仁科三湖周辺整備事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	8	項	4	目	3	決算書	207	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	78			頁	
施 策 目 標	【2】暮らしやすい都市基盤の整備										
施 策 項 目	②魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進										
個 別 計 画											

**対象と目的**  
 木崎湖周遊ルート整備構想及び地域要望に基づき、木崎湖北端の農地沿線の道路拡幅と休憩スポット整備により、観光的利活用の推進とともに営農及び生活道路の安全性の向上を図る。

**主な実施内容**

- 道路拡幅改良事業 市道東西海ノ口下線 W=3.0m (待避所W=4.0m) L=516m
- 休憩スポット整備事業 市道東西海ノ口下線沿線 1箇所 A=900㎡

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費(決算額)		8,315,680 円		10,879,000 円		19,756,000 円	
	財源内訳	特定財源			10,800,000 円		19,756,000 円	
一般財源		8,315,680 円		79,000 円		0 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	22,000,000	0	0	-1,610,000	20,390,000	19,756,000	0	
	不用額	特定財源	細節名	過疎対策事業債				
	634,000		金額	19,756,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

なし

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ○道路拡幅改良工事

東西海ノ口下線(海ノ口) W=3.0m L=170m

### ◆ 事業の成果

#### 東西海ノ口下線道路拡幅改良工事



施工前



施工後

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	94				
担 当 課	建設水道部	建設課	農地整備係			事務事業No.	16213				
事 務 事 業 名	農業用施設管理事業					実施方法	委託				
会 計	一般会計		款	6	項	2	目	1	決算書	177	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画登載頁	75		頁	
	施 策 目 標	【1】自然と共生した環境の創造									
	施 策 項 目	①自然環境の保全と共生									
個 別 計 画										頁	
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に整備された農地においては、ほ場整備以降30年以上が経過しており、農業施設、用排水路施設や暗渠排水機能など老朽化が進み、維持管理に苦慮している。経年劣化等により老朽化する農業用施設等を、県営事業や交付金事業等を活用し水路等の改修やほ場整備を行い、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用施設工事 12箇所</li> <li>緊急修繕工事 8箇所</li> <li>県営上原地区ほ場整備事業・・・負担金事業（全体事業費10億円 負担割合：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5%）</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		129,946,145 円		63,237,405 円		96,165,915 円	
	財源内訳	特定財源	93,570,589 円		45,886,000 円		71,337,100 円	
一般財源		36,375,556 円		17,351,405 円		24,828,815 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	96,380,000	-2,624,000	28,600,000		122,356,000	96,165,915	24,000,000	
	不用額	特定財源	細節名	金額	土地改良事業負担金	農業農村整備事業補助金（繰越明許費含む）	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金	農業施設改良事業債（繰越明許費含む）
	2,190,085		金額	20,522,100	19,915,000	10,000,000	20,900,000	

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

なし

### ◆ 施策目標に資する活動

#### ○ 農業用施設改修工事

第5次総合計画の中の、環境に配慮した工業用水や農業用水等の確保・支援として、自治会、農家組合、土地改良区などの要望及び降雨等の自然災害の影響により被害を受けた農業施設の改修工事を実施。

<着工前>



<しゅん工>



### ◆ 事業の成果

○ 県営事業により、上原地区でのほ場田再編事業に取り組み、第5次総合計画記載の農地・施設の機能保全及び基盤整備事業を促進した。

○ 老朽化した農業用水路網の効率的な維持保全として、農業用施設改修工事や緊急修繕工事といった老朽化水路の改修要望、自然災害に伴う緊急修繕に対応した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 95				
担 当 課	建設水道部	建設課	農地整備係			事務事業No.	18311				
事 務 事 業 名	水路維持改良事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	8	項	3	目	1	決算書	203	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画掲載頁		73	頁		
	施策目標	【4】市民生活の安全の確保									
	施策項目	②災害に強いまちづくりの推進									
個別計画										頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検や地域要望に基づき、水路に起因する漏水・溢水被害を防止し宅地や農地を守るため、老朽化した水路等の更新や改修を行う。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が管理する河川および市街地における水路の改修・修繕工事を実施。  水路改良工事 4箇所  水路修繕工事 18箇所</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		20,209,614 円		20,449,100 円		16,797,910 円	
	財源内訳	特定財源	4,000,000 円				10,000,000 円	
一般財源		16,209,614 円		20,449,100 円		6,797,910 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	19,760,000	0	0		19,760,000	16,797,910		
	不用額	特定財源	細節名	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金				
2,962,090		金額	10,000,000					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

◆ 施策目標に資する活動

○水路改良工事実施 <白塩町 町川支流> 児童通学路安全対策、冬季水路詰まり脱輪解消 <着工前> <しゅん工>




◆ 事業の成果

○水路改良工事（4箇所実施）

第5次総合計画の災害に強いまちづくりの推進及び生活道路の整備や安全の確保として、道路に付随する側溝の更新を実施し、浸水被害の低減・解消が図られた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続					
						No.	96					
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係			事務事業No.	18443					
事務事業名	住宅・建築物耐震化推進事業					実施方法	その他					
会計	一般会計			款	8	項	4	目	4	決算書	209	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち					後期計画掲載頁	73		頁			
施策目標	【4】市民生活の安全の確保											
施策項目	②災害に強いまちづくりの推進											
個別計画	大田市耐震改修促進計画										頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和56年以前に建設された住宅・建築物の耐震診断</li> <li>・所有者が行う耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。</li> <li>・耐震化することにより、市民の生命及び財産を守る。</li> <li>・耐震化することにより、震災による被害を最小限にする。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅耐震診断 昭和56年以前に建設した木造在来工法の住宅の耐震診断 所有者負担なし 診断件数 23件</li> <li>・住宅耐震改修 診断の結果、耐震改修が必要と判断された住宅の耐震補強工事又は除却工事への補助 耐震補強補助件数 2件、除却補助件数 7件</li> <li>・ブロック塀等撤去 避難路等に面する危険なブロック塀等の撤去工事への補助 撤去補助件数 3件</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		7,300,000 円		5,692,000 円		9,134,000 円	
	財源内訳	特定財源	5,475,000 円		4,041,750 円		6,767,750 円	
一般財源		1,825,000 円		1,650,250 円		2,366,250 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	9,504,000	-276,000	0	-90,000	9,138,000	9,134,000	0	
	不用額	特定財源	細節名	住宅・建築物耐震改修等事業補助金	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金			
4,000		金額	4,566,000	2,201,750				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 なし

### ◆ 施策目標に資する活動

- 市ホームページ、広報紙（4月号）による補助事業案内
- 広報紙（8月号）によるブロック塀などの安全点検案内
- 耐震事業制度案内チラシ 窓口配布
- 耐震事業制度案内通知 固定資産税納入通知書に同封（10,000件）
- ブロック塀の安全点検及び戸別訪問
- 耐震診断結果の報告時に補助金制度の説明を実施
- 2023 市民ふれあい広場における住宅耐震診断申込窓口の開設



### ◆ 事業の成果

項目 \ 年度	H16~26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	合計
住宅耐震診断	204	15	6	9	20	18	17	20	15	23	347
住宅耐震改修	33	3	2	2	5	7	4	6	4	9	75
ブロック塀等撤去									7	3	10

- 令和5年度より耐震改修補助事業に追加された「除却補助」によって住宅耐震改修の件数が増加した。

# 主要な施策の成果説明書

				前年度評価	継続
				No.	97
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	事務事業No.	18449
事務事業名	ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業			実施方法	補助金
会計	一般会計		款 8 項 4	目 4	決算書 209 頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			後期計画掲載頁	84 頁
総合計画	施策目標 【3】 快適な生活環境の形成				
個別計画	施策項目 ④住宅環境の向上				
対象と目的	<p>持続可能な地域内循環に寄与する脱炭素社会の実現及び健康で快適かつ災害に強い住まいづくりを目指し、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減を図るため、市民が市内の建設事業者等に依頼して行う「ゼロカーボン推進工事」及び「防災減災外構工事」に要する費用に対し、補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅のゼロカーボン推進を図るリフォーム工事を支援することで、家庭部門における二酸化炭素排出量の削減を図る。</li> <li>住宅の防災減災につながる外構工事を支援することで、災害に強い住まいづくりを目指す。</li> <li>住宅の性能向上等を図るリフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化に寄与する。</li> </ul>				
主な実施内容	<p>「ゼロカーボン推進工事」（省エネルギー型、環境負荷低減型、防災型）、及び「防災減災外構工事」を、市内の建設事業者等に依頼して行う場合、その経費の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロカーボン推進工事 補助率：20%、限度額：200千円（居住誘導区域内は300千円）</li> <li>防災減災外構工事 補助率：20%、限度額：200千円（居住誘導区域内は300千円）</li> </ul> <p>※補助金最大合計額：400千円（居住誘導区域内は600千円）</p>				

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		円	円	30,036,000 円		
	財源内訳	特定財源	円	円	3,134,000 円		
一般財源		0 円	0 円	26,902,000 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	25,000,000	5,000,000	0	90,000	30,090,000	30,036,000	0
	不用額	特定財源	細節名	物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金			
	54,000		金額	3,134,000			

事業の実績・成果		前年度からの改善点等	なし
----------	--	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

○ 市ホームページ、広報紙（4月号）による補助事業案内

## ◆ 事業の成果

支援事業	年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日
	安心・安全リフォーム住宅	R2	167 件	28,629 千円	171,431 円	198,391,301 円	1,187,971 円	6.93 倍
R3		137 件	24,770 千円	180,802 円	176,685,087 円	1,289,672 円	7.13 倍	通年
R4		150 件	24,949 千円	166,326 円	173,056,860 円	1,153,712 円	6.94 倍	R4.2.10
計		454 件	78,348 千円	172,572 円	548,133,248 円	1,207,341 円	7.00 倍	
ゼロカーボン住宅推進リフォーム住宅	年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日
	R5	153 件	30,036 千円	196,313 円	199,144,844 円	1,301,600 円	6.63 倍	R5.11.1
	計	153 件	30,036 千円	196,313 円	199,144,844 円	1,301,600 円	6.63 倍	

## ○ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業類型別状況

種別	主たる工事内容	安心・安全リフォーム(R2~R4)		ゼロカーボン住宅推進リフォーム			
		合計	割合(%)	R5	割合(%)		
省エネ型	断熱材の敷設・葺替え・塗装による断熱化・窓・ガラスの断熱化	186	41.0	86.8	71	46.4	89.5
	高効率給湯器・高断熱浴槽の設置	151	33.3		46	30.1	
	節水型洋式トイレ・まきストーブ・ソー発電・暖房ボイラーの設置	57	12.5		20	13.0	
防災型	壁・柱・基礎等の補強工事	1	0.2	1.5	0	0.0	0.0
	屋根の葺き替え（防災瓦・軽量化）、防火・落雪防止対策	6	1.3		0	0.0	
環境負荷低減型	下水道接続及び下水道接続に伴う設備改修工事	42	9.3	10.8	9	5.9	6.5
	合併浄化槽設置に伴う水洗化及び機械設備改修工事	7	1.5		1	0.7	
防災減災外構工事		4	0.9	0.9	6	3.9	3.9
計		454	100.0	100.0	153	100.0	100.0

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	98				
担 当 課	建設水道部	建設課	建築住宅係			事務事業No.	18512				
事 務 事 業 名	住宅管理費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	8	項	5	目	1	決算書	211	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	84			頁	
施 策 目 標	【3】快適な生活環境の形成										
施 策 項 目	④住宅環境の向上										
個 別 計 画	大町市営住宅等整備計画									頁	

対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅 住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する。</li> <li>雇用促進住宅 勤労者に住宅を賃貸する。</li> <li>生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。</li> <li>勤労者の生活及び就業の安定を図る。</li> <li>適切な維持管理を行う。</li> <li>市営住宅等整備計画に基づく住宅の整理統合、施設改修等を計画的に実施する。</li> </ul>
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途廃止団地（大原2号、借馬団地）における入居者移転事務</li> <li>中原団地等改修工事（中原団地5棟10戸及び借馬団地1棟1戸における設備改修）</li> <li>譲渡予定の戸建て住宅に関する入居者への意向調査</li> <li>新設団地用地協議</li> </ul>

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		100,559,915 円	68,925,168 円	109,608,237 円		
	財源 内訳	特定財源	100,559,915 円	68,925,168 円	109,608,237 円		
一般財源		0 円	0 円	0 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	69,490,000	-8,385,000	50,000,000	-16,972	111,088,028	109,608,237	0
	不用額	特定財源	細節名	金額	社会資本整備総合交付金（繰越明許費含む）	公営住宅整備事業債（繰越明許費含む）	市営住宅使用料ほか
1,479,791		金額	31,744,000	42,000,000	35,864,237		

事業の実績・成果											前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動												
○ 用途廃止に向けての入居者移転等状況												
団地名	管理戸数	廃止戸数	用途廃止予定年度	移転等戸数							R4末入居戸数	R4末入居率
				H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5		
大原2号	90戸	90戸	令和4年度	15戸	3戸	13戸	7戸	21戸	4戸	0戸	4戸	4.44%
借馬	180戸	109戸	令和7年度	6戸	3戸	20戸	12戸	7戸	7戸	6戸	41戸	37.61%
○ 住宅性能向上への取組み（リフォーム工事）												
工事名 中原団地等改修工事												
施工団地 中原団地 5棟 10戸(3DK 8戸、2DKY 2戸)												
借馬団地 1棟 1戸(5DK)												
施工内容 ユニッバス、ガス給湯器、換気扇、洗面化粧台、手すり等の設置												
工事費 24,662,000円												
  												
<p>ユニットバス</p> <p>洗面化粧台</p> <p>換気扇</p>												
○ 雇用促進住宅の入居状況												
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
入居戸数	46戸	46戸	51戸	63戸	67戸	69戸	73戸	75戸	72戸	76戸	78戸	75戸
入居率	57.5%	57.5%	63.8%	78.8%	83.8%	86.3%	91.3%	93.8%	90.0%	95.0%	97.5%	93.8%
※管理戸数80戸												
◆ 前年度からの改善点												

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	99				
担 当 課	建設水道部	上下水道課	温泉係			事務事業No.	17141				
事 務 事 業 名	温泉供給事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	7	項	1	目	4	決算書	194	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁	76			頁	
施 策 目 標	【1】自然と共生した環境の創造										
施 策 項 目	③安定した温泉の供給										
個 別 計 画											

対象と目的	温泉利用者が、将来にわたって常時安心して利用できる安定供給体制の維持と事業運営の継続による重要な資源である温泉を有効活用し、市の観光振興と市民福祉の向上を目的としている。
主な実施内容	温泉の安定供給を維持するため、施設の適切な管理を行うとともに、老朽化施設の計画的な更新。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		38,634,481 円	52,337,319 円	60,619,422 円		
	財源内訳	特定財源	36,912,600 円	50,995,250 円	59,449,950 円		
一般財源		1,721,881 円	1,342,069 円	1,169,472 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	63,643,000	-2,300,000	0	0	61,343,000	60,619,422	0
	不用額	特定財源	細節名	温泉配湯管整備事業債	引湯管等貸付収入	温泉利用料	
	723,578		金額	38,600,000	2,903,400	17,946,550	

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
<p>利用者に安定して温泉を供給するため、施設の日常点検を通じて施設の状況を把握し、必要に応じて修繕を実施するとともに、施設の計画的な更新に努めた。</p>							
① 施設の維持管理							
・ 施設の日常点検	年間240日						
・ 電気計装設備点検	年1回						
② 温泉供給の安定化							
・ 温泉郷配湯管の更新	L=163.2m						
・ 流量管理ボックス修繕工事	2件						
		配湯管布設替工事			配湯管布設替工事		
		流量管理ボックス修繕工事			流量管理ボックス修繕工事		
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>上原温泉供給量 契約口数28口 42ℓ/分</li> <li>高瀬分譲地温泉供給量 契約口数101口 151.5ℓ/分</li> <li>温泉郷配湯管更新率 91.6%</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>配湯管更新による漏湯の減少。</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	105				
担 当 課	建設水道部	上下水道課	下水道施設係			事務事業No.	14216				
事 務 事 業 名	合併処理浄化槽設置推進事業					実施方法	補助金				
会 計	一般会計		款	4	項	2	目	1	決算書	152	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					後期計画掲載頁		84	頁		
	施策目標 【3】 快適な生活環境の形成										
	施策項目 ⑤下水道の整備と水洗化の促進										
個別計画	大町市生活排水処理基本計画（第2期）										

対象と目的	個別処理区域（下水道処理区域外）における市民及び事業所を対象に、浄化槽の設置及び管理に関わる経費の補助を行い、水洗化による生活環境の改善及び快適性維持や公共用水域の水質保全を目的としている。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽設置事業補助金交付</li> <li>・浄化槽管理事業補助金交付</li> </ul>										

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		63,541,501	円	50,586,076	円	51,283,927	円
財源内訳	特定財源	9,633,000	円	9,353,000	円	9,998,000	円
	一般財源	53,908,501	円	41,233,076	円	41,285,927	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	64,875,000	-13,500,000	0	0	51,375,000	51,283,927	0
	不用額	特定財源	細節名	合併処理浄化槽整備事業補助金（県補助金）	浄化槽管理組合事務費負担金	ふるさと応援基金繰入金	
91,073		金額	3,474,000	1,524,000	5,000,000		

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 なし

### ◆ 施策目標に資する活動

○健全な下水道事業の推進施策  
浄化槽設置・管理基数

	H31	R2	R3	R4	R5
浄化槽設置事業	33基	32基	36基	21基	20基
浄化槽管理事業	1,655基	1,676基	1,694基	1,709基	1,704基

○水洗化の促進施策  
浄化槽整備率

	H31	R2	R3	R4	R5
計画人口	6,833人	6,731人	6,633人	6,469人	6,211人
供用開始人口	5,298人	5,290人	5,255人	5,129人	4,822人
整備率	77.54%	78.59%	79.23%	79.29%	77.63%

浄化槽法定検査

	H31	R2	R3	R4	R5
受検数	2,545基	2,577基	2,620基	2,658基	2,699基
受検率	82.0%	82.8%	83.6%	84.8%	86.6%

○浄化槽補助事業実施状況（10人槽）



### ◆ 事業の成果

- ・浄化槽設置補助事業  
年間における設置基数については年20基程度で推移しており、物価高騰、人口減少などの世相を背景に、世代交代、転入者などによる新築需要が伸び悩んでいる。
- ・浄化槽管理基数  
高齢化世帯の増加に伴い浄化槽を休止する世帯が増え、管理基数が減少傾向にある。
- ・浄化槽法定検査受検率の向上  
H29年度以前は3割程度の受検率であったが、県や県浄化槽協会が検査体制を強化したことから、8割以上の受検率となり、県平均を上回っている。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	継続 106				
担 当 課	教育委員会	学校教育課	庶務係			事務事業No.	110127				
事 務 事 業 名	奨学金事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	221	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		42	頁		
施 策 目 標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
施 策 項 目	⑥教育環境の整備										
個 別 計 画											

**対象と目的**  
高等学校や大学等に在学する者で、成績が優秀であるにもかかわらず経済的な理由によって就学が困難な者を対象に就学の機会の確保及び経済的な支援を行う。

**主な実施内容**

- ・貸与額：高等学校等 月15,000円以内、大学等 月30,000円以内
- ・貸与期間：学校における正規の就学期間以内
- ・利息：無利息
- ・償還期間：卒業6か月後から、貸与期間の2倍の期間内。なお、特別奨学金貸与者は貸与を受けた期間の倍の期間継続して市内に居住した場合は償還免除

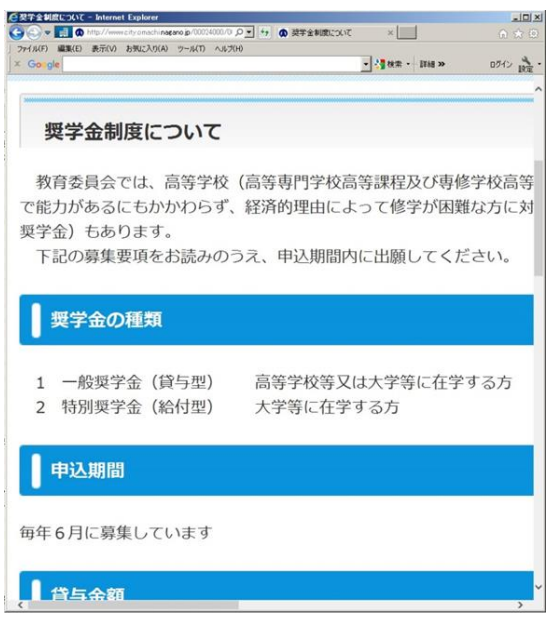
事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	総事業費（決算額）			1,440,000 円	720,000 円	240,000 円
財源内訳	特定財源			880,000 円	240,000 円	240,000 円
	一般財源			560,000 円	480,000 円	0 円

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
		1,800,000	-1,560,000	0	0	240,000	240,000
不用額	0	特定財源	奨学金貸付金償還金				
		金額	240,000				

事業の実績・成果 前年度からの改善点等 なし

- ◆ 施策目標に資する活動
  - 情報提供
    - ① 市広報紙
      - ・ 毎年6月号に掲載
    - ② 市ホームページ
      - ・ 常設
    - ③ ぐらしのガイドブック掲載
      - ・ 市ホームページ常設
- ◆ 事業の成果
  - 令和5年度奨学金利用状況
    - ① 新規貸付現況
      - ・ 一般奨学金（貸与型）：0件
    - ② 継続貸付現況
      - ・ 一般奨学金（貸与型）：1件（4年目）
    - ③ 償還現況
      - ・ 償還件数：3件



# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	107				
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係			事務事業No.	1101210				
事務事業名	コミュニティ・スクール推進事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	223	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	41		頁	
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	⑤地域とともにある学校づくり									
個別計画											
対象と目的	「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の創り手となる大町市の子供たちのために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、互いに連携・協働のもとに学校づくり・地域づくりを進め、一体となって子供たちの成長を支えていく取組の充実を目指すものとする。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営に関して、保護者及地域住民等が学校に参画することによる学校教育の充実を図れるよう、年3回程度、学校運営協議会を開催</li> <li>・学校支援コーディネーターの配置</li> <li>・ // 会議における研修と情報共有</li> <li>・コミュニティスクール通信による情報発信</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		1,795,103 円	1,954,761 円	1,664,184 円		
	財源内訳	特定財源	円	円	円		
一般財源		1,795,103 円	1,954,761 円	1,664,184 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,195,000	0	0	0	2,195,000	1,664,184	0
	不用額	特定財源	細節名				
	530,816		金額				

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○学校運営協議会</p> <p>大町東小学校 4回（5月11日、7月21日、12月19日、2月27日）</p> <p>大町西小学校 3回（5月25日、12月18日、2月27日）</p> <p>大町南小学校 4回（5月18日、9月7日、12月14日、2月15日）</p> <p>大町北小学校 4回（5月10日、10月27日、12月20日、2月7日）</p> <p>大町中学校 4回（5月30日、9月12日、12月14日、2月29日）</p> <p>八坂小・中学校 4回（5月16日、9月20日、12月15日、3月11日）</p> <p>美麻小中学校 3回（4月21日、12月15日、2月16日）</p> <p>○学校支援コーディネーター活動報償算定時間</p> <p>総活動時間合計：約561時間</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>地域住民の授業や行事等への参画や支援を受け、地域に開かれた特色ある学校運営が図られた。</p> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>令和5年4月に学校再編により、第一中学校と仁科台中学校を大町中学校に統合、八坂小学校・八坂中学校を施設分離型の義務教育学校として開校。</p>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	108				
担 当 課	教育委員会	学校教育課	学校教育係			事務事業No.	1101211				
事 務 事 業 名	ICT活用推進事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	223	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	41		頁	
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	②時代の変化に対応した教育の推進									
個別計画											
対象と目的	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など、教育の資質を向上させるため「GIGAスクール構想」の推進を図り、児童生徒が、情報化社会の進展に対応できるよう情報環境の整備を図り、学校教育において基礎的な情報活用能力の育成を図るとともに、情報モラルの徹底を図る。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育研究委員会におけるICTを活用した授業研究や意見交換等</li> <li>・ICTを活用した授業を円滑に進めるためのICT支援員の配置</li> <li>・デジタル教科書の活用</li> <li>・クラウドを活用したAI型ドリル学習等の実施</li> <li>・ICT機器を使った学習支援ソフトの活用</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		総事業費（決算額）		5,719,921	円	23,449,012	円	23,995,028
財源内訳	特定財源		1,414,000	円	2,924,000	円	3,904,000	円
	一般財源		4,305,921	円	20,525,012	円	20,091,028	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	25,218,000	0	0	0	25,218,000	23,995,028	0	
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金				
1,222,972		金額	3,904,000					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT活用支援員による授業支援（2人、1,510時間） （国が定めているICT支援員の配置基準は4校に1人）</li> <li>○ デジタル教科書を用いたICT教育の実践</li> <li>○ 情報教育研究委員会（研究会：4回開催）</li> <li>○ 小学校 高学年では授業においてデジタル教科書・デジタルドリルを利用した学習や児童会活動への活用</li> <li>○ 中学校 授業や生徒会活動において積極的にICT機器を活用</li> </ul>							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査の実施において、中学校英語「話すこと」調査及び生徒質問紙調査をオンラインで実施した。</li> <li>○ 学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業の活用 （英語・算数・数学のデジタル教科書）</li> <li>○ 学校より要望のある教師用デジタル教科書の導入 （算数・音楽・国語・数学・理科）</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
令和5年4月に学校再編により、第一中学校と仁科台中学校を大町中学校に統合、八坂小学校・八坂中学校を施設分離型の義務教育学校として開校した。							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	継続 109				
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係			事務事業No.	110221				
事務事業名	小学校教育振興一般経費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	2	目	2	決算書	225	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				後期計画掲載頁		40		頁	
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	①基礎的な学力・体力の向上									
個別計画										頁	

対象と目的	小学校の教育教材の整備や学校図書の実充、児童の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある児童への支援体制の確立、さらに不登校等の悩みを抱える児童への支援など豊かな心と健やかな体を育む教育を推進するため、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。										
主な実施内容	学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置、教育教材用品及び教育用情報機器の整備										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		79,112,854	円	64,019,319	円	65,249,568	円
	財源内訳	特定財源	417,000	円	1,430,000	円	4,482,000	円
一般財源		78,695,854	円	62,589,319	円	60,767,568	円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	55,542,000	12,440,000	0	0	67,982,000	65,249,568	0	
	不用額	特定財源 細節名 金額	理科教育設備費等補助金 309,000	学校教育寄付金 1,173,000	ふるさと応援基金繰入金 3,000,000			
	2,732,432							

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
◆ 施策目標に資する活動							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある障がい等様々な課題を抱えている児童の教育環境を確保し、学校生活を支える。</li> <li>○国際化社会に対応できる人を育てるため、ALTを派遣して英語活動を実施する。</li> <li>○知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積くことによって「生きる力」を育む。</li> </ul>							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>○理科設備整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大町東小学校：ビジュアルプレゼンター2組、放射温度計1組、胎児の大きさ体感モデル1組</li> <li>・大町西小学校：電子てんびん8組</li> <li>・大町南小学校：生物顕微鏡（長作動距離）3組</li> <li>・大町北小学校：理科実験観察撮影装置1組、生物顕微鏡1組、小学校おんさ1組</li> <li>・八坂小中学校（前期）：自動上皿天秤1組、デジタル生物顕微鏡2組</li> <li>・美麻小中学校（前期）：タッチパネルモニター付生物顕微鏡1組</li> </ul> </li> <li>○不登校児童数は27名であり 令和3年度から増加傾向。 小学校27名の内18名が新規であった。 指導の結果、児童数27名の内16名は登校するまたはできるようになった。</li> <li>○児童図書購入費 2,065,317円</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	110				
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係			事務事業No.	110321				
事務事業名	中学校教育振興一般経費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	3	目	2	決算書	229	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				後期計画掲載頁		41	頁		
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	④豊かな心と健やかな体を育む教育の推進									
個別計画										頁	

対象と目的	生徒の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある生徒への支援体制の確立、生徒の情報活用基礎能力の習得など時代の変化に対応した教育の推進、さらに不登校生徒の学校復帰に向けた指導援助等による豊かな心と健やかな体を育む教育を推進するため、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。										
主な実施内容	学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置、教育教材用品及び教育用情報機器の整備										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		54,568,416 円		39,366,833 円		25,488,099 円	
	財源内訳	特定財源	1,020,000 円		1,096,000 円		3,526,000 円	
一般財源		53,548,416 円		38,270,833 円		21,962,099 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	31,690,000	-2,500,000	0	-267,309	28,922,691	25,488,099	0	
	不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金	部活動指導員配置事業補助金	ふるさと応援基金繰入金		
3,434,592		金額	261,000	265,000	3,000,000			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

◆ 施策目標に資する活動	<p>○特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある中1ギャップなどによる不登校傾向の生徒をはじめ様々な課題を抱えている生徒達の教育環境を確保し、学校生活を支える。</p> <p>○OAL Tによるネイティブな外国語の授業より、国際化に対応した深い学びの実践。</p> <p>○知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積むことによって「生きる力」を育む。</p>										
◆ 事業の成果	<p>○理科設備備品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八坂小中学校（後期）：鉄製スタンド3組、てこ・振り子実験機2組、簡易検流計1組、光電池用ライト2組 演示用前線モデル実験器1組、電子てんびん1組</li> <li>・美麻小中学校（後期）：4Kモニター付顕微鏡1組</li> <li>・大町中学校：電磁誘導実験コイル2組、月と金星の運動と見え方モデル4組、滑車実験機4組、ミニ検流計1組</li> </ul> <p>○不登校生徒数は66名であり、令和3年度から増加傾向。 中学校66名の内24名が新規であった。 指導の結果、生徒数66名の内10名は登校するまたはできるようになった。</p> <p>○生徒図書購入費 1,310,323円</p>										

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	111				
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係			事務事業No.	110414				
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	1	決算書	233	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	46	頁		
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン						20	頁			

対象と目的	エネルギー博物館の安定した運営維持を図ることで、科学的思考を喚起する貴重な学び場の社会教育施設として、いつでも・どこでも・だれもが・なんでも、学べる環境を整え生涯学習の推進を図る。
主な実施内容	運営に関わる経常経費分と修繕工事等臨時的経費分の補助

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		13,615,000 円	12,721,841 円	14,000,000 円			
財源内訳	特定財源						
	一般財源	13,615,000 円	12,721,841 円	14,000,000 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	14,000,000	0	0		14,000,000	14,000,000	
	不用額	特定財源	細節名				
0		金額					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
<p>○大町エネルギー博物館は、近隣では珍しいエネルギーを中心とした博物館であり、展示・体験・解説などを通じて入館者の科学的思考を喚起する貴重な学びの場の社会教育施設である。いつでも・どこでも・だれもが・なんでも学べる機会の提供ができるよう運営費補助を行い、生涯学習の推進を図っている。</p> <p>&lt;参考&gt;                      エネルギー博物館の主な事業                      ・大町少年少女発明クラブ（16名・22回開催）                      ・大町市有線放送事業「設立50周年記念展」の開催                      ・講演会「重力を測る～バネばかりから超伝導重力計へ～」                      講師：東京大学地震研究所 今西祐一准教授</p>							
◆ 事業の成果							
<p>運営費補助により、エネルギーを通じた科学的な分野を学べる社会教育施設として安定した施設運営がされている。体験型展示の再開や、記念展・講演会を開催したことにより、入館者が前年比407人増の6,789人となった。</p>							
◆ 前年度からの改善点							
<p>コロナ感染症の5類移行を受け、利用制限していた下記活動ブースを再開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組木パズル等の体験型ブース</li> <li>薪バス「もくちゃん」の乗車体験</li> <li>プラネタリウム的一般上映（投影機の惑星用ランプのLED化）</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	112				
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係			事務事業No.	110415				
事務事業名	公民館分館整備助成事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	1	決算書	233	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45		頁	
	施策目標 【2】 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目 ④自由に学び成果を生かす学習環境の整備と連携態勢の構築										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン								20	頁	

**対象と目的**  
 地域の公民館や集会所の施設整備に対する補助を行うことにより、コミュニティ活動の拠点づくりの整備を図るとともに、地域活動等の活性化につなげる。

**主な実施内容**

- ・集会所の新築、全面改築、既設建物の購入（経費の1/3以内）【限度額あり】
- ・集会所の増築（10㎡以上）、部分改築、大規模修繕、消防法による指導がある改善（100万円以上の1/3以内）【限度額あり】
- ・集会所の排水設備工事（経費の1/3以内）【限度額あり】
- ・ふれあい広場など地域の施設整備（経費の1/3以内）【限度額あり】
- ・集会所の新築などに伴う敷地購入で融資を受けた額の利子補給（金額の上限、期間の上限あり）

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		586,000 円		1,095,000 円		7,988,000 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		円	
一般財源		586,000 円		1,095,000 円		7,988,000 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	2,405,000	5,841,000	0	0	8,246,000	7,988,000	0	
	不用額	特定財源	細節名					
			金額	258,000				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 **なし**

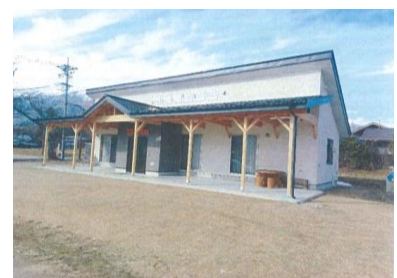
### ◆ 施策目標に資する活動

#### 【花見公民館新築工事】

- 桜田町公民館屋根・外壁塗装工事  
572千円
- 花見公民館新築工事  
5,840千円
- 中原町公民館トイレ改修・下水設備工事  
1,576千円



旧 花見公民館



新 花見公民館

### ◆ 事業の成果

自治会や地区の活動拠点となる施設が整備されることにより、地域の活動の継続・発展が見込まれる。



調理室（キッチン）



大広間

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	113				
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係			事務事業No.	110421				
事務事業名	補導・環境浄化活動事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	2	決算書	235	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	43	頁		
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン							24	頁		

対象と目的	教育委員会が委嘱した青少年補導委員による補導活動をとおり、青少年の健全育成を図るとともに「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成を図る。
主な実施内容	青少年の健全育成を図るため、街頭補導活動・環境浄化活動・PTAとの合同補導活動・店舗確認活動などを年間を通して実施する。

決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
総事業費（決算額）		2,888,308 円	1,851,642 円	793,864 円			
財源内訳	特定財源						
	一般財源	2,888,308 円	1,851,642 円	793,864 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	823,000	0	0	0	823,000	793,864	0
	不用額	特定財源	細節名				
29,136		金額					

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	なし
----------	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

- 補導委員数 68人
- 街頭補導活動等の実施
  - ・14班編成で約2時間の活動
  - ・実施回数56回
- その他の活動の実施
  - ・列車内のマナーアップ活動（信濃大町駅～穂高駅）
  - ・あいさつ運動（春・秋）
  - ・信州あいさつ運動（大町中学校）
  - ・夏休み中の街頭補導活動
- 青少年センターだより「わかくさ」の発行（年3回・各戸回覧）

青少年センターだより



## ◆ 事業の成果

班ごとによるきめ細やかな街頭補導や見守り等の活動を実施することにより、犯罪抑止の効果だけでなく、いつでも子ども達を地域全体で見守っているという思いが伝わることにより、安心・安全な地域づくりにつながった。また、巡回補導活動を通じて積極的に声かけ等を行うことで「地域の子どもは地域で育てる」という機運の醸成を図ることができた。



街頭補導（八坂小中学校）



街頭補導（王子神社）

## ◆ 前年度からの改善点

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	114				
担当課	教育委員会	生涯学習課	生涯学習・青少年係			事務事業No.	110422				
事務事業名	青少年育成事業					実施方法	補助金				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	2	決算書	235	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	43		頁	
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン								24	頁	

**対象と目的**

次代を担う子どもたちの健全育成活動を通して、地域全体で子どもたちを育てる意識の醸成を図る。

**主な実施内容**

大田市青少年育成市民会議の事務局として「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、市民運動として地域全体で子ども達を育む機運の醸成を図るため、春・秋の「あいさつ運動」、毎年8月に開催する「大田市青少年育成市民大会」、地域子育てセミナー、家庭教育懇談会などを開催。  
また、子ども会や育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行を実施。

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		2,574,418	円	2,878,805	円	3,438,802	円
財源内訳	特定財源		円		円	2,297,500	円
	一般財源	2,574,418	円	2,878,805	円	1,141,302	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	3,743,000	0	0	0	3,743,000	3,438,802	0
	不用額	特定財源	細節名	放課後子ども総合プラン推進事業補助金	ふるさと応援基金繰入金	子ども体験学習号利用料	
304,198		金額	268,000	2,000,000	29,500		

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等 なし

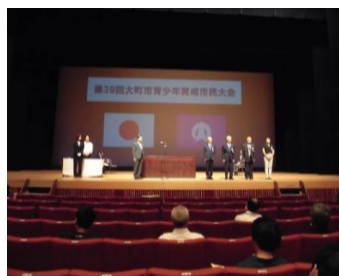
### ◆ 施策目標に資する活動

#### ○子ども体験学習号

- ・利用件数 11件
- ・利用人数 295人

#### ○第39回青少年育成市民大会

- ・開催日 8月27日（日）
- ・参加者 146人



青少年育成市民大会全体会の様子



青少年育成市民大会分科会の様子

### ◆ 事業の成果

青少年育成市民大会を開催し、式典において青少年の健全育成に貢献された個人、団体の皆さんの表彰が行われました。その後、4つの分科会に分かれて、子ども達が抱える問題や課題について学び、意見交換するなかで問題共有を図りながら、地域全体で子ども達を見守る連帯感の醸成を図る機会となった。

#### 《分科会の主題》

- ・第1分科会「若年者の就業支援から見てきた青少年の実態」
- ・第2分科会「放課後子ども教室からのきっかけ」
- ・第3分科会「情報化社会で生きていく力を育む」
- ・第4分科会「育ちをはぐくむ乳幼児期からの支援のあり方」



春のあいさつ運動の様子（西小）

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	115				
担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係			事務事業No.	110462				
事務事業名	文化財保護一般経費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	6	決算書	247	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	48			
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	②文化財の保護継承と活用									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン								14	頁	
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史ある、有形・無形の貴重な文化財が適切に保護・保存・継承されるよう、県他関係機関、所有者他関係団体等と連携し、文化財保護事業に取り組む。</li> <li>・文化財や地域の歴史・文化・自然等に関する学習機会を提供することにより、地域の財産として再発見し、郷土への愛着、誇りや文化財保護意識の醸成を促進する。</li> <li>・文化財等の調査・研究・情報発信を進め、地域の特徴的なコンテンツとして地域住民自らの手による積極的な利活用を支援することにより、地域観光の振興を図る。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護・保存・継承 文化財所有者等が行う保存修理、保護活用等に対する支援や天然記念物等の環境整備</li> <li>・文化財保護意識等の醸成 文化財に関する講座、観察会や特別展の開催</li> <li>・文化財の調査と活用 未指定文化財等の調査と研究、地域振興のための活用方策の検討・実施</li> </ul>										

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		3,769,116 円		4,648,507 円		4,519,298 円	
財源内訳	特定財源	円		109,000 円		180,000 円	
	一般財源	3,769,116 円		4,539,507 円		4,339,298 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	5,024,000	0	0	0	5,024,000	4,519,298	0
	不用額	特定財源	細節名	文化財保護事業補助金			
504,702		金額	180,000				

事業の実績・成果						前年度からの改善点等
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化財の指定 長野県宝指定 山の神遺跡出土品 県指定291号 有形文化財 考古資料 11月30日指定 ①押型文土器ほか 4点 ②異形部分磨製石器 41点 合計45点</li> <li>○ 文化財調査：信州大学受託研究 本通り周辺の歴史的建造物等の調査 国有形文化財登録申請 1件</li> <li>○ 指定文化財等保護事業への支援 若一王子神社：社叢危険木伐採・剪定 流鏑馬行事、三重塔修繕 盛蓮寺：防火水槽屋根塗装修繕</li> <li>○ 指定文化財等の管理、環境整備、保全 覚音寺千手観音立像等管理 居谷里湿原草地化防止・獣食害対策 ほか</li> <li>○ 文化財保護啓発・普及活動 文化財講座の開催 7回 参加者延209人 内 SDGs水関連講座3回 居谷里湿原自然観察会 参加者54人 文化財特別展開催 大田市、美麻地区文化祭</li> <li>○ 文化財関係団体等活動支援 木舟城研究会他</li> <li>○ 地域観光の振興 観光協会穴場ツアー開催（木舟城・青木城）</li> </ul> <p>◆ 事業の成果 水関連（SDGs）遺産の学習・再発見、歴史的建造物の多様な活用促進、本通り周辺の散策ルートの設定など、地域振興を図るため、具体的な取り組みを進めている。</p> <p>◆ 前年度からの改善点 今年度も従前のとおり、他係等と連携し、事業を効果的に実施している。</p>						あり
		山の神遺跡出土品 山形押型文土器		山の神遺跡出土品 楕円押型文土器		山の神遺跡出土品 異形部分磨製石器
						
		文化財講座 仙人岩はどこから来たか (平公民館共催)		文化財講座 ふたつの「しょうがみね」に登る (八坂公民館共催)		
						

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	116				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	人権教育担当			事務事業No.	110417				
事 務 事 業 名	人権教育推進事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	1	決算書	233	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第5章 市民の参画と協働でつくるまち					後期計画掲載頁	89		頁		
	施策目標					【2】多様性に満ちた共生社会の実現					
	施策項目					①人権教育・啓発の推進					
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針										

**対象と目的**  
 全市民（地域、学校、企業）に対して、人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい人権教育の推進を図る。

**主な実施内容**

- 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会での研修実施
- 学校人権教育研究委員会による各学校での活動、人権教育指定校の公開授業（2校）の開催
- 市内6地区で児童生徒と地域住民が合同で人権課題を学ぶ「人権を考える市民の集い」の開催
- 人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業
- 市内小中高の実践記録集の作成とこれを参考にした人権教育

事業費		決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）				4,111,830 円		1,929,978 円		799,334 円	
財源内訳	特定財源			円		円		円	
	一般財源			4,111,830 円		1,929,978 円		799,334 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額		
	985,000	0	0	0	985,000	799,334	0		
	不用額	特定財源	細節名						
185,666	金額								

## 事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動

#### （1）学校人権教育

- 市内小中学校のうち指定校2校による人権教育研究、実践の促進
- 市内幼保小中高の教職員研修会の実施
  - 教職員研修会の開催 5/15 15人参加
  - 公開授業 11/8 2校（大町中55人、八坂小中34人参加）
- 各学校ごとの人権教育講演会等の実施
- 人権教育作品集（作文、ポスター）募集、作品展示
  - 作文ポスター作品集「ヒューマンライツ 46号」2月発行
  - 作文43点、ポスター30点
- 学校人権教育実践録の発刊（3月）

#### （3）人権・同和教育推進懇談会事業

- 人権教育研修、交流事業の実施
  - 映画会及び交流研修会 11/28 29人参加
  - 人権教育講演会の実施 10/1 21人参加

#### （2）社会人権教育

- 関係団体（人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会）に関する研修、研修会案内
- 三団体合同現地視察研修 10/12 10人参加  
安曇野市「貞享義民祈念館」・松本市「松本市歴史の里」
- 「人権を考える市民の集い」6地区で開催 総計1,244名  
平地区(大町中) 6/21 (一般24人、中学校500人)  
大町地区(西小) 7/3 (一般16人、小学校80人)  
八坂地区(八坂小中) 8/24 (一般42人、小中学校84人)  
美麻地区(美麻小中) 9/14 (一般32人、小中学校81人)  
常盤地区(南小) 10/18 (一般31人、小学校185人)  
社地区(東小) 11/2 (一般18人、小学校151人)



人権を考える市民の集い（大町中）



三団体合同現地視察研修

### ◆ 事業の成果

- 新型コロナウイルスが5類移行したが最低限の感染防止対策をし6地区で「人権を考える市民の集い」が開催できた。
- 新型コロナに関連する偏見など人権侵害やLGBTQ関連など新たな人権課題への対応が必要になっている。
- 「人権を考える市民の集い」の開催により人権意識の高揚が図られており、継続して人権課題の解決のために必要な施策を展開したい。

### ◆ 前年度からの改善点

- 人権に関して小学生から高齢者までが理解し、人権意識が高められる講師の選任を工夫した。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	117				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	大町公民館			事務事業No.	110434				
事 務 事 業 名	大町公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	237	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45	頁	
	施 策 目 標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施 策 項 目	②社会教育の充実と活性化									
個 別 計 画	第5次生涯学習推進プラン								19	頁	
対 象 と 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮。また、住民の地域における課題や思いや住民が主体的に行動する力（自治と活力）を育むことを目的とする。</li> <li>・幼児から高齢者までの幅広い年齢層</li> <li>・住民の地域課題や要求課題等を踏まえたうえで企画した事業を通じ、暮らしの質を高め住みよい地域をつくる。</li> </ul>										
主 な 実 施 内 容	公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、文化事業（文化祭の開催・囲碁将棋の普及）、体育事業（市民運動会、球技大会の開催）各種講座の開設など										

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	総事業費（決算額）		1,623,165 円	2,174,305 円	2,526,179 円
	財源内訳	特定財源	円	円	169,000 円
一般財源		1,623,165 円	2,174,305 円	2,357,179 円	

予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,585,000	174,000	0	0	2,759,000	2,526,179	
	不用額	特定財源	細節名	情報通信技術講習事業費補助金			
232,821	金額	169,000					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育事業 大町地区球技大会：ソフトバレーボール（5チーム）、ソフトボール（6チーム）、マレットゴルフ（5チーム） 大町地区市民運動会 230名 4分館</li> <li>・ 文化事業 北アルプス囲碁・将棋大会 7月16日（日） 1月14日（日） 夏季大会29名、新春大会28名参加 大町市文化祭の開催 11月3・4・5日 42団体 出展数2,700点 来場者数28,095人</li> <li>・ 各種講座の開催 すくすく広場（16回、延576名）、外国人のための日本語講座（42回、延210名） 菊づくり講座（6回、延66名）、デジタル一眼レフカメラ講座（4回、延20名） 陶芸講座（10回、延115名）、木彫講座（6回、延30名） 文学紀行講座（5回、延270名）、スマホ講座（5回、延65名）</li> <li>・ 分館事業 分館事業補助金（33分館）、分館講座講師（7件）</li> <li>・ 各種団体事務 子ども会育成協議会：魚つかみ大会（230名）、ラフティング体験（43名）</li> </ul>							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民運動会は4年ぶりの開催となったが、新規の種目を取り入れながら地域住民の交流を図ることが出来た。</li> <li>・ 文化祭では、消防フェスタを同会場で行ったことや、ホールでのイベントを行ったことにより、参加者の増加に繋がった。</li> <li>・ 育成会事業では、平地区の子どもたちとの交流を図ることが出来た。</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の小学校統合を見据えて、育成会事業については平公民館と連携しながら実施した。</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
No.						118					
担当課	教育委員会	生涯学習課	文化会館			事務事業No.	110453				
事務事業名	文化会館公演事業					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	5	決算書	245	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	48	頁		
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	①芸術文化の振興									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン							14	頁		
対象と目的	大町市民を対象としているが、同規模の文化ホールが近隣市町村にないことから、広域的な利用についても対象としている。舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気楽に楽しく芸術文化に触れ合うことができるように、文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。										
主な実施内容	ミュージカル、落語、クラシックコンサート、映画等の公演の開催。 市民文化芸術活動の発表の場の提供。市民文化団体のステージ利用に関する育成。										
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
	総事業費（決算額）		22,771,455 円		23,325,919 円		20,322,650 円				
	財源内訳	特定財源					5,963,824 円				
		一般財源	22,771,455 円		23,325,919 円		14,358,826 円				
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	27,183,000	-3,100,000	0	-1,703,755	22,379,245	20,322,650					
	不用額	特定財源	細節名	文化会館入場料収入	物品販売手数料						
	2,056,595		金額	5,942,600	21,224						
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり			
◆ 施策目標に資する活動											
自主事業											
叙情を歌う～日本が見えてくる～				なつかシネマ 2回							
ワンコインコンサート 2回				バックヤード寄席							
ゴスフェスおおまち2023大復活祭				ふぁみりーシネマ							
劇団四季ファミリーミュージカル				北アルプス秋の音楽祭							
アンパンマンショー											
自主文化事業											
ミュージックサマー											
ハーモニーコンサート											
市民芸能SHOW											
DANCE LIVE 2023											
共催事業											
チュイチュイ～左手のバイオリン弾き～											
大町市少年少女合唱団定期演奏会											
はばたきの集い											
◆ 事業の成果											
コロナが収まり、多くの皆様にご来場いただいた。 「ワンコインコンサート」や「なつかシネマ」「バックヤード寄席」など、小規模イベントの開催により文化会館という施設が身近に感じていただく機会になった。今後も身近な施設として愛されるような管理運営を行っていきたい。											
◆ 前年度からの改善点											
「バックヤード寄席」や市民参加型のイベントを開催することにより、今まで文化会館に足を運ばなかった市民にも多く来館してもらい、身近に感じてもらうことができた。											

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	119				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	平公民館			事務事業No.	110436				
事 務 事 業 名	平公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	239	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45	頁		
	施策目標 【2】 生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目 ③多様な分野の学習活動の促進										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン								15	頁	

**対象と目的**

- ・ 地域住民、自治会等を対象に生涯学習の機会の提供や地域づくりの支援を各事業を通して行っていく。

**主な実施内容**

- ・ 地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。
- ・ 住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。
- ・ 住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施。
- ・ 自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。

事業費		決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
総事業費（決算額）				685,146 円	885,534 円	978,798 円	
財源内訳	特定財源			円	円	94,575 円	
	一般財源			685,146 円	885,534 円	884,223 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,193,000	0	0	0	1,193,000	978,798	
	不用額	特定財源	細節名	情報通信技術講習事業費補助金			
214,202		金額	94,575				

## 事業の実績・成果 前年度からの改善点等 あり

### ◆ 施策目標に資する活動

- 平地区球技大会 令和5年6月4日（平運動場、B&G体育館）  
ソフトボールの部・ソフトバレーの部開催 約80名参加
- 平地区少年少女球技大会 令和5年7月9日（平公民館講堂）小学生スマイルボウリング大会開催 約60名参加
- 平地区運動をする会 令和5年9月10日（平公民館講堂、平運動場） 約120名参加
- 平地区マレットゴルフ大会 令和5年10月9日（借馬マレットゴルフ場） 約40名参加
- 平地区市民ゴルフ大会 令和5年10月29日（日向山高原ゴルフコース） 約40名参加
- スマイルボウリング大会 令和6年3月23日（平公民館講堂） 約50名参加

### ◆ 事業の成果

平地区球技大会



ソフトボール

少年少女球技大会



ソフトバレー

スマイルボウリング大会



スマイルボウリング



### ◆ 前年度からの改善点

例年行われていた平地区運動会については、少子高齢化や自治会離れにより参加自治会数が減っているため、体育部役員と協議し、令和5年度から平地区運動をする会として、個人参加型の運動体験会に変更した。また、冬季に行われていた平地区雪上大運動会も同様の理由等から育成会の役員と協議し、冬季イベントとして鹿島槍スキー場にて行われているポケモンスノーアドベンチャーの参加に変更した。

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
No.						120					
担当課	教育委員会	生涯学習課	社公民館			事務事業No.	1104310				
事務事業名	社公民館活動費					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	241	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	45	頁		
	施策目標	【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成									
	施策項目	⑦地域で育む教育の推進									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										頁
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、自治会等</li> <li>・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援</li> </ul> 地域づくりの拠点施設として公民館事業の充実を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚と地域づくりを支援する。										
主な実施内容	①講座（親子教室「なかよし広場」、体力upエクササイズ講座ほか） ②体育事業（社地区球技大会、社地区子ども球技大会、社地区運動会、元旦マラソン） ③文化事業（社地区文化祭） ④補助事業（分館事業補助金）										
事業費	決算額		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	総事業費（決算額）		349,500 円			652,931 円			725,091 円		
	財源内訳	特定財源	円			円			円		
		一般財源	349,500 円			652,931 円			725,091 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	797,000	0	0	0	797,000	725,091	0				
	不用額	特定財源	細節名								
	71,909		金額								
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	なし			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体育事業 社地区球技大会5月21日より開始 ソフトバレー53名、ポッチャ20名、ゲートボール30名、ソフトボール55名、 9月3日 社地区親睦運動会 約150名参加、10月11日 友好杯ゲートボール大会 22名、 1月1日 元旦マラソン約100名</li> <li>○文化事業 11月1日～5日 社地区文化祭延べ240来館、</li> <li>○公民館講座 10/13～11/24（毎週金曜日全6回）体力UPエクササイズ講座、延べ240名参加 11/14手作りクリスマスリース講座、17名参加 12/17、24そば打ち講座延べ9名参加</li> <li>○子育て支援講座 6月～2月（全16回）親子教室「なかよし広場」親子20組参加</li> <li>○公民館運営審議会 11/13、2/28開催</li> <li>○11/2協力事業として、社地区人権を考える市民の集い（東小学校にて開催）169名参加 11/3地域子育てセミナー54名参加</li> <li>○各種団体事務及び主催事業、役員会等の開催 10/14敬老会と集いinやしろ合同開催 主催：社地区支え合い協議体・南部地域包括支援センター 160名参加</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <p>敬老会と集いinやしろ合同開催は大変好評であり、キッチンカーの利用も盛況であった。高齢者のみならず、幅広い年代の参加者を集客できる事業である。クリスマスリース作り講座は毎年好評で、すぐに定員に達する状況です。</p> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>敬老会と集いinやしろ合同開催は、参加された敬老会対象者にキッチンカーでのお買い物券をプレゼントし、キッチンカーの台数も増え、両者ウインウインの関係ができた。</p>											

事業の実績・成果



魚つかみ大会



球技大会ソフトバレー



敬老会と集いinやしろ



クリスマスリース



元旦マラソン

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	121				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館			事務事業No.	110128				
事 務 事 業 名	山村留学支援事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	1	目	2	決算書	221	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	43		頁		
	施策目標 【1】心豊かにたくましく生きる子どもの育成										
	施策項目 ⑦地域で育む教育の推進										
個別計画											

対象と目的	山村留学の積極的な受入により、複式学級の回避を図るほか、多方面での教育効果の向上に努め、地元小中学生と留学生相互の健全な成長を助長する。 また、保護者や地域と都市との交流を促進し、地域活性化につなげる。									
主な実施内容	山村留学の事業主体「公益財団法人育てる会」への補助金 山村留学生受入農家への助成金交付									

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		20,340,000 円		21,900,000 円		21,955,000 円	
財源内訳	特定財源	17,355,000 円		16,000,000 円		16,864,000 円	
	一般財源	2,985,000 円		5,900,000 円		5,091,000 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	22,001,000	0	0	0	22,001,000	21,955,000	0
	不用額	特定財源	細節名	金額			
46,000		過疎地域自立促進特別事業	ふるさと応援基金繰入金	16,000,000	864,000		

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
○ （公財）育てる会への支援							
・ 補助金17,100,000円							
・ 山村留学児童生徒数 31名							
【内訳】							
八坂前期：11名		八坂後期：6名					
美麻前期：9名		美麻後期：5名					
○ 八坂・美麻山村留学推進協への支援							
・ 補助金 4,800,000円							
・ 受入農家戸数 7戸							
【内訳】							
八坂地区：4戸							
美麻地区：3戸							
・ 受入農家支援							
◆ 事業の成果							
・ 山村留学生の受入れにより、児童生徒数が増加し複式学級の回避等、発展につながっている。							
・ 特色ある教育の実施や相互交流により、児童生徒の健全な成長を助長している。							
・ 山村留学があることで、保護者が地域行事への参加や地域住民との交流により地域の活性化に寄与している。							
・ 昭和51年に始まった山村留学は、その効果が認められ、全国で実施されている。							
◆ 前年度からの改善点							
・ 受入農家の確保に向け、山村留学推進協議会の中に部会を設けた。							



地元、山留生とのスキー教室



八坂・美麻前期5・6年生山村留学センター通学合宿

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	122				
担当課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館			事務事業No.	1104312				
事務事業名	八坂公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	243	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				後期計画掲載頁	45		頁		
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	②社会教育の充実と活性化									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン									頁	

**対象と目的**  
 地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業を推進し、地域コミュニティの活性を図るとともに、自主グループ等の育成と支援を行う。

**主な実施内容**  
 ○体育事業（マレットゴルフ大会、体操教室、レクリエーションスポーツ大会）  
 ○文化事業（文化祭、郷土ふれあい体験学習等）  
 ○学級講座（親子教室、高齢者学級、地域文化伝承）  
 ○その他（子ども育成会事業、図書の貸し出し事業、サハークル活動支援、分館活動支援）

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		796,804 円	1,019,826 円	1,026,985 円		
	財源内訳	特定財源	円	円	円		
一般財源		796,804 円	1,019,826 円	1,026,985 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,438,000	0	0	0	1,438,000	1,026,985	0
	不用額	特定財源	細節名				
	411,015		金額				

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

- 体育事業
  - ・ふれあい運動会
  - ・盆球技大会
  - ・体操教室
  - ・レクリエーションスポーツ大会
- 文化事業
  - ・八坂地区文化祭
  - ・親子教室
  - ・八坂塾（竹細工、コケ玉づくり、文化財巡り、創作人形づくり、そば打ち、猫ちぐらづくり）
  - ・子育てセミナー
  - ・郷土かるた大会
  - ・八坂美麻育てる会スキー交流会



（レクリエーションスポーツ大会）



（郷土ふれあい体験学習）

### ◆ 事業の成果

- ・公民館事業の実施により、地域住民の交流する機会が創設され、自治会活動の向上や地域活性化に寄与している。

### ◆ 前年度からの改善点

- ・体育事業を増やした

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	継続 123				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	女性未来館ピュア			事務事業No.	15124				
事 務 事 業 名	女性未来館ピュア運営事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	5	項	1	目	2	決算書	165	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45			
施 策 目 標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
施 策 項 目	③多様な分野の学習活動の促進										
個 別 計 画											

対象と目的	就業前及び新規就業者、中途採用希望者を含む女性労働者、勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進のための協力、資質の向上を図るために援助を行う。また女性の人権や女性に関わる課題に対して、先進的な取り組みの情報提供を行い、意識の向上を積極的に推進する。
主な実施内容	主に女性を中心とした各種講座や講演会及びサークルなどが円滑に運営・活動できる管理体制を図る。託児ボランティア活動団体の人材育成の実施。

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		3,238,005 円	1,899,897 円	273,000 円		
	財源内訳	特定財源	円	円	円		
一般財源		3,238,005 円	1,899,897 円	273,000 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	584,000	0	0	0	584,000	273,000	0
	不用額	特定財源	細節名				
			金額				
311,000							

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動



女性講座①水見



女性講座②河口湖



女性講座④小諸



1日体験会（全6回）



リトミック講座（全5回）



フラワーアレンジメント（全3回）



クラフトバンド（全10回）

### ◆ 事業の成果 ピュアフェスタの開催（平公民館・女性未来館ピュア事業の成果発表・11月実施）



### ◆ 前年度からの改善点

主催講座並びにサークル利用者の高齢化は以前からの課題であり、若者・現役世代向けに関心をもって参加していただくために、若い人向けのアンケートなどを行い、傾向と対策を工夫していく。

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続					
No.						124					
担当課	教育委員会	生涯学習課	常盤公民館			事務事業No.	110438				
事務事業名	常盤公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	239	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		45	頁	
	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供									
	施策項目	②社会教育の充実と活性化									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										頁
対象と目的	地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会を提供し、人づくり・つながりづくり・地域づくりの支援を行うことを目的とし、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、ニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図り、生活の質を高め住みよい地域をつくる。										
主な実施内容	①体育事業（常盤地区球技大会、卓球・ソフトバレー大会、ボッチャ体験講習）、②文化事業（常盤囲碁・将棋・マーシャン大会、サークル活動発表展示会）③講座（親子教室「ともだち広場」、鍬の峰登山、そば打ち、スマホほか）、④補助事業（分館事業補助金）										
事業費	決算額		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	総事業費（決算額）		440,138 円			554,583 円			720,340 円		
	財源内訳	特定財源	円			円			100,880 円		
		一般財源	440,138 円			554,583 円			619,460 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額				
	953,000	101,000	0	0	1,054,000	720,340					
	不用額	特定財源	細節名	情報通信技術講習事業補助金							
	333,660		金額	100,880							
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり			
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>◇ 文化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常盤公民館サークル活動発表展示会 令和6年2月16日～21日 来館者529人</li> <li>常盤囲碁・将棋・マーシャン大会 令和6年3月3日 参加者約40人</li> </ul> <p>◇ 体育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常盤地区球技大会 令和5年6月4日 参加者約80人</li> <li>常盤卓球・ソフトバレー大会 令和6年2月25日 参加者約35人</li> <li>常盤地区ボッチャ体験講習会 令和6年3月9日 参加者約40人</li> </ul> <p>◇ 講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鍬の峰へのぼろう 5月20日 参加者14人</li> <li>親子教室「ともだち広場」 6月14日～2月28日（全16回） 親子18組</li> <li>秋の味覚、新そばを楽しもう！「そば打ち教室」 10月12日～11月2日（全4回） 参加者16人</li> <li>インスタ映えする簡単写真講座 11月21日～12月19日（全5回） 参加者7人</li> <li>簡単、楽ちん、誰でもできる「ゆる体操」 11月24日～12月8日（全3回） 参加者9人</li> <li>初心者のためのスマートフォン講座 1月25日～2月15日（全4回） 参加者15人</li> <li>腰痛予防改善エクササイズ 2月26日～3月18日（全4回） 参加者28人</li> </ul>											

## 事業の実績・成果

## ◆ 事業の成果

新型コロナ等の影響により中止していた常盤地区球技大会、卓球・ソフトバレーボール大会囲碁・マージャン大会、敬老会、育成会事業など再開することが出来た。

## ◆ 前年度からの改善点

「常盤地区運動会あり方検討委員会」を開催し、従来の運動会を廃止、次年度より新たに「常盤地区運動大会（競技種目ポッチャ）」を開催決定。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 125				
担 当 課	教育委員会	生涯学習課	美麻公民館			事務事業No.	1104314				
事 務 事 業 名	美麻公民館活動費					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	4	目	3	決算書	243	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	45		頁		
	施策目標 【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
	施策項目 ②社会教育の充実と活性化										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										

対象と目的	地域づくりの拠点施設として、地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会の提供など公民館事業の充実を図り、地域づくりを支援する。										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育事業「小中学校・地区運動会、夏季球技大会」</li> <li>・ 文化事業「地区文化祭、元気アップ講座、高齢者・熟年学級、通学合宿・自然体験教室、各種講座、介護予防教室共催」</li> <li>・ 分館事業補助</li> </ul>										

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		2,294,813	円	1,802,958	円	1,244,246	円
財源内訳	特定財源		円		円		円
	一般財源	2,294,813	円	1,802,958	円	1,244,246	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	1,777,000	0	0		1,777,000	1,244,246	
	不用額	特定財源	細節名				
532,754		金額					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
◇ 体育事業							
・ 美麻小中学校・美麻地区運動会 令和5年6月4日 約500人参加							
・ 美麻地区夏季球技大会（ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ）						令和5年8月20日 84人参加	
◇ 文化事業							
・ 元気アップ講座（地区住民対象）令和5年4月30日 26人参加							
（美麻小中学生対象）5月1日 99人参加							
・ 子育て応援カフェ 令和5年5月～12月 延べ43人参加							
・ 通学合宿・自然体験教室 令和5年6月 5人参加（美麻小中地元生のみの数値）							
・ 夏休みお手伝いし隊 令和5年7月 延べ31人参加							
・ 高齢者・熟年学級 令和5年7月～12月 延べ79人参加							
・ 美麻イワナつかみ体験 令和5年8月4日 延べ43人参加							
・ 美麻地区文化祭 令和5年10月22日 約200人参加							
・ 木彫り教室 令和5年11月～12月 延べ40人参加							
・ 山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同スキー活動							
令和6年1月、2月 延べ15人参加（美麻小中地元生のみの数値）							
・ ポッチャ体験教室 令和6年3月 16人参加							
◇ 新型コロナウイルス感染症や地区住民の意向に伴い中止とした事業							
・ 山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同登山						・ 冬季スポーツ大会	
◆ 事業の成果							
当公民館は、コロナ禍でも可能な限り事業を実施。コロナ対策緩和以降も、開催方法・内容を見直し事業を展開。子どもたちや地区住民の“学び、交流、親睦、笑顔の場”の復活としての足掛かりとなった。							
◆ 前年度からの改善点							
コロナ対策緩和の初年度であり、住民意識の変化を感じることもあるため、従来からの形式にとらわれず、やり方・内容等を再考し工夫して開催した。							



運動会



高齢者・熟年学級

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	126				
担当課	教育委員会	生涯学習課	図書館			事務事業No.	110443				
事務事業名	図書資料購入事業					実施方法	その他				
会計	一般会計		款	10	項	4	目	4	決算書	245	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	45		頁	
	施策目標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施策項目	③地域の芸術文化の創造									
個別計画	第5次生涯学習推進プラン									頁	

対象と目的	<p>市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。          知の拠点として、住民の「知りたい」、「学びたい」に答えられるよう、求める情報をいつでも提供できる環境づくりに努め、住民が自ら調べ、考え、行動できる手助けをする。</p>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズに適合した資料の選定及び購入</li> <li>市民のリクエスト本の購入</li> <li>図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入</li> <li>図書資料の収集、整理・資料の修理</li> </ul>										

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費（決算額）		8,165,532	円	8,257,335	円	7,439,504	円
財源内訳	特定財源		円		円	3,000,000	円
	一般財源	8,165,532	円	8,257,335	円	4,439,504	円
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	8,278,000	0	0	-69,838	8,208,162	7,439,504	0
	不用額	特定財源	細節名				
768,658		金額	ふるさと応援基金繰入金	3,000,000			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	なし
----------	--	--	--	--	--	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

蔵書購入数 3,318冊  
 一般書 1,765冊  
 児童書 976冊  
 郷土資料 10冊  
 雑誌 576冊  
 AV資料 1点

図書購入リクエスト数 49冊

## ◆ 事業の成果

市民のニーズに適合した選書や各種講座による情報提供の継続、また学校や公民館といった施設への配本事業により、普段図書館に来ることのない市民に対しても読書の機会を提供した。このような取り組みを行ったことで、徐々にではあるが利用者の増加につながっている。

また、近隣図書館の蔵書や新着図書をチェックすることで、利用者へ提供できる情報を補完しあえるような選書を心掛け、市外からの利用も一定数見込むことができています。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価 No.	新規事業 127				
担 当 課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係			事務事業No.	110514				
事 務 事 業 名	体育大会運営事業					実施方法	その他				
会 計	一般会計		款	10	項	5	目	1	決算書	251	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		49		頁	
	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目 ⑤スポーツの振興										
個別計画	第2期大町市スポーツ推進計画								27		頁

対象と目的	市民及び各競技団体を対象に、スポーツ大会の開催と交流の促進を行う。									
主な実施内容	(主)市民スポーツ祭(夏季)、(主)大北スポーツ競技会、(主)市民登山、(主)B&G少年武道大会、(主)木崎湖カップカヌー大会、大町アルプスマラソン、大北縦断駅伝大会、県縦断駅伝大会、 県市町村対抗駅伝大会 各種大会負担金									

決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総事業費(決算額)		3,662,985 円		3,915,710 円		3,818,194 円	
財源内訳	特定財源						
	一般財源	3,662,985 円		3,915,710 円		3,818,194 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	4,145,000	0	0	0	4,145,000	3,818,194	0
	不用額	特定財源	細節名				
326,806		金額					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
○スポーツ大会							
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民スポーツ祭 夏季大会：16競技 1,185人参加 冬季大会：2競技 95人</li> <li>アルプスマラソン 申込2,618人 出走2,260人</li> <li>大北スポーツ競技会 9競技 883人参加</li> <li>B&amp;G会長杯少年武道大会(剣道) 27名参加</li> <li>木崎湖カップカヌー大会 30名参加</li> <li>市民登山(鹿島槍ヶ岳) 7名参加</li> </ul>							
○スポーツ大会(負担金) 3,128,499円							
<ul style="list-style-type: none"> <li>県高校駅伝競走大会</li> <li>大北スポーツ競技会</li> <li>おおまびょんカップサッカー大会</li> <li>大町アルプスマラソン</li> <li>大北駅伝大会</li> <li>県縦断駅伝大会</li> <li>県市町村対抗駅伝大会</li> </ul>							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染症についても5類に分類され、各分野における活動が平常モードに戻った。様々な大会が以前の内容と同様に実施できることとなり、参加者数も増加した。</li> <li>一方で、冬季のスポーツ祭については地球温暖化等の影響を顕著に受けスキー場では雪が不足し、スケートリンクはなかなか結氷しないなど、厳しい条件となった。</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>県縦断駅伝への参加は、参加標準記録を上回ることが必修となり、令和4年度は、大町北安曇単独では出場人数の確保ができないため、塩尻・東筑・木曽、安曇野市との合同チームで出場した。令和5年度はエリアをまたいだチーム(千曲坂城・大町北安曇・上水内)として出場したが、エリアをまたいだチームの場合はその記録も参考記録となるなど、年々主旨から外れてきているため、令和5年度は負担金の拠出を取りやめている。) ※参加標準記録 高校・一般男子 5000m 16分40秒 高校・一般女子 3000m 12分40秒</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						新規事業								
No.						128								
事務事業No.						110515								
実施方法						その他								
担当課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係			目	1	決算書	251	頁				
事務事業名	スポーツ振興事業					目	1	決算書	251	頁				
会計	一般会計					款	10	項	5	目	1	決算書	251	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		50	頁					
総合計画	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実													
総合計画	施策項目 ⑤スポーツの振興													
個別計画	大田市スポーツ推進計画							26	頁					
対象と目的	<p>幼児期から高齢者までの市民が、健康で生き生きと活力あふれる生活を送ることができるように、個人や団体スポーツ活動の充実を図る。 また、スポーツの振興により仲間づくりや地域コミュニティの活性化を図る。</p>													
主な実施内容	<p>【スポーツ教室等の開催】運動あそび教室、トレーニング講座、ママさんフリータイム広場、ポティバランス教室ほか 【団体活動支援のための補助】大田市スポーツ協会 【スポーツ振興のための補助】青少年スポーツ振興、指導者等人材育成 【松本山雅FCとの連携】保育園等での巡回指導、ホームタウンデー等でのPR、パブリックビューイング 【その他】JFAこころのプロジェクト</p>													
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
	総事業費（決算額）		7,866,116 円		13,341,560 円		13,868,231 円							
	財源内訳	特定財源			2,000,000 円		2,361,688 円							
		一般財源	7,866,116 円		11,341,560 円		11,506,543 円							
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額							
	17,675,000	-1,550,000	0	-222,508	15,902,492	13,868,231	0							
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金	スポーツ教室参加者保険料									
	2,034,261		金額	2,000,000	361,688									
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり						
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○スポーツ教室等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナルトレーナーによるトレーニング講座（全26回 432人）</li> <li>・ポティバランス教室（全13回 68人）</li> <li>・ママさんフリータイム広場（全7回 96人）</li> <li>・運動あそび教室（全20回 528人）</li> <li>・巡回運動あそび教室（全32回 634人）</li> <li>・水中運動教室（全2回 24人）</li> <li>・小学生スキー教室（全2回 90人）</li> <li>・冬季ママパパさんフリータイム（全4回 46人）</li> <li>・B&amp;G少年少女海洋教室（6回 58人）</li> <li>・ウオータースポーツ教室（2回 11人）</li> <li>・親子ふれあい教室（4回 44人）</li> </ul> <p>○スポーツ振興事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年スポーツ振興事業 認定地域スポーツクラブ活動（6件） 県外開催の大会参加（19件）</li> </ul> <p>○チャレンジデー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・371団体（個人で参加報告をした場合は1報告あたり1団体としてカウント）、4,699人が参加</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症が5類となり、令和4年と比較して多くの教室が開催でき、参加者も増加した。</li> <li>・初開催となったチャレンジデーについては、市内の様々な世代や主体の方々が幅広く参加し、運動習慣の再認識することができた。結果として、371団体（単位）、4,699人が参加報告を行った。しかしながら、補助実施元である笹川スポーツ財団で、令和5年度をもってチャレンジデーへの助成を終了となるため、当市での実施も令和5年度実施で最終となる見込み。</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポフェス大町は、第二屋内運動場の落成を記念して企画されたイベントであり、単年度で終了する予定であったところ、複数年継続されていた。中身としては景品パラまき型のイベントであり、市民以外も参加できているため、一定の目的は果たしたとして、令和5年度は実施せず、これをもって事業終了とした。</li> </ul>														


# 主要な施策の成果説明書

主要な施策の成果説明書						前年度評価	新規事業	
						No.	129	
担 当 課	教育委員会	スポーツ課	スポーツ推進係			事務事業No.	110522	
事 務 事 業 名	体育施設整備事業					実施方法	その他	
会 計	一般会計		款	10	項	5	目 2 決算書 253 頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	50 頁	
	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実							
	施策項目 ⑤スポーツの振興							
個別計画	第2期大町市スポーツ推進計画						32 頁	
対象と目的	生涯スポーツの推進のために、必要な施設整備を順次実施する。施設の在り方や利用率等を参考に必要な施設整備を行うとともに、マラソン大会開催のために必要なコース公認作業を実施。							
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託料 陸上競技場附属長距離走路公認</li> <li>○報償費・手数料 大町市運動公園陸上競技場附属マラソンコース</li> <li>○工事 B&amp;G海洋センター体育館照明設備LED化工事</li> </ul>							
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		6,430,930 円		4,100,817 円		9,418,870 円	
	財源内訳	特定財源					8,300,000 円	
		一般財源	6,430,930 円		4,100,817 円		1,118,870 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	8,920,000	1,000,000	0	0	9,920,000	9,418,870	0	
	不用額	特定財源	細節名	B & G財団修繕助成金	合併特例債（体育施設整備事業）			
	501,130		金額	2,700,000	5,600,000			
事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり	
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委託料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場附属長距離走路公認更新検定</li> </ul> </li> <li>○報償費・手数料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大町市運動公園陸上競技場附属マラソンコース</li> </ul> </li> <li>○工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・B&amp;G海洋センター体育館照明LED化工事</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○工事 <p>水銀灯が生産停止となり、代替するマルチハライド電球も受注生産に切り替わり、単価は大幅に上昇。納期も長くなり不具合が生じていたが、当工事によりそれらの不安は解消。光熱費を抑えつつ、照度を大幅に上昇することができ利用者の利便性も向上した。</p> </li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上競技場公認関係 <p>以前は陸上競技場4種も公認を受けていたが多額の費用がかかるため、令和4年度に陸上競技協会に意見を求めつつ、今後の更新を行わない方針を決定した。それを受け、令和5年度には長距離走路のみの公認とした。実態として4種公認を継続する意味や効果は無かったため大きな改善であるといえる。（前年度からの改善ではないが、前公認時期からの改善）</p> </li> </ul>								

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
No.						130		
事務事業No.						110613		
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館	実施方法		市が直接実施		
事務事業名	山岳博物館教育普及事業							
会計	一般会計	款	10	項	6	目	1	
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				後期計画掲載頁	46	
施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							
施策項目	③多様な分野の学習活動の促進							
個別計画	第5次生涯学習推進プラン						頁	
対象と目的	<p>・地域の総合博物館という基本的な性格をもち、市民、市内学生および大町市を訪れる観光客を対象として、山岳文化都市としての情報発信や生涯学習の機会を提供し、山岳に関わる文化や自然科学の継承および教育普及事業を推進する。</p>							
主な実施内容	<p>①企画展示事業：『ホネ』展、『北安曇の自然と文化』展、『大町と絶滅動物』展を開催。各展示の関連事業として、ミュージアムガイド、講座や講演会を開催。                  ②特別展示：『出張安曇野アートライン展 in 山岳博物館-北アルプス国際芸術祭2024連携企画展-』を開催。                  ③講演会：『虫の眼で見た大町・安曇野の自然』、『山が教えてくれたこと』                  ④発行者：『企画展展示解説』、『山と博物館』、『研究紀要』                  ⑤学習会：『大町自然探検隊』、『山のサイエンスカフェ in さんぱく2024』ほか                  ⑥学社連携、融合：市内小中学校の連携授業、総合学習などの開催。</p>							
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		4,035,600 円		4,346,135 円		3,095,389 円	
	財源内訳	特定財源	251,000 円		48,800 円		217,200 円	
		一般財源	3,784,600 円		4,297,335 円		2,878,189 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	3,913,000	0	0	0	3,913,000	3,095,389	0	
	不用額	特定財源	細節名	企画展解説書販売金				
	817,611		金額	217,200				
事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり	
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示：1,027点（収蔵資料 82,336点 + 197ケース）</li> <li>・企画展『ホネ』展 4月29日～7月30日 観覧者 6,810人 ミュージアムガイド 2回 参加者 30人</li> <li>・企画展『北安曇の自然と文化』展 8月8日～10月1日 観覧者 4,443人 ミュージアムガイド 2回 参加者 16人</li> <li>・企画展『大町と絶滅動物』展 11月3日～1月28日 観覧者 2,740人 ミュージアムガイド 6回 参加者 51人 講演会と講座 2回 参加者66人</li> <li>・特別展『出張安曇野アートライン展 in 山岳博物館-北アルプス国際芸術祭2024連携企画展-』 10月7日～22日 観覧者1,505人</li> <li>・講座『山のサイエンスカフェ in さんぱく2024』ほか 計 24回 参加者 155人</li> <li>・観察会・講演会への講師派遣 43回 参加者 761人</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示については、2階『日本の氷河』の解説パネルを入れ替え改良を行った。</li> <li>・企画展・特別展示については、年間4回開催し、日頃の調査・研究活動の成果として反映させた。</li> <li>・寄贈され収集した資料の常設展示への反映として、1階『山で遊び学ぶ-日本の近代登山-』のコーナーに上條嘉門次の資料8点を展示させた。</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードを活用した多言語での音声ガイドシステムについて、年間を通してモニター実施を行い、入館者の展示の理解度を高める試みを行った。</li> </ul>								

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						継続		
No.						131		
事務事業No.						110614		
実施方法						市が直接実施		
担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館	款	10	項	6	
事務事業名	山岳博物館調査研究事業					目	1	
会計	一般会計		目	1	決算書	257	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	49	
総合計画	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実							
総合計画	施策項目 ④山岳文化の振興と活用							
個別計画	第5次生涯学習推進プラン						頁	
対象と目的	<p>・博物科単独での実施のほか大学や研究機関と連携して、北アルプスおよびその山麓地域における自然や文化をテーマとした調査、研究活動を推進する。その成果は、市民ならびに博物館を活用される観覧者を対象とした教育普及活動に反映させる。</p>							
主な実施内容	<p>①高山植物の生活史に関する研究                  ②希少動植物の生態調査研究                  ③ライチョウの飼育・増殖技術の確立を目指した調査研究                  ④北アルプスの気象などの調査研究                  ⑤大町市を中心とした野生動植物調査                  ⑥大町市周辺の火山灰に関する調査 ほか</p>							
事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		258,466 円		349,252 円		127,015 円	
	財源内訳	特定財源	円		円		円	
		一般財源	258,466 円		349,252 円		127,015 円	
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	162,000	0	0	0	162,000	127,015	0	
	不用額	特定財源	細節名					
			金額	34,985				
事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり	
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>主な調査研究項目</p> <p>(1) 高山植物の生活史に関する調査研究（令和7年度の研究紀要で報告予定）                  (2) 日本産草本植物の生活史に関する調査研究（令和5年度研究紀要で報告）                  (3) 中部山岳地域における近年の気温変動調査（令和5年度研究紀要で報告）                  (4) 長野県の絶滅哺乳類に関する調査（令和5年度研究紀要で報告）                  (5) 大町市周辺の火山灰層に関する調査（令和5年度研究紀要で報告）                  (6) 市内小学校に生息している生き物調査（令和6年度企画展で公開予定）</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>・中山高原において、大町テフラの現存する模式露頭について、詳細な調査・研究を行い今後の火山灰研究においても、大変重要な場所であることが分かった。</p>								
								
<p>◆ 前年度からの改善点</p> <p>・令和6年度の企画展に成果を反映させるために、市内小学校の生き物調査の調査回数を増加させた。</p>								

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	132				
担 当 課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館			事務事業No.	110616				
事 務 事 業 名	動植物飼育栽培繁殖事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	6	目	1	決算書	259	頁
総合計画	まちづくりのテーマ 第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁		49		頁	
	施策目標 【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
	施策項目 ④山岳文化の振興と活用										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン									頁	
対象と目的	<p>・貴重な野生動植物を保護し、飼育・繁殖および栽培、調査研究を行いながら、北アルプスに生息する生物の生体展示を行う。</p> <p>・博物館本館の展示と連携した野生動植物の飼育・栽培および繁殖・増殖を行い、山岳博物館としての機能の充実を図る。</p>										
主な実施内容	<p>・付属園の機能・役割として、博物館の展示だけでは伝えきれない生体展示としての動物や植物の実物の姿を見ていただき、その生態の不思議と命の大切さを伝える。また、飼育栽培している動植物を活用した調査研究および教育普及活動を実践する。</p>										

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		6,009,789 円	4,608,861 円	1,716,532 円		
財源内訳	特定財源	134,000 円	234,000 円	132,000 円			
	一般財源	5,875,789 円	4,374,861 円	1,584,532 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	2,053,000	0	0	0	2,053,000	1,716,532	0
	不用額	特定財源	細節名	傷病鳥獣救護委託金			
	336,468		金額	132,000			

## 事業の実績・成果

前年度からの改善点等

あり

### ◆ 施策目標に資する活動

飼育動物：哺乳類3種 6個体 ・鳥類6種 19個体  
 プリーディングローン ニホンカモシカ貸出2個体  
 内訳：埼玉こども動物自然公園・長野市茶臼山動物園

栽培植物： 70種 コマクサ・ミズバショウほか

### 教育普及事業

付属園まつり 5月2日～6日 延べ1,613人参加  
 クイズラリー 5日 219人  
 ライチョウガイド 5日 1,302人  
 動物観察ツアー 2日 ・植物観察ツアー 1日  
 おおまびょんと遊ぼう 2日 92人



### ◆ 事業の成果

・飼育展示動物が高齢化などで減少していることから、8月24日に新規導入としてアクアマリン ぶんしょう海洋科学館より、ホンダタヌキ オス1個体 2020年6月11日生れの無償譲渡を受けた。

### ◆ 前年度からの改善点

・バックヤードで栽培している高山植物の育苗のうち、34種を付属園に移植し展示を充実させた。  
 4月よりスバルバルライチョウ舎付近の高山植物エリアを約16㎡拡大させた。

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	133				
担 当 課	山岳博物館	山岳博物館	山岳博物館			事務事業No.	110617				
事 務 事 業 名	ライチョウ飼育事業					実施方法	市が直接実施				
会 計	一般会計		款	10	項	6	目	1	決算書	259	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					後期計画掲載頁	49			
	施 策 目 標	【3】芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実									
	施 策 項 目	④山岳文化の振興と活用									
個 別 計 画	第5次生涯学習推進プラン									頁	
対象と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境省の二ホンライチョウ保護増殖事業の一環として、二ホンライチョウの生息域外および域内保全事業に寄与するために、増殖技術の確立を目指す。</li> <li>二ホンライチョウの増殖技術の向上に役立てるためや、二ホンライチョウとの比較展示を行うために、近縁であるスバルバルライチョウの飼育についても実施する。</li> <li>二ホンライチョウおよびスバルバルライチョウに関わる調査研究および教育普及事業を推進する。</li> </ul>										
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>二ホンライチョウ、スバルバルライチョウの繁殖事業の実施。</li> <li>二ホンライチョウ、スバルバルライチョウの生態の調査研究、教育普及活動の実施。</li> <li>二ホンライチョウ、スバルバルライチョウの展示公開による教育普及活動の実施。</li> </ul>										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		7,647,429 円		4,230,545 円		1,838,010 円	
	財源内訳	特定財源			3,000,000 円		1,838,010 円	
一般財源		7,647,429 円		1,230,545 円		0 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	2,747,000	0	0	0	2,747,000	1,838,010	0	
	不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金				
908,990		金額	1,838,010					

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり
◆ 施策目標に資する活動							
二ホンライチョウ							
<p>野生復帰に関する試験（高山で生活できることを目標として高山植物を消化できるような腸内細菌を定着させる）の実施を目的に、5羽の人工育雛を目指して10個の卵をふり器に入れたが、全ての卵で発生が見られなかった。</p> <p>繁殖に供したペアは、春の時点で健康状況に問題は見られず、動物園全体の繁殖計画に基づいて、過去に繁殖実績のある2つのペアを用い、計10個の授精卵を得られることを目指し取り組んだ。片方のメスが体調不良（後で落命）となり、1つのペアから得た10個の卵を人工ふり器を試みたが新たな個体の創出に至らなかった。</p>							
◆ 事業の成果							
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の二ホンライチョウ繁殖事業は、オス4羽・メス4羽の計8羽でスタートし、人工繁殖を試みたが、繁殖には至らなかった。（令和6年3月31日現在 オス4羽・メス3羽の計7羽飼育中）</li> <li>スバルバルライチョウについては、動物園全体の中での飼育個体の移動調整を行い、上野動物園とはオス1羽の相互交換と、富山市ファミリーパークにオス1羽の搬出を行った。</li> </ul>							
◆ 前年度からの改善点							
<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの低地における保護増殖事業から、一歩進んだ野生復帰に関する試験についての取り組みを始めた。</li> </ul>							

# 主要な施策の成果説明書

前年度評価						新規事業						
No.						134						
事務事業No.						1106112						
実施方法						その他						
担当課	山岳博物館	山岳博物館	山岳博物館	款	10	項	6	目	1	決算書	259	頁
事務事業名	付属園整備事業											
会計	一般会計											
総合計画	まちづくりのテーマ	第1章 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						後期計画掲載頁			46	頁
総合計画	施策目標	【2】生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供										
総合計画	施策項目	③多様な分野の学習活動の促進										
個別計画	第5次生涯学習推進プラン										頁	
対象と目的	<p>・付属園整備事業に沿って、老朽化した動物飼育舎などの改築や、野生動物の侵入を防ぐための外周柵の整備だけでなく、市民および大町市を訪れる観光客のために、楽しく学べ、遊び、観光資源としても活用ができるよう、高山植物や岩石の展示、憩いの空間展示を兼ね備えた付属園として整備を行う。</p>											
主な実施内容	<p>・付属園では、これまでにニホンライチョウ舎とスバルハルライチョウ舎の整備を他の動物舎に先行して進めてきた。今後、動物の飼育施設を整備するにあたっては、各動物の生活や福祉に十分配慮するとともに、動物の種類や個体数などに適合した施設規模や構造を考慮し、本来の生態や習性が発現できることを目指す。</p> <p>・低山から高山までの環境を復元し、動物以外にも植物や岩石などの展示も行い、憩いの場として市民や観覧者が楽しみながら学べる空間整備を行う。</p>											
事業費	決算額		令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	総事業費（決算額）		449,625 円			550,770 円			507,100 円			
	財源内訳	特定財源	円			円			円			
		一般財源	449,625 円			550,770 円			507,100 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額					
	568,000	0	0	0	568,000	507,100	0					
	不用額	特定財源	細節名									
	60,900		金額									
事業の実績・成果							前年度からの改善点等	あり				
<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付属園内の設備や機材の修繕作業を実施。</li> <li>・付属園内の順路の補修や、除草・小木の伐採など環境整備を実施。</li> <li>・付属園展示改修基本構想に関わる経費の精査や優先順位の検討。</li> </ul> <p>◆ 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付属園整備には、大きな予算規模を要することから、事業実施となるまでの期間は、老朽化した施設などの長寿命化を図るための応急的な小破修繕を実施している。</li> </ul> <p>◆ 前年度からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付属園展示改修基本構想は完成していることから、実際の施工を想定した工期のスケジュールや施設整備の優先順位などの検討を行った。</li> </ul>												

国民健康保険特別会計（事業勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項		令和5年度 収入済額	令和4年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	国民健康保険税	471,373,359	478,877,903	-7,504,544	-1.6
1	国民健康保険税	471,373,359	478,877,903	-7,504,544	-1.6
2	使用料及び手数料	344,848	264,497	80,351	30.4
1	手数料	344,848	264,497	80,351	30.4
3	国庫支出金	87,000	0	87,000	皆増
1	国庫補助金	87,000	0	87,000	皆増
4	県支出金	2,174,029,400	2,273,476,786	-99,447,386	-4.4
1	県補助金	2,174,029,400	2,273,476,786	-99,447,386	-4.4
5	財産収入	124,668	138,413	-13,745	-9.9
1	財産運用収入	124,668	138,413	-13,745	-9.9
6	繰入金	226,941,676	234,656,687	-7,715,011	-3.3
1	他会計繰入金	226,941,676	234,656,687	-7,715,011	-3.3
2	基金繰入金	0	0	0	-
7	繰越金	16,845,514	15,231,652	1,613,862	10.6
1	繰越金	16,845,514	15,231,652	1,613,862	10.6
8	諸収入	26,633,683	32,174,538	-5,540,855	-17.2
1	延滞金及び加算金	3,745,420	2,554,985	1,190,435	46.6
2	預金利子	0	0	0	-
3	貸付金元利収入	0	4,536,282	-4,536,282	皆減
4	雑入	22,888,263	25,083,271	-2,195,008	-8.8
	合計	2,916,380,148	3,034,820,476	-118,440,328	-3.9

## 歳出

(単位：円)

款	項	令和5年度 支出済額	令和4年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	総務費	20,267,586	19,138,086	1,129,500	5.9
	1 総務管理費	9,344,413	9,091,481	252,932	2.8
	2 徴税費	10,674,373	9,965,005	709,368	7.1
	3 運営協議会費	248,800	81,600	167,200	204.9
2	保険給付費	2,131,195,756	2,222,039,085	-90,843,329	-4.1
	1 療養諸費	1,832,693,388	1,915,542,580	-82,849,192	-4.3
	2 高額療養諸費	290,019,048	300,432,271	-10,413,223	-3.5
	3 移送費	0	0	0	-
	4 出産育児諸費	7,144,520	4,190,100	2,954,420	70.5
	5 葬祭諸費	1,290,000	1,410,000	-120,000	-8.5
	6 傷病手当諸費	48,800	464,134	-415,334	-89.5
3	国民健康保険事業費納付金	654,175,783	681,144,262	-26,968,479	-4.0
	1 医療給付費分	422,557,156	461,691,338	-39,134,182	-8.5
	2 後期高齢者支援金等分	173,048,413	162,721,332	10,327,081	6.3
	3 介護納付金分	58,570,214	56,731,592	1,838,622	3.2
4	共同事業拠出金	0	0	0	-
	1 共同事業拠出金	0	0	0	-
5	財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
	1 財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
6	保健事業費	34,869,374	35,406,509	-537,135	-1.5
	1 特定健康診査等事業費	20,626,195	20,027,821	598,374	3.0
	2 保健事業費	14,243,179	15,378,688	-1,135,509	-7.4
7	基金積立金	124,668	138,413	-13,745	-9.9
	1 基金積立金	124,668	138,413	-13,745	-9.9
8	公債費	0	0	0	-
	1 公債費	0	0	0	-
9	諸支出金	50,137,585	60,108,607	-9,971,022	-16.6
	1 償還金及び還付加算金	26,766,585	28,080,567	-1,313,982	-4.7
	2 繰出金	23,371,000	27,530,000	-4,159,000	-15.1
	3 貸付金	0	4,498,040	-4,498,040	皆減
10	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
	合計	2,890,770,752	3,017,974,962	-127,204,210	-4.2

国民健康保険特別会計（八坂診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項	令和5年度収入済額	令和4年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1 診療収入	17,387,510	21,811,230	-4,423,720	-20.3
1 外来収入	16,313,633	20,609,478	-4,295,845	-20.8
2 その他の診療収入	1,073,877	1,201,752	-127,875	-10.6
2 使用料及び手数料	85,800	121,535	-35,735	-29.4
1 手数料	85,800	121,535	-35,735	-29.4
3 繰入金	82,086,000	35,759,000	46,327,000	129.6
1 他会計繰入金	72,404,000	26,959,000	45,445,000	168.6
2 事業勘定繰入金	9,682,000	8,800,000	882,000	10.0
4 繰越金	4,718,386	2,087,960	2,630,426	126.0
1 繰越金	4,718,386	2,087,960	2,630,426	126.0
5 諸収入	19,650	91,950	-72,300	-78.6
1 雑入	19,650	91,950	-72,300	-78.6
合計	104,297,346	59,871,675	44,425,671	74.2

歳出

（単位：円）

款 項	令和5年度支出済額	令和4年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1 総務費	90,656,407	45,433,168	45,223,239	99.5
1 施設管理費	90,656,407	45,433,168	45,223,239	99.5
2 医業費	6,466,819	9,720,121	-3,253,302	-33.5
1 医業費	6,466,819	9,720,121	-3,253,302	-33.5
3 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	97,123,226	55,153,289	41,969,937	76.1

国民健康保険特別会計（美麻診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項	令和5年度収入済額	令和4年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1 診療収入	22,252,455	20,820,850	1,431,605	6.9
1 外来収入	18,576,270	16,920,736	1,655,534	9.8
2 その他の診療収入	3,676,185	3,900,114	-223,929	-5.7
2 使用料及び手数料	229,285	234,490	-5,205	-2.2
1 手数料	229,285	234,490	-5,205	-2.2
3 繰入金	21,279,000	18,762,000	2,517,000	13.4
1 他会計繰入金	9,138,000	7,267,000	1,871,000	25.7
2 事業勘定繰入金	12,141,000	11,495,000	646,000	5.6
4 繰越金	4,977,307	1,835,410	3,141,897	171.2
1 繰越金	4,977,307	1,835,410	3,141,897	171.2
5 諸収入	69,125	111,950	-42,825	-38.3
1 雑入	69,125	111,950	-42,825	-38.3
合計	48,807,172	41,764,700	7,042,472	16.9

歳出

（単位：円）

款 項	令和5年度支出済額	令和4年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1 総務費	35,382,024	28,967,636	6,414,388	22.1
1 施設管理費	35,382,024	28,967,636	6,414,388	22.1
2 医業費	9,286,472	7,819,757	1,466,715	18.8
1 医業費	9,286,472	7,819,757	1,466,715	18.8
3 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	44,668,496	36,787,393	7,881,103	21.4

# 主要な施策の成果説明書

						前年度評価	継続				
						No.	31				
担当課	民生部	市民課	国保・年金係			事務事業No.	206111				
事務事業名	特定健診・保健指導事業					実施方法	その他				
会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）		款	6	項	1	目	1	決算書	23	頁
総合計画	まちづくりのテーマ	第3章 だれもが健康で安心して暮らせるまち				後期計画登載頁		63		頁	
	施策目標	【1】健康で長生きできる社会の実現									
	施策項目	④健康づくりの推進									
個別計画	大田市健康増進計画									頁	
対象と目的	特定健診は生活習慣病に着目した健診であり、生活習慣病を発症するリスクの高い者を明確にし、保健指導により生活習慣の改善に向けた働きかけをすることで、被保険者の生活習慣病発病予防・重症化予防を充実させるとともに、医療費の伸びを抑制し、国保財政の健全運営を図る。										
主な実施内容	特定健診（診察、身長・体重・腹囲、血液検査、尿検査）の実施 特定保健指導及びそれ以外の保健指導の実施 健診結果報告会の実施 主な実施内容入力欄										

事業費	決算額		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	総事業費（決算額）		18,979,704 円		20,027,821 円		20,626,195 円	
	財源 内訳	特定財源	18,979,704 円		20,027,821 円		19,091,500 円	
一般財源		0 円		0 円		1,534,695 円		
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額	
	21,359,000	-1,084,000	0	679,756	20,954,756	20,626,195		
	不用額	特定財源	細節名	金額	特定健康診査等負担金	保健事業徴収金		
328,561		保険者協力支援分	12,126,000	6,706,000	259,500			

事業の実績・成果						前年度からの改善点等	あり																																												
◆ 施策目標に資する活動																																																			
◆ 施策目標に資する活動（令和5年度）																																																			
○特定健診受診者数（暫定値）		・特定健診		1,150 人																																															
		・検査結果代行業務		221 人																																															
		・職場健診受診者		47 人																																															
		・人間ドック受診者数		510 人																																															
○特定保健指導実施者数（暫定値）		164 人		（指導対象者201人）																																															
◆ 事業の成果																																																			
<p>健診受診率 (%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td></tr> <tr><th>受診率 (%)</th><td>39.4</td><td>43.8</td><td>45.6</td><td>45.8</td><td>46.0</td><td>48.9</td><td>49.0</td><td>45.4</td><td>45.8</td><td>46.9</td></tr> </table>				年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	受診率 (%)	39.4	43.8	45.6	45.8	46.0	48.9	49.0	45.4	45.8	46.9	<p>保健指導率 (%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td></tr> <tr><th>指導率 (%)</th><td>50.6</td><td>48.3</td><td>50.0</td><td>63.4</td><td>56.5</td><td>62.7</td><td>64.0</td><td>66.2</td><td>52.6</td><td>57.2</td></tr> </table>				年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指導率 (%)	50.6	48.3	50.0	63.4	56.5	62.7	64.0	66.2	52.6	57.2
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																									
受診率 (%)	39.4	43.8	45.6	45.8	46.0	48.9	49.0	45.4	45.8	46.9																																									
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																									
指導率 (%)	50.6	48.3	50.0	63.4	56.5	62.7	64.0	66.2	52.6	57.2																																									
◆ 前年度からの改善点																																																			
40代、50代の未受診者に対して受診勧奨方法を電話から通知に変更した。また、受信者へのアンケート調査により集団健診の実施方法など改善を行った。																																																			

公営簡易水道事業特別会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款	項	令和5年度 収入済額	令和4年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	使用料及び手数料	33,979,686	40,042,131	-6,062,445	-15.1
	1 使用料	33,959,686	40,032,131	-6,072,445	-15.2
	2 手数料	20,000	10,000	10,000	100.0
2	分担金及び負担金	275,000	144,925	130,075	89.8
	1 分担金	0	88,000	-88,000	皆減
	2 負担金	275,000	56,925	218,075	383.1
3	繰入金	298,681,000	115,932,000	182,749,000	157.6
	1 繰入金	298,681,000	115,932,000	182,749,000	157.6
4	繰越金	7,037,575	7,538,098	-500,523	-6.6
	1 繰越金	7,037,575	7,538,098	-500,523	-6.6
5	諸収入	0	501,022	-501,022	皆減
	1 雑入	0	151,360	-151,360	皆減
	2 延滞金加算金及び過料	0	0	0	-
	3 受託事業収入	0	349,662	-349,662	皆減
6	市債	61,400,000	17,300,000	44,100,000	254.9
	1 市債	61,400,000	17,300,000	44,100,000	254.9
合計		401,373,261	181,458,176	219,915,085	121.2

歳出

(単位：円)

款	項	令和5年度 支出済額	令和4年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	総務費	64,522,294	75,387,584	-10,865,290	-14.4
	1 一般管理費	41,702,632	33,523,222	8,179,410	24.4
	2 施設管理費	22,819,662	41,864,362	-19,044,700	-45.5
	3 引継金	0	0	0	-
2	建設改良費	94,743,000	34,661,000	60,082,000	173.3
	1 建設改良費	94,743,000	34,661,000	60,082,000	173.3
3	公債費	57,667,360	64,372,017	-6,704,657	-10.4
	1 公債費	57,667,360	64,372,017	-6,704,657	-10.4
4	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
合計		216,932,654	174,420,601	42,512,053	24.4

# 主要な施策の成果説明書

		前年度評価		継続	
		No.		101	
担当課	建設水道部	上下水道課	施設係・企画係	事務事業No.	122111
事務事業名	水道施設整備事業			実施方法	市が直接実施
会計	公営簡易水道事業会計	款	2	項	1
目	1	決算書	2	頁	
総合計画	まちづくりのテーマ 第4章 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			後期計画掲載頁	76
総合計画	施策目標 【1】自然と共生した環境の創造				
総合計画	施策項目 ②上水道・公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用				
個別計画	大田市水道ビジョン				

対象と目的	水道は市民生活や産業の発展に欠かせないライフラインであることから、水道水源の点検調査や改修等による水質保全の維持、水道施設等の老朽化への対応、自然災害等への対策、人口減少に伴う水需要の変化等に対応した経営改善を実施し、持続可能な事業の推進を目的としている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源保全のための水源調査や改修等の実施</li> <li>・老朽化した水道施設、管路等の計画的な更新および耐震化等の実施</li> <li>・低廉な水道水を安定供給するための事業運営</li> </ul>

事業費	決算額		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	総事業費（決算額）		85,462,800 円	34,661,000 円	94,743,000 円		
	財源内訳	特定財源	85,462,800 円	34,661,000 円	94,743,000 円		
一般財源		0 円	0 円	0 円			
予算	R5当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予備費・流用額	計	支出済額	翌年度繰越額
	117,800,000	-12,900,000	62,000,000	0	166,900,000	94,743,000	48,100,000
	不用額	特定財源	細節名	簡易水道債	一般会計繰入金		
24,057,000		金額	51,900,000	42,843,000			

事業の実績・成果	前年度からの改善点等	あり
----------	------------	----

## ◆ 施策目標に資する活動

○公営簡易水道の安定した供給施設の整備

・送配水管布設事業

美麻大塩 配水管 HPPEφ150 L=380mほか

・機械電気計装設備整備事業

美麻石原ポンプ場の浄水装置（膜ろ過）設置工事 n=2基を実施し、R5年9月に供用開始となった。

八坂舟場高区配水池ほか 流量計 n=3基ほか



## ◆ 事業の成果

○管路の布設替工事を実施した結果、総延長約125kmの耐震化率は21.3%（前年比0.7%増）となった。今後も計画的な施設更新を継続的に実施し、安全な水道水を安定して供給していく。

耐震化率	R4	R5	増減
基幹管路	35.5%	36.8%	1.3%減
配水管	11.5%	12.3%	0.8%増
水道管全体	20.6%	21.3%	0.7%増

○耐塩素性病原生物である、クリプトスポリジウム等の対策として、美麻石原ポンプ場に浄水装置（膜ろ過）を設置したことによって、安全な水道水の供給が図られた。

## ◆ 前年度からの改善点

○民有地内の管路施設の解消が図られたことに伴い、維持管理が確実且つ容易に行うことができるようになり、効果が得られた。また、老朽管の布設替え工事を実施し、安心して安全な供給の整備を行った。